



酪農学園大学
2027
Rakuno Gakuen University Guidebook





Life

生き子を学ぶ。学びが生き子。

「動物たちを幸せにしたい」

「安心して食べられるものをつくりたい」

「かけがえのない自然を大切にしたい」

人と動物と自然は互いに関わり、つながって生きている。
そんなさまざまな「LIFE」が酪農学園大学にはあります。

好きなことを学ぼう。やりたいことに挑戦しよう。
充実した環境のキャンパスにはともに歩む先生や仲間がいる。
夢中になれる毎日がチカラになり
社会へ、未来へとつながっていく。

ここからあなたの LIFE を見つけよう。





Contents

- 3 のぞいて発見!
酪農学園大学 LIFE
- 5 酪 KNOW 学園大学
11 TOPICS
- 7 わたしが学ぶ Life
- 13 キャンパスマップ
- 15 現場に強い実践力が身につく
専門施設
- 22 酪農学園大学の実学教育
- 29 酪農学園大学で教員を目指す
- 30 LIFE×WORK
社会で活躍する卒業生

- 33 建学の精神
- 34 学長メッセージ
- 35 学群・学類紹介
- 37 初年次教育

- 農食環境学群
- 39 循環農学類
- 47 食と健康学類
- 55 環境共生学類
- 63 農環境情報学類

- 獣医学群
- 71 獣医学類
- 77 獣医保健看護学類

- 83 国際交流
- 84 大学院
- 85 地域・企業との連携
- 86 キャリアサポート
- 87 卒業生業種別就職状況・主な就職先

- 89 Campus Life
- 91 施設紹介
- 93 クラブ・サークル紹介
- 95 My Rakuno Life
学生寮／一人暮らし
- 97 OPEN CAMPUS

のぞいて発見！

酪農学園大学

LIFE



キャンパスライフの主な舞台は、
北海道の広大なキャンパスと周辺の豊かな自然環境。
たくさんの出会いと体験が、あなたを待っています。
どんなことができるか探してみよう。

YouTubeで
動画もチェック！



未来のLIFE

日本の酪農業を支える

微生物による発酵メカニズムを解析

未来のLIFE

高度化する獣医療を支える
愛玩動物看護師

動物をも人も幸せにする獣医師

犬のモデルを使って
救命処置体験

犬のモデルを使って
救命処置体験

大学ブランドの
チーズやバター作り



食料の流通の仕組み、
価格動向を研究

大学ブランドの
チーズやバター作り

未来のLIFE

DX+AIを活用して
未来の地域と農業を支える

乳牛の乳しぼり、
餌やり、放牧

牛の繁殖について
治療やアドバイス



牛の繁殖について
治療やアドバイス

羊の毛を刈って
細部まで観察

羊の毛を刈って
細部まで観察

遺伝情報を利用して
より能力の高い家畜を

遺伝情報を利用して
より能力の高い家畜を

大学で作られた
乳製品をマルシェで販売

大学で作られた
乳製品をマルシェで販売

オリジナルワイン用に
キャンパスでブドウ栽培

オリジナルワイン用に
キャンパスでブドウ栽培





\\みんな知ってる?\\

ラクノウ 酪KNOW学園大学

11 TOPICS

北海道にあって、牛や馬がいる…それはこの大学のほんの一部!知られていないけどすごいこと、知られているけどやっぱりすごいこと。もっと知りたい酪農学園大学の魅力をギュギュッとご紹介!



エゾリスにも食えちゃうから、安心!

全学類合わせて

44種類以上

の資格が取れる!

実学だから強い!さまざまな分野の資格取得に対応しています。全学類合わせて約44種類以上の資格が取得可能です。

実は札幌まで

15分

意外と通えちゃう距離!



Sapporo Sta.

Oasa Sta.

JR札幌駅から大学の最寄駅まで15分。利便性の高い環境に広大なキャンパスが立地しています。

フィールドはキャンパス内から

世界まで



モンゴル フスタイ国立公園 環境共生学類 「海外自然環境実習」

フィールドワークの舞台はキャンパス内から海外まで。実習・実験・演習を多く取り入れ、北海道から世界のフィールドで実学教育を実践しています。

チーズ、アイス、ソーセージ…

ぜんぶ学内で作れちゃう!

ハムやソーセージなどをつくる食品加工実習室と、チーズやアイスクリームなどをつくる乳製品製造実験実習室を完備。本格的な設備を使って、食品製造を学べます。



98.2%

全国トップクラスの

愛玩動物

看護師合格率

第3回愛玩動物看護師国家試験の合格率(現役生のみ)は98.2%(全国平均93.7%)。全国平均を上回り、大学別でも上位の結果となりました。

私立大学、1大学単独での取得はアジア初

EAEVEの国際認証取得!

ヨーロッパ獣医学教育機関協会(EAEVE)の国際認証を取得。本学の獣医学教育が国際水準であることが認められた証で、私立大学および1大学単独での取得はアジア初となります。 ※2025年3月31日時点

日本の私大で 一番!?

広大なキャンパスは
東京ドーム約28個分!

本学キャンパスの総面積は約135ha。その広さは実に東京ドーム約28個分。
この中に講義棟、農場、動物病院、研究施設などさまざまな施設があります。



わたしたちが
育てました!!



学生たちが 経済能力の高い 繁殖牛を育てる

元野幌肉牛農場(肉畜生産ステーション)で学生たちが丹精込めて育てた黒毛和種が種雄牛に選ばれました。また、2025年「第34回北海道肉用牛共進会」に出品した黒毛和種が、母系群の部で 優等賞1席(1位)を獲得しました。肉牛の飼育・生産、育種改良、医療、出荷までを学ぶことができます。

実習で作る乳製品が ふるさと納税 の返礼品に!

乳製品製造実験実習室で製造している乳製品(アイスクリーム、バター、チーズ)が、江別市のふるさと納税のお礼品に指定されました。



年間約 40,000件!

日本一の診療件数

キャンパス内に設置されている附属動物医療センターは日本一の診療件数を誇り、犬や猫などの伴侶動物で11,881件、牛などの生産動物が27,939件を数えます。

※2024年度診療件数



就職率

97.7%

企業も農家も研究所も
先輩の活躍する
フィールド!

入学直後からの
サポートで
進路計画もしっかり!

講座やセミナーをはじめ多角的な支援体制を構築し、学生の個性や適性、志望を生かした進路を支援することで、高い就職実績を実現しています。 ※2024年度実績

わたしが学ぶ Life

※コース名称は、2025年3月時点

広大なキャンパスで 牛に関する知識や技術を学ぶには 最高の環境だと確信

高校時代は畜産調教部に所属し、牛の調教活動に力を入れていました。文化祭などの場で、牛を8の字に歩かせたり、碁盤に四肢を乗せる技を披露して、地域の人々に畜産の魅力を伝えたほか、和牛甲子園にも出場するなど、さまざまな経験を積みました。それが原動力となり、大学でさらに深く牛について学びたいと考えた時に酪農学園大学と出会いました。本学は広大なキャンパスの中にさまざまな動物を飼育しており、牛だけでなく、多種多様な家畜について学べる点も魅力的でした。さらに、本学は全国の大学の中で最も多くの牛を飼育していると聞き、牛に関する専門的な知識や技術を学ぶには最高の環境だと確信し、進学を決めました。

私は現在、家畜生産改良学研究室に所属し、牛の繁殖を主として学んでいます。畜産の中でもそれぞれの専門分野に特化した先生方が多数在籍していて、授業はどれも特色があり面白いです。研究室での活動を通して、肉畜生産ステーションでの実習と授業で得た知識が結びつき、より深い学びを得ることが出来ます。机上の学習だけでは得られない、実践的な技術や知見が身に

ついています。また、大学では同じ分野を専門とする仲間ができ、卒業後も畜産業界で働く人たちの人脈を形成できたこと、困ったらそれぞれの得意とする分野での意見交換ができることは、とても有益なことだと感じています。

今後は、家畜改良事業団への就職が決まっています。繁殖業務を通じて牛の改良増殖に貢献し、研究成果を農家がうまく活用できるよう橋渡しをする人材になりたいです。

本学は広いフィールドで知識と技術を身につけられる環境が整っています。北海道独特の農業形態を学べるのはほかの大学にはない長所だと思います。少しでも興味を持ってくれたら、オープンキャンパスに来てください。もっと魅力が伝わると嬉しいです。

わたしと酪農学園大学

大きなイベントを 作り上げる達成感

大学祭を運営する白樺祭実行委員会に所属しています。1年生の頃から続けてきましたが、毎回無事に終わるたび「うまくいった良かった」「来場者が喜んでくれて良かった」と達成感を覚えました。仲間や関係者の協力があってこそその成果だと感じています。

高木 陽香さん

農食環境学群
循環農学類 畜産学コース
家畜生産改良学研究室 4年
岐阜県/岐阜県立加茂農林高等学校 出身

牛の改良増殖に貢献し

農家との橋渡しをする

人材になりたい



遠藤 季さん
農食環境学群
食と健康学類 食資源開発学コース
農産資源科学研究室 4年
北海道/北海道札幌月寒高等学校 出身

一員として活動できる

地域の食産業を盛り上げる

北海道の豊かな食資源を生かし

実践的な経験が豊富で、 将来につながる力が身につく

道内の食品産業に焦点を当てた研究に携わりたい、将来は地域の特産品や食品開発に貢献したいと考え、酪農学園大学への進学を決めました。

1・2年生のうちは基礎を固める期間として、授業を通じて地道に知識を積み重ねていきます。1年次には、食品に関する講義だけでなく、動物と触れ合う実習や、学生同士で作物を栽培するグループワークなど、食の源流を体感できるカリキュラムが用意されており、“食べ物がどのようにして消費者のもとへ届くのか”という流れを、学びのなかで実感することができます。3年次には実習が増え、乳製品や肉製品の製造といった、より実践的な内容を学びます。覚えることも多く大変ですが、自分たちで製造した食品を実際に味わうことができるため、達成感があります。

私の所属する研究室では、道内の企業と協力

して、学生のうちから実際の商品開発に携わることができます。社会人の方々と一緒に仕事を進めることで、専門的な知識だけでなく、現場で求められる視点やコミュニケーション力も身につきます。北海道の豊かな食資源を生かし、地域の食産業を盛り上げる一員として活動できるのも大きな魅力です。自分の関わった商品が形になっていく過程を間近で見ることができ、貴重な経験になっています。卒業研究では、国内(道内)産の野菜や果物などの作物を海外へ輸出する際に鮮度を保持したまま輸送する技術の効果について実証試験を行っています。実際に輸送された食材の鮮度を計測するため、自分自身も海外に足を運び、現地で分析を行うなど、実践的な研究に取り組んでいます。

今後は札幌市で衛生職として働くことが決まっており、食品に関する知識だけでなく、衛生に関する専門的な知識もさらに身につけていきたいと考えています。また、入庁後早期に実務を担える職員となることのできるよう、ExcelやVBA、ITパスポートの資格取得をするなど、札

幌市が進めるDXに対応するための準備を行っています。これらのスキルを生かし、業務の効率化やデータ管理に積極的に取り組みたいです。今後も自己研鑽を続け、札幌市民の安心・安全な生活を守る存在として信頼していただけるような職員を目指します。

わたしと酪農学園大学

自分の目標を明確にし、 計画的に学ぶ

本学類では取得できる資格の種類が多いのも特徴の一つです。私は食品衛生監視員の任用資格取得を目指し、履修計画を綿密に立てるとともに、公務員試験に向けた勉強も2年生から始めました。自己管理を徹底し、計画的に取り組む習慣が身についたことは、大学生生活で得られた大きな財産だと感じています。

短期大学での学びを 大学でさらに深め、 スポーツ栄養学の 研究に取り組みたい

高校時代はバレーボール部に所属していて、毎日練習に励んでいました。その頃、スポーツ栄養士の方に栄養について指導を受ける機会があり、これがきっかけとなって、栄養戦略に関するスポーツ栄養学やアスリートを支えるスポーツ栄養士という職業に興味を持つようになりました。その後進学した短期大学ではスポーツ栄養学を学び、その学びを大学でさらに深め、スポーツ栄養学分野の研究に取り組みたいと考え、3年次に酪農学園大学に編入しました。

私が所属する食・健康スポーツ科学研究室では、健康の保持・増進のための食事および運動の方法や、より良いスポーツパフォーマンス発揮のための栄養摂取方法、トレーニング方法に関する研究が推進されています。現在、卒業研究

として取り組んでいるのは、運動前の糖質摂取により引き起こる運動誘発性低血糖についての研究です。運動開始の30分前に糖質を摂取すると、運動開始後に急激な血糖値の低下が生じ、スポーツパフォーマンスに影響すると言われていますが、私は摂取するのをスポーツドリンクのような溶液からゼリーに変えると血糖値の低下を防げるのではないかと考え、研究を進めています。被験者の方々とのコミュニケーションやスケジュール調整は大変ですが、実験で血糖値の変化が目に見えて分かるのは面白く感じます。こうした研究室での活動や道外での学会への参加などを重ねることで、スポーツ栄養学分野を中心に知識が深まりました。また、授業を通して管理栄養士に必要な専門知識や技術、スキルが身につけてきたのを実感します。

将来の目標としては、自分の行った研究をスポーツの現場に還元すること、そして公認スポーツ栄養士の資格を取得し、アスリートの栄養サポートに貢献することを目指しています。

「学びたい」という意欲があれば、先生方が熱心にご指導くださいます。興味のある分野がある方は、ぜひ本学でその学びを深めてください！

わたしと酪農学園大学

少人数クラスで手厚いサポート

管理栄養士コースでは、国家試験合格に向けたサポートが充実しています。模試は国家試験前には週に1回の頻度で実施され、対策授業や勉強会は先生が私たちの苦手分野を重点的にご指導くださいます。1学年約40名と少人数で、先生と学生の距離が近い点も魅力であると思います。

自分の研究をスポーツの現場に還元し、 アスリートの栄養サポートに貢献したい

仲田 ひかりさん

農食環境学群
食と健康学類 管理栄養士コース
食・健康スポーツ科学研究室 4年
北海道 / 旭川実業高等学校 出身
旭川市立大学短期大学部より編入

自ら考え、答えを導き出す力を養う

高校時代から生物の授業が好きだったこともあり、生物についてより深く、より広く学べる酪農学園大学への進学を決めました。中でも生態系や環境問題に興味があり、特に外来生物が在来生態系に与える影響について専門的な知識を学びたいという思いから、環境共生学類を志望しました。

環境共生学類の特徴は、広大な自然を有する北海道でしか体験できない、圧倒的なフィールドワークの量です。例えば、ヒグマの生態調査はここでしかできない内容となっており、とても貴重で新鮮な体験となります。

私が所属している保全生物学研究室では、外来生物と在来生物の関係について学んでいます。アライグマの捕獲や自動撮影カメラによる観察を通じて、外来生物が在来生物に対してどのような影響を与えるのかを研究します。外来生物の問題は人間がきっかけで起こったもの

で、そのまま放置しておく则在来生態系に深刻な影響を与える可能性があります。外来生物と在来生物、さらには人間との間にあるさまざまな問題を解決できるよう、日々、研究に取り組んでいます。

大学では、高校までの生活と違い、さまざまな場面で「考える力」が身についたなと感じます。毎日の授業のレポート作成や、期末試験での記述式問題など、テキストの内容を暗記して答えるだけでは対応できない課題が多いです。自ら考え、答えを導き出す力を養うことで、日々の課題だけでなく、卒業論文の作成を進めるうえでも、非常に役立っています。

自分自身、大学への入学に向けて不安に思うことが多くありました。しかし、実際にさまざまなことを経験すると、いつの間にか不安が解消して案外スムーズに進むことがあり、一歩を踏み出す大切さに気付くことができました。今後もチャレンジ精神を忘れずに成長していきたいです。

外来生物の問題解決に挑む

大自然を舞台にしたフィールドワークを通じて、

吉田 隼斗さん

農食環境学群
環境共生学類 野生動物学コース
保全生物学研究室 4年
北海道 / 北海道岩見沢西高等学校 出身
(現北海道岩見沢東高等学校)

わたしと酪農学園大学

自然の魅力と生態系の課題、 両方を身近に感じる場所

私にとって酪農学園大学は、自然の美しさと、そこにある生態系の課題、両方を身近に感じられる場所です。森の中でありのままの自然に触れる喜びと、データを客観的に分析して見えてくるシビアな現実。両方の視点を持つことで、単なる「自然が好き」から一歩踏み出し、環境問題の核心と真剣に向き合うことができたと感じています。



丸山 はづきさん
獣医学群
獣医学類
動物生殖学ユニット 4年
新潟県/新潟明訓高等学校 出身

公衆衛生にも携わる獣医師を目指す

食の安全を守り、人々の健康を支える

新しい挑戦は、失敗も含めて、 悪いことは一つもない

獣医師を目指すようになったきっかけは、高校時代に経験した新型コロナウイルスのパンデミックです。人獣共通感染症やそれに伴う社会問題などについて興味を持つ中で、獣医師がそのような問題に対して深く関係していることを知りました。ほかにも、薬剤耐性菌や人口増加に伴う食糧不足など、動物の命に関わるだけでなく、人々の食の安全を守り、健康を支える公衆衛生にも携わるなど、幅広い領域で社会に貢献しています。現代社会が抱えている問題にも多面的にアプローチできる点に、魅力を感じ、獣医学類への進学を決めました。

現在、獣医師に必要なスキルを得るためにさまざまな講義を受けていますが、特に印象に残っているのが解剖実習です。座学で学んだ体の構造を、実際の動物で学ばせていただくことで、自分の知識を深めるだけでなく、生物の体の神秘や命と向き合う責任感についても学ぶことができる内容でした。

大学では、自ら積極的に行動し、挑戦する力

が身についたと思います。高校と違い、自分から動かなければ、何も得られません。しかし、それは裏を返せば、興味があることを見つけ、行動を起こせば、多くのことが得られるということです。周囲には応援してくれる仲間や先生方がたくさんいるので、サークル活動やアルバイト、留学など、さまざまなことにチャレンジし、自分のコミュニティを広げることができました。新しい挑戦は、失敗も含めて、悪いことは一つもないと思います。経験したことはやがて、どこかで必ず点と点が結ばれて線となり、役立つと信じています。

酪農学園大学は、ヨーロッパ獣医学教育機関協会(EAEVE)に準拠した高水準の教育システムを備え、最先端の設備を持つ動物病院や、さまざまな種類の畜産農場、動物愛護センターなど、獣医師になるための充実した環境が整っている点が魅力です。広い視野を持って学ぶカリキュラムがそろっています。同じ夢を持った仲間が全国から集い、切磋琢磨しながら成長することができるので、ぜひ、この充実した環境での学びを目指してみてください。

わたしと酪農学園大学

産業動物の世界で見つけた 理想の獣医師像

めん羊を飼育するサークル「中小家畜研究会」や搾乳のアルバイトでの経験を通じて、産業動物について考えるようになりました。産業動物の世界は、利益を生み出せない動物は淘汰される世界です。だからこそ、動物たちの命を全うさせ、おいしい「食」として消費者に届けられるように働きかけることのできる獣医師が目指すべき理想像だと思います。

学生同士で切磋琢磨することが 自分の成長につながっている

幼少期から動物に関わる仕事に就きたいと考えており、高校生の時に酪農学園大学に獣医保健看護学類があると知って、動物看護師に興味を持ちました。動物好きな私にとって、動物の知識はもちろん、彼らへの愛情が必要な動物看護師という職業はとても魅力的でした。本学類では獣医学類の学生と同じ講義を受けることができます。より専門的な知識を学べるだけでなく、豊富な実習で実践的に学べると思い、進学を決めました。

将来、動物病院で働くことを目指し、現在は臨床現場に必要な知識と技術の習得をしています。私が所属する動物医療学ユニットでは、盲導犬協会に登録されている犬や、大学病院の供血犬の検査を手伝っています。リアルな臨床現場を学生のうちから経験できる、とても貴重な機会です。健康チェックでは触診や聴診、採血などの一般検査から、エコーやレントゲン検査

までを実践しています。事前に検査の目的や正常値を学習することで検査の理解度がぐっと上がり、ただ作業するのではなく、一つひとつの重要性を認識しながら知識と技術力を身につけています。

私は本学で「物事を多方面から見る力」を得ました。多くの実習を通して学生同士で意見を交わし切磋琢磨したことで、自分にはなかった意見や提案を取り入れることができ、より良い活動ができたり、視野が広がったりした経験がたくさんあります。この力は、動物の小さな変化に気付くことや、人とのコミュニケーションを深めるうえでも大切だと感じています。また、大学1年生から続けている飲食店でのアルバイトでは、笑顔で人と接する大切さを学びました。

今後は「獣医師からも飼い主様からも信頼される動物看護師」を目標に、動物を第一に考えながら、今まで学んだことを生かして自分の強みとなる分野をつくりたいです。

わたしと酪農学園大学

動物の世話を通して培う力

2年次に行う学類で飼っている犬のお世話では、日々の散歩や体調管理だけでなく、問題行動の改善計画やお世話のシフト作成なども学生主体で行います。犬との関わり方を学ぶだけでなく、グループ活動を円滑に行う力も養いました。また、牛や馬、鶏などの実習もあり、自分の興味の幅を広げながら学ぶことができます。

実践的に知識と技術を獲得する 学生のうちから臨床現場で

布川 彩奈さん

獣医学群

獣医保健看護学類

動物医療学ユニット 4年

北海道／北海道札幌東高等学校 出身



キャンパスマップ

大自然の宝庫・野幌森林公園と接して広がる135万㎡もの広大なキャンパス。
 たくさんの人や動物との出会いがあなたを待っています。
 酪農学園大学ならではの規模と専門的な施設・設備を生かして、
 好きなことを学び、やりたいことに挑戦しよう！



A
 附属動物医療センター
 » P.20



B
 スキルスラボ棟
 » P.21



C
 健身館
 (格技系・体育系・文化系部室)
 » P.92



D
 健民館
 (体育施設・トレーニングセンター)
 » P.91



E
 黒澤記念講堂
 » P.92



K
 健音館 (音楽・演劇系部室)



L
 緑音館 (音楽系部室)



M
 清温泉 (女子寮)
 » P.95



N
 酪農学園ホール (酪農学園生協)
 » P.92



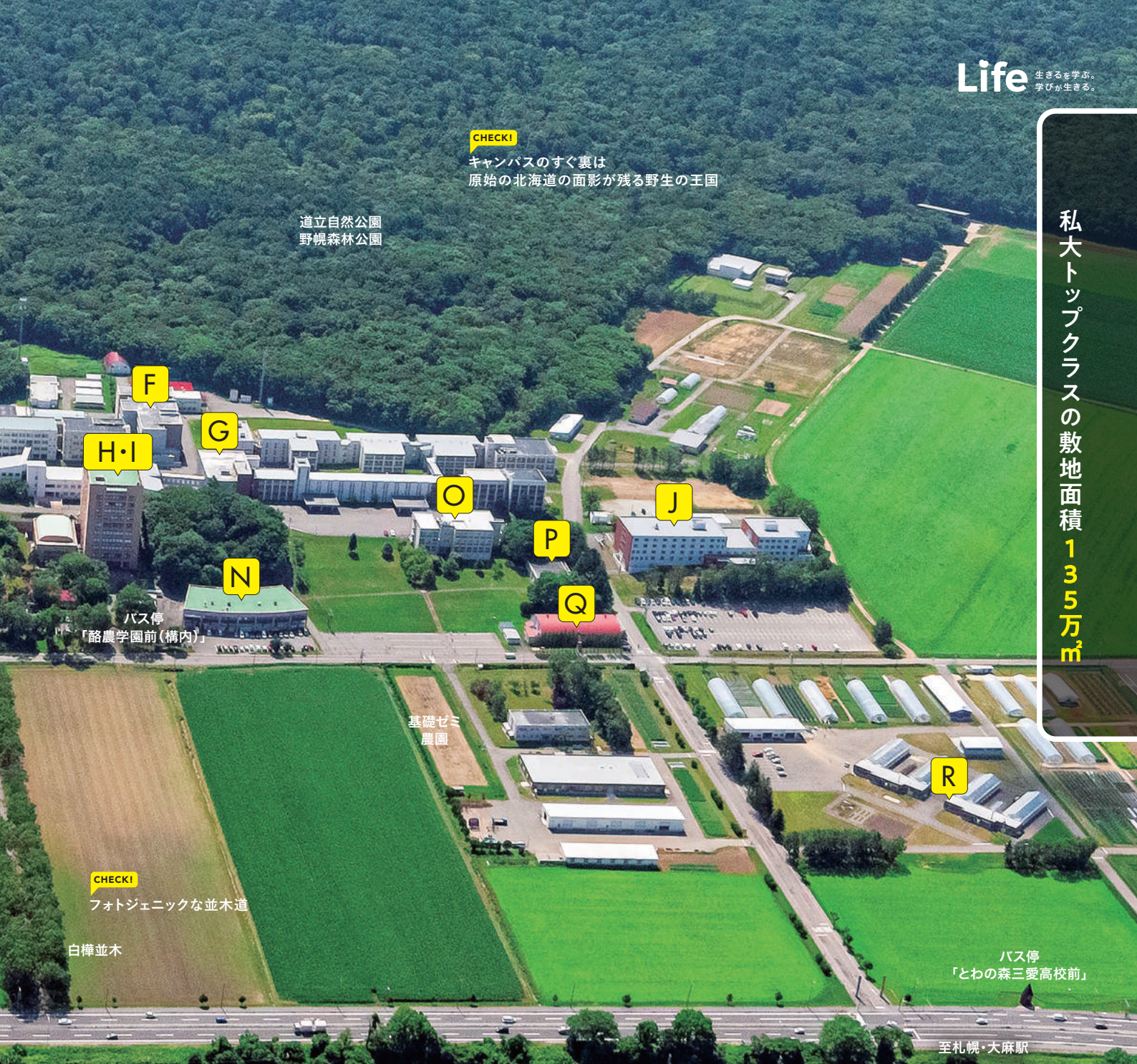
O
 D1号館
 » P.92

CHECK!

キャンパスのすぐ裏は
原始の北海道の面影が残る野生の王国

道立自然公園
野幌森林公園

私大トップクラスの敷地面積 **135万㎡**



CHECK!

フォトジェニックな並木道

白樺並木

バス停
「とわの森三愛高校前」

至札幌・大麻駅

2020年7月撮影



B4号館
» P.19・92



C1号館



中央館(学生ロビー・学生ホール)
» P.91



附属図書館
» P.91



希望寮(男子寮)
» P.95



食品加工実習室
» P.18



乳製品製造実験実習室
» P.18



作物生産ステーション
» P.17



酪農生産ステーション
» P.16



肉畜生産ステーション
所在地:北海道江別市元野幌1107
» P.17

学外

現場に強い 実践力が身につく専門施設



動画で
まとめてチェック

酪農学園フィールド教育研究センター



■ 酪農生産ステーション P.16



■ 肉畜生産ステーション P.17



■ 作物生産ステーション P.17

乳製品製造実験実習室 P.18



B4号館 P.19



附属動物医療センター P.20



食品加工実習室 P.18



スキルラボ棟 P.21





酪農学園フィールド教育研究センター

酪農生産ステーション

(現在ロボット牛舎新設中。2026年度中完成予定。)

主な使用学類 **循環農学類** **農環境情報学類**

キャンパス内にある牛舎で日々乳牛の飼育に取り組める

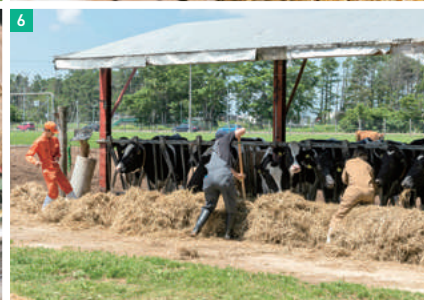
異なるシステムの牛舎があり、循環農法型により約170頭の乳牛を飼育しています。フリーストール牛舎は牛が自由に行動・採食できます。繋ぎ飼い牛舎は1頭1頭の牛をしっかりと管理しながら飼育することができます。さまざまな酪農形態を学ぶことが可能です。また、草地・飼料畑はキャンパス内に牧歌的な景観を作り出しています。

Data

【土地】	
牧草地	53.6ha
デントコーン	14.9ha
放牧地	1.4ha

【主な施設】	
フリーストール牛舎	1,439.6㎡
繋ぎ飼い牛舎	550.8㎡
育成牛舎(建て替え中)	432.0㎡
搾乳棟	754.2㎡
バンカーサイロ	1,062.5㎡
乳牛(ホルスタイン種、ジャージー種他)	約170頭

詳しくは
動画も
チェック



1 草が血となり乳となります。牛の体の仕組みを学び、牛乳のすばらしさに気付く学生も多いです 2 サイレージ用トウモロコシ圃場の実規模収量調査 3 子牛や育成牛の管理を学生が行っています 4 学生が子牛にミルクを与えている様子 5 インテリジェント牛舎で搾乳を体験します 6 循環型酪農は、牛の管理だけでなく、飼料生産も含めて成り立っていることを学びます

酪農学園フィールド教育研究センター

肉畜生産ステーション

主な使用学類 **循環農学類**

肉畜の飼育・生産・医療・出荷までを学ぶ

約90頭の肉牛の畜舎と、中小家畜の畜舎群の2カ所の農場があります。飼料設計から日々の世話まで学生が交代で行い、肉牛では低コスト飼料で最高等級のA5を獲得。黒毛和種では、種雄牛に選抜されたことがあります。繁殖から出荷して肉になるまでの流れを体験でき、看護を含めた動物医療の学びの場として活用されています。

Data

【土地】

採草・牧草地 58.6ha

【主な施設】

肉牛牛舎 1,672.0㎡(約90頭)

豚舎 904.2㎡(約130頭)

鶏舎 498.8㎡(約200羽)

羊舎 419.5㎡(約20頭)

肉牛(黒毛和種、日本短角種)

豚(交雑種母豚(主にLW種[®])、純粋種母豚(ランドレス種)、種雄豚(デュロック種)、肥育豚(主にLWD種[®]))

羊(サフォーク種、テクセル種)

鶏(さくら、もみじ他)

※W:大ヨークシャー種、L:ランドレス種、D:デュロック種

詳しくは
動画も
チェック



1 羊舎にて行われた羊の妊娠鑑定 2 卵を収集しながら、産んでいない鶏をチェックし、個々の様子を観察します 3 給与飼料は、市販濃厚飼料を中心に給与し、食品製造残さ等を最大限に活用し、飼料費低減と産肉性の向上に努めています



酪農学園フィールド教育研究センター

作物生産ステーション

主な使用学類 **循環農学類**

品種改良から生理生態、病害虫管理を学ぶ

自動で栽培環境を制御できる4棟のガラス温室は、冬場でも作物の栽培が可能なので、1年を通して栽培や育種、病害虫防除の研究ができます。ビニールハウスでは野菜やカーネーションなどの花きの栽培研究が行われています。露地圃場では、ダイズやムギ類など畑作物の栽培が行われ、さまざまな教育・研究に活用されています。

Data

【土地】

露地栽培露地圃場 1.29ha

園芸作物露地圃場 5.91a

展示圃場 8.14a

畑作物露地圃場 41.82a

サンプル採集圃場(作物病理学用) 1.16a

水田圃場 14a

【主な施設】

実習棟 1,275.0㎡

ビニールハウス 2,824.7㎡

花きガラス温室 331.0㎡

野菜ガラス温室 331.0㎡

作物ガラス温室 331.0㎡

作物保護ガラス温室 331.0㎡

詳しくは
動画も
チェック



1 収穫後2週間、乾燥庫に干したライムギを脱穀 2 根に共生する根粒を観察します。作物は微生物の力を利用して大気や土から栄養を獲得しています 3 水田圃場で水稻栽培を実施しています

食品加工実習室

主な使用学類 **食と健康学類** **獣医学類**

「食」を科学する 本格的な実験実習設備

ソーセージやハム、ベーコンなどの製造工程や品質管理について体系的に学べる実習設備を完備。研究や試験開発に用いる試作品もここで作成しています。



1 X線検査機を使用し、HACCPに対応した異物混入の検査をします 2 燻製器を使用した品質特性に関する試験。燻煙する木材ごとや、いくつかの木材をブレンドして試作品を作ります

詳しくは動画もチェック

- 食品加工実習室
- 乳製品製造実験実習室



乳製品製造 実験実習室

主な使用学類 **食と健康学類** **獣医学類**

ブランドを生み出す 乳製品製造施設

キャンパス内の乳牛から搾った新鮮な生乳を使って、牛乳やチーズ、バター、アイスクリームなどの本格的な乳製品の製造工程を学べます。オリジナルの牛乳・乳製品の製造には学生が積極的に参加しています。



1 製品規格に適合しているか、作られた牛乳を直ちに検査。翌朝には店頭に並びます 2 産産チーズを集めた試食会を開催。チーズがおいしく感じるよう、ディスプレイの方法も学びます

Check!

実習室でつくられたソーセージや乳製品は、「酪農学園大学ブランド」として販売。2020年には酪農学園大学の牛乳・乳製品が、江別市のふるさと納税のお礼品に指定されるなど、学内のみならず学外からも人気です。



酪農学園大学ブランドの商品
(上)牛乳・乳製品
(下)ポロニアソーセージ





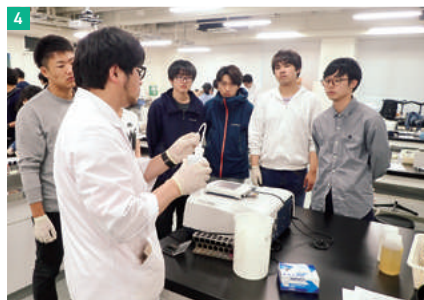
B4号館

主な使用学類 **環境共生学類**

環境試料や分析機器を活用した 環境分野の研究拠点

学類が所有するさまざまな分析装置や環境調査道具、自然史標本のほとんどがこの建物内で管理されており、多くの研究室の調査研究に利用されています。また、各実験室では学類の実習科目が開講されるなど、大学が掲げる実学教育の場としても活用されています。

1 同館は大学オープンキャンパスの会場としても利用され、学類企画では各研究室が所蔵する標本展示を見ることがや調査体験などができます 2 地層を観察する基礎を学ぶ授業の様子 3 採集した昆虫を顕微鏡で観察し、グループ分けするソーティングを実施 4 環境水中の化学物質を測定する実習の様子 5 各実験室にはさまざまな分析機器が設置され、多くの研究に利用されています(ガスクロマトグラフィー) 6・7 動物の骨格標本を用いて、生物の体のつくりを観察する実習の様子



附属動物医療センター

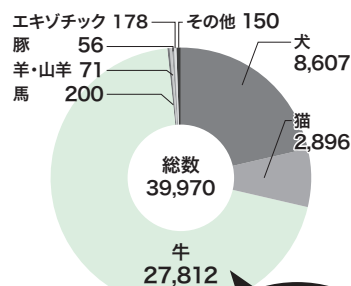
主な使用学類 **獣医学類** **獣医保健看護学類**

年間約40,000件の診療件数 獣医療の拠点で最新の診療技術を学ぶ

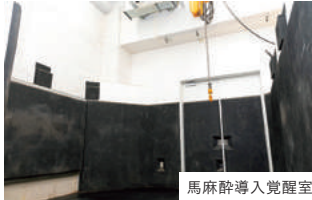
キャンパス内に設置されている附属動物医療センターは日本一の診療件数を誇り、年間の診療件数は犬や猫などの伴侶動物で11,881件、牛などの生産動物が27,939件。本学獣医学類および獣医保健看護学類全ての学生に先進的な獣医療を含む実践的な獣医臨床教育を行っています。全国の獣医師養成大学で最大の施設規模となっており、伴侶動物医療部門(犬・猫)には内科・整形外科・腫瘍科/軟部外科・循環器科・神経科・リハビリテーション科などを設置し、さらに馬やエキゾチックアニマルも診療対象としています。また、生産動物医療部門には、内科・外科・繁殖科・群管理科、診療支援部門には、画像診断科・麻酔科・集中治療科などの診療科を設置しています。

Data

■ 2024年度診療動物内訳(件数)



生産動物の多さは
北海道の大学
ならでは!



スキルラボ棟

主な使用学類

獣医学類

獣医保健看護学類

日本で唯一の建物丸ごとスキルラボ棟

スキルラボとは生体を使わず、シミュレーターで獣医療の臨床手技を習得する施設のことであり、動物に負担をかけず何回もトレーニングすることができます。スキルラボは獣医系大学で導入されつつありますが、建物の全てがスキルラボで構成されるスキルラボ棟があるのは日本では唯一です(2025年時点)。施設内には臨床手技ごとに臨床検査実習室、生産動物実習室、大動物実習室、外科実習室、麻酔実習室、臨床繁殖実習室、画像診断実習室、そして完全に動物病院を再現した模擬動物病院があり、約70個のシミュレーターや実習機器が用意されています。獣医

学類の学生は3年生からこの施設を利用した実習で、獣医師が初日に具備すべき105個の臨床技術(Day One Competences)を習得します。例としては、採血、気管挿管、牛・馬の直腸検査、人工授精、内視鏡検査などをシミュレーターで習得することができます。また実習時間以外も学生はこの施設を利用して、自由にトレーニングを積むことができます。もちろん獣医学類の学生のみならず獣医保健看護学類の学生もこの施設を利用しています。



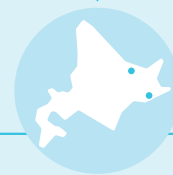
1 臨床検査室/クリーンベンチ、全血球計算装置、電解質計測装置、血液生化学検査装置、遠心分離機、サーマルサイクラー、オートクレーブなどさまざまな機器を用意しています 2 麻酔実習室/犬や猫への注射法や採血に加え、全身麻酔に必要な気管挿管を学びます。また、エキゾチックアニマルのハンドリングの練習も行います 3 生産動物臨床実習室A/牛の分娩シミュレーターや産科機器を使用した牛胎子の失位整復や牽引摘出などの難産介助の練習、ポータブル超音波画像診断装置による牛の胸部・腹部検査の練習を行います 4 外科実習室/犬や猫へのバンデージやキャストリング、各種包帯法の練習を行います 5 大動物臨床実習室/馬の全身モデル、頭頸部モデルのシミュレーターを使用し、頭絡、馬着装着などの馬の取り扱いの基本技術、各種注射法、X線検査などの練習を行います 6 模擬動物病院/待合室や受付、薬剤調剤室、処置室があり、実際の動物病院を想定した実習を行うことができます



- 1 牛が自由に行動・採食できる放牧中の一風景
- 2 牛入れ後に飼槽を掃除します
- 3 子牛にミルクを与える学生
- 4 農家さんが優しく指導して下さいます



大空町・浜中町



農食環境学群 循環農学類

学外農場実習

● 実践農学研究室 猫本 健司 先生

酪農学園大学の実学教育

北海道の地で 生きるを学ぶ

酪農学園大学の学びのフィールドは
キャンパス内にとどまりません。
広大な北海道の各地で実習を行い、
生きた学びを体感します。

教養や実習を現場で生かす「実学教育」 大学から離れた現地で農業の実際を学ぶ

実学教育を重視する酪農学園大学では、大学から遠く離れた北海道内の各地で、農業の実際を現地で学ぶ伝統的なカリキュラム「学外農場実習」を昭和36年から実施しており、現場に強いとされる本学卒業生の輩出に一定の役割を果たしてきました。約6週間の夏休み期間中に受入農家で20日間の住み込み実習を行います。酪農、畜産、畑作、園芸、養豚、養鶏などで現場の実際や技術を学ぶだけでなく、農家・農村の生活や地域の人との交流により、座学では決して学べない貴重な経験ができ、学内での学びと実際の現場を結びつけることで理解がもっと深まります。任意の選択科目ですが、例年100名以上の学生が取り組んでいます。受入農家さんは部屋や食事の用意から指導責任を担い大変な負担ではありますが、毎年夏休みに若者が来るのをとても楽しみにしています。

- 5 広大なじゃがいも畑での収穫の様子
- 6 収穫後にじゃがいもを選別します
- 7 ハーベスターに乗り込み収穫を行います
- 8 現場で農家さんの声を聞くことが大きな学びになります



学内

農食環境学群 食と健康学類

畜産物利用学実験実習

● 食肉科学研究室 前田 尚之 先生



食肉製品の製造を体験しながら理解し、 多様な食課題に対応できるスキルを養う

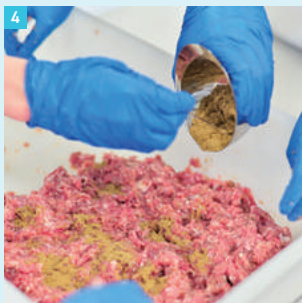
本実習では、さまざまな肉製品を実際に製造し、製品開発の一端を経験することで、食肉の取り扱いとそれぞれの加工技術を実践的に学びます。中でもオリジナルソーセージの製造は魅力的な取り組みです。各班に分かれ、香辛料をどう調合するか、ディスカッションを重ねながら自分たちで考えるところから始めます。調合した香辛料は、肉を成形して塩漬ける「塩せき」を行った肉に混ぜ合わせた後、工房レベルの製造機器を用いて、ケーシングに充填、燻煙、ポイルしてソーセージを製造。全員で試食して順位付けし、最終的に選ばれたソーセージは商品化され、試験販売されます。実習を通して、食肉製品の製造方法とその原理の理解を深めながら、食品を扱ううえで衛生管理がいかに大事かも学んでいきます。安全面、衛生面における見識をはじめ、食に関わるさまざまな課題に対して積極的に対応できる知識および技能を身につけます。このスキルは製造業だけでなく、開発やコンサルタントなどにおいても生かすことができます。

※本実習は複数教員により毎回異なる内容の実習を行います。



1 計量しながら香辛料をブレンドして記録します 2 香辛料の特性を生かすため、香りや味を確かめて調合します

3 塩せきした肉をひき肉にします 4 調合した香辛料とひき肉を混ぜ合わせます 5 ケーシングに充填する作業をします 6 充填されたソーセージはその後燻煙、ポイルします





1 実習先で採用されている栄養剤についての説明を受けている様子 2 入院患者の情報を見ながら、臨床データの見方や栄養計画を立てる際の考え方を学んでいる様子 3 自主課題を発表している様子



4 完成した料理の盛りつけを行っている様子 5 食札(患者の氏名や病態やアレルギーに対応した食事内容が細かく記載してある札)を確認しながら、指示通りの料理を配膳している様子 6 栄養補助食品(栄養剤)を準備している様子

農食環境学群 食と健康学類
管理栄養士コース

札幌

臨床栄養学実習Ⅰ・Ⅱ

■ 臨床栄養管理学研究室 小川 美弥子 先生



傷病者を対象とした栄養管理や チーム医療における管理栄養士の役割を理解する

医療における管理栄養士の業務や役割を理解する実習です。4年次に行われる3つの臨地実習(学校、病院、保健所等)のうちの一つで、病院での2週間の実習を行います。病院における食事や栄養管理は、病気の治療や回復を促進するために不可欠な要素で、医療の一環として位置づけられています。患者の栄養状態を改善させることは、多くの疾患の治療効果を向上させることから、全入院患者に対して栄養スクリーニング^{※1}を行ったうえで、必要な患者に対して栄養アセスメント^{※2}や栄養計画の作成、モニタリングをしながら栄養管理を行っています。医療現場では、複数の医療職種が連携して治療やケアにあたるチーム医療が行われており、栄養管理が関係するチームには、管理栄養士がその一員として活動しています。食事療法が必要な患者に対しては栄養指導を行い、自宅でも治療食を継続するためのサポートを行います。また、病院での食事(給食)は、治療でもあり、栄養指導対象者の教育媒体でもあります。病院実習を通して、臨床現場における栄養ケアマネジメントシステムを理解し、患者の病態や栄養状態に応じた適切な栄養管理・栄養指導の方法を実践的に学ぶと同時に、医療現場の管理栄養士の業務を間近で体験することにより、病院栄養士への理解や興味を深めてもらいたいと思います。

※1 集団の中から低栄養や栄養障害のリスクのある人を抽出するための初期の栄養状態の評価

※2 スクリーニングで抽出した人に対して、より詳細に栄養状態を評価すること



1 ヒグマの食物ミズナラのどんぐりを数える豊凶調査 2 ヘアトラップに体毛がないか確認 3 ヘアトラップに残されたヒグマの体毛を採取 4 踏査中に用いる地形図とコンパス 5 背擦り行動をするヒグマ

浦幌町

農食環境学群 環境共生学類

野生動物保全技術実習

● 野生動物生態学研究室 佐藤 喜和 先生

ヒグマの生態を調査し、 痕跡を発見・記録する技術を身につける

北海道東部、十勝平野と釧路湿原の間に位置する白糠丘陵とその周辺地域にて、ヒグマの生態調査法、北海道東部の自然植生、人の土地利用と野生動物の関係、地域にとっての野生動物の管理のあり方、地域の自然保護のための外来種管理などについて学ぶ実習です。ヒグマの生息する森林内で地形図とコンパスを用いた森林内踏査法と野生動物の痕跡調査法を学び、森の中を自由に歩き、痕跡を発見・記録する技術を身につけます。ヘアトラップ(体毛回収トラップ)やカメラトラップを用いたモニタリング機器の設置やメンテナンス作業を行い、調査技術も習得します。実習の魅力は、森に入り自らの足で歩くと感じることができる、森林の音や匂い、そこに暮らす野生動物の痕跡や気配です。地元で暮らす方々との交流を通じて、地域にとっての自然環境保全や野生動物管理の意味を実感することもできます。仲間との共同作業を通じてチームワークが形成され、特性を生かした役割分担も自然とできるようになっていきます。

※本実習は、複数の実習から1つを選択して参加します。



ヒグマを撮影するためのカメラトラップを設置

学内

農食環境学群 農環境情報学類

GIS 基礎演習(前期)

■ 実践GIS研究室 吉村 暢彦 先生



データサイエンティストとして、 課題解決への提案力を身につける

GIS(Geographic Information System: 地理情報システム)は、地球上で起こるさまざまなことを地図上に可視化することで、傾向を理解したり管理を効率化したりできるツール。GIS基礎演習ではその基礎操作と活用のポイントを学びます。演習で扱うテーマはさまざまです。例えば、GPS首輪のデータを用いた野生動物の行動パターン分析や流域の土地利用と水質の関係分析等を行います。これらの分析を通して、卒業研究等研究面での活用方法を学ぶことができます。道路の開発計画や小売業の販売計画等も扱います。

この演習では、研究面だけでなく卒業後の実務での活用も視野にいれています。単にGISソフトの操作を学ぶのではなく、データサイエンティストとして、課題の発見や解決方法の提案につながる重要な洞察を得ること、それらを分かりやすく説得力を持った説明ができるようになることを目指しています。これらは自然・農地・施設など広い範囲を管理する仕事には間違いなく必要な力。自治体・農協・NPO・NGO、環境管理職などの管理系職種での活躍が期待されます。



1 GISで分析するデータを収集するためのスマホアプリの作成練習
2 試作したアプリを使って何が販売されているかを収集

3 テキストを使って操作を学ぶ 4 現場で収集した情報を地図上で確認 5 収集した情報を分析して傾向を把握 6 説明よりも練習を重視。分からないところはサポートを受けながら進める





石狩管内

獣医学群 獣医学類

参加型伴侶臨床実習D (馬診療)



■ 馬医療学ユニット 都築直先生

馬の診療に関する 基本的な技術・知識を学ぶ

馬の実際の症例に触れながら学べる実習環境を備えている大学は、国内では決して多くはありません。酪農学園大学では、日本最大の馬産地である北海道という立地を生かし、実際の馬を用いた臨床実習を行っています。これにより、将来馬の診療に携わる獣医師に必要とされる知識と技術の習得を目指しています。馬は、骨や腱などの運動器疾患、のどや肺などの呼吸器疾患、さらには腸や胃に関連する消化器疾患など、さまざまな病気にかかる動物です。適切な治療を行うためには、まず正確な診断が不可欠となります。診断には、獣医師の五感を活用する触診・聴診のほか、レントゲン検査や超音波検査といった各種検査機器を用いた方法も行われます。多岐にわたるさまざまな病気に対する診断のために必要な知識・技術を実際の症例に触れながら学んでいきます。さらに、酪農学園大学は馬への全身麻酔を伴う手術が可能な、全国でも数少ない大学の一つです。麻酔を施した馬の手術症例にも立ち会いながら、馬の外科治療について実践的に学ぶ機会を提供しています。

1 馬は腹痛(疝痛)を起こしやすい動物です。その診断に必要な腹部聴診を実施しています 2 馬は腱や靭帯の損傷を起こしやすいです。その診断に必要な腱や靭帯の触診を実施しています 3 馬は骨折も起こしやすい動物です。その診断に必要なレントゲン検査に参加し、診断の基本を学んでいます 4 馬の手術風景(去勢手術)。酪農学園大学は日本では数少ない馬の全身麻酔が実施可能な大学です





1 聴診の指導を受ける 2 直腸検査の準備
3 直腸検査の指導を受ける

江別

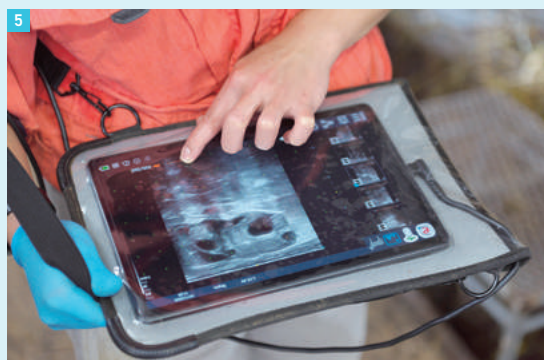
獣医学群 獣医保健看護学類

動物看護総合実習Ⅰ・Ⅱ

● 獣医保健看護学類教員

動物看護師の業務内容と社会的役割を理解する

学外の動物医療関係施設において実際の動物看護師の業務を体験し、業務内容と社会的役割を理解する実習です。動物看護総合実習Ⅰでは小動物臨床の動物病院で実習を行います。これまでに専門基礎科目から積み重ねてきた学習と実習の成果を臨床系の知識や技術と結びつけ、深い学びへと繋げていきます。動物看護総合実習Ⅱでは生産動物を含めたさまざまな動物医療関係施設で実践的な技術を学びます。ホームドクターから二次診療まで、自分が希望する獣医療関連施設を選んで学ぶことが可能です。これらの学外実習では清掃や消毒といった基本的な衛生管理から保定、各種検査、処置などの補助を行います。手術や診療の現場に立ち会うと共に、動物の生命力や飼い主の想いを感じる良い機会となります。これらの学外実習中は、技術を学ぶだけでなく、責任ある行動・守秘義務の遵守・インフォームドコンセントの重要性の理解など、社会人としての基礎力も求められます。本実習で培った力は、その後の社会生活でも大きく役立ちます。※本実習は複数教員により毎回異なる内容の実習を行います。



4 超音波検査についての指導を受ける 5 実際の超音波検査画像

酪農学園大学で 教員を目指す

農食環境学群対象

教職課程教育

本学では学類によって、中学校教諭一種免許状(理科・社会科)、高等学校教諭一種免許状(理科・公民科・農業科)が取得可能です。農食環境学群の各学類(管理栄養士コースを除く)に所属しながら「教職課程教育」に登録して教員免許を取得することができます。

■ 学群・学類ごとにみた取得可能な免許

教員免許取得可能領域		取得可能な免許
農食環境学群	循環農学類 動物科学領域 植物生産学領域	● 農業科(高校) ● 理科(中学/高校)
	食と健康学類※ 食品科学領域	● 農業科(高校) ● 理科(中学/高校) ● 社会科(中学) ● 公民科(高校)
	環境共生学類 野生動物学領域 地球環境学領域	● 理科(中学/高校)
	農環境情報学類 アグリデザイン領域 地域データサイエンス領域	● 農業科(高校) ● 社会科(中学) ● 公民科(高校)

※食と健康学類 管理栄養士コースでは教員免許を取得することはできません。

合格者(卒業生)の声

教職課程の手厚いサポートと仲間たちとの努力で掴んだ合格

入学時から教員になりたいと考えていたため、教職課程を履修し、3年次からは農業科教育課程研究室に所属して農業科教員を目指しました。教養試験や専門試験の過去問提供、2次試験の面接対策や教科等指導法試験対策など、合格に向けて手厚くサポートしていただき、とても心強かったです。教職課程の授業以外にも、専門教育で履修した畑作物栽培学や野菜園芸学の講義、園芸学実習などで身につけた専門知識や技術は、教員採用試験の1次試験(専門試験)対策で非常に生かされました。面接対策では、先輩方が作成した過去の面接をまとめたプリントがとても役に立ち、先輩方には感謝の気持ちでいっぱいです。

試験が近づいてきた時期には、仲間たちと研究室に夜遅くまで残り、試験で出題される傾向が高い問題を自分たちで作成して解き合いました。学生同士で面接練習も行い、回答した内容について質問して深掘りすることで、自分の言葉で回答できるように対策を立てました。

3年生の12月に教養試験を受験してから2次試験が終わる4年生の8月まで、研究室の活動や卒業論文と併行して試験対策をした時期はとても大変でしたが、教員を目指す仲間たちとともに合格に向けて切磋琢磨した日々は、良い思い出になっています。

生徒に寄り添い、農業の楽しさや命の尊さを伝えられる農業科教員になり、農業の担い手や農業関連産業に関わる人材を多く輩出していきたいです。



岩崎 兼大さん
農食環境学群 循環農学類 農学コース
2025年3月卒業
2025年4月より北海道中標津農業高等学校勤務
北海道/北海道名寄産業高等学校 出身

POINT

教員として全国で活躍! 酪農学園大学の教員養成

酪農学園大学から教員として日本全国で活躍している卒業生は600名以上、さらに道内高校の農業系科目教員にいたっては、全道の約70%が本学の卒業生です。本学の教員採用試験に向けたさまざまなプログラムに加え、全国で活躍する卒業生によるバックアップによって、多くの教員を輩出しています。



■ 酪農学園大学卒の教員

2025年度/本学調べ

※管理職、実習助手は含まず
※複数教科担当者は延べ数

日本全国
合計
672名

道内

農業系教員 154名
理科教員 119名
その他 84名

道外

農業系教員 195名
理科教員 40名
その他 80名

■ 道内高校の農業系科目教員の割合

※管理職、実習助手は含まず

全道農業系教員
225名

酪農学園大学出身の農業教員 約70% (154名)
他大学出身の農業教員 約30%



LIFE × WORK

社会で活躍する卒業生

スマート農業を推進し、営農問題の解決を目指す

現在所属する部署では、ドローンや自動操舵、営農システムなどを活用したスマート農業機械の推進・販売をサポートしています。日本の農業を取り巻く問題である農業の担い手不足や高齢化などに対して、いかに農業を省力化しこれらの営農問題を解決できるかを提案するため、北海道内を回り、実演や講習会を開くこともあります。在学中の実習で稲や麦の育成について1年を通して学び、育成期間や成長具合など、作業内容を理解するための知識や農業用語を学んだ経験は、農家の方々とコミュニケーションをとる際に大いに役立っています。

ひと口に「農業」と言っても、育てる作物、地域によって違った課題があります。それぞれの農家が抱える課題の解決の糸口をつかみ、お客様が納得する提案をして「ありがとう」という言葉をいただいた際に、大きな達成感を得ています。今後も、農業の普及を通じて北海道を支えるメンバーの一人になりたいと思います。

株式会社北海道クボタ スマート農業担い手推進部 スマート農業推進課 勤務

石崎 あかりさん

農食環境学群 循環農学類 農学コース 2024年3月卒業
宮城県/古川学園高等学校 出身



農業の普及を通じて、北海道を支えるメンバーになりたい

オホーツクの農畜水産物の付加価値を高めて地域の産業を発展させたい



食品の課題解決への取り組みに 大学での食に関わる学びが生かされている

オホーツクの農畜水産物の付加価値化の研究をはじめ、加工食品の開発・製造技術の改良に関する研究や企業との共同研究、委託に基づく受託研究を行っています。特に力を入れているのが、オホーツク管内で作付けが広がっているもち麦の調査・分析です。その他にオホーツクブランド認証制度の運営も行っており、オホーツク産の加工食品の魅力を消費者に知らせ、販路拡大を図る事業にも携わっています。オホーツク圏地域の一次産業は盛んですが、原料としての出荷が多く、食品加工による付加価値がまだまだ乏しいと感じています。新しく加工に取り組もうとしている人も多くいるので、そういった方々の力になりたいです。

食品の加工から開発、衛生技術と幅広く各事業者さんの課題と向き合っていますが、酪農学園大学での食に関わる学びの全てが生かされていると感じています。特に企業との共同研究に携わり、抱える課題を大学生のうちから知ることができた経験は、とても貴重な機会でした。

公益財団法人オホーツク財団 勤務

太田 悠介さん

農食環境学群 食と健康学類 食資源開発学コース 2021年3月卒業
北海道/北海道北見北斗高等学校 出身

管理栄養士として責任ある立場で 食堂を運営していきたい

東京で国際スポーツイベントが開催された時、選手村食堂の運営を委託されたのがエームサービスであったことを知り、病院給食以外にも幅広い事業があることに興味をもち、就職を決めました。

現在は管理栄養士として病院内の食堂で主に調理や仕込み、新メニューの作成、発注などを行っています。海外からのお客様も来店され、ベジタリアンなど食事制限がある場合は、食堂のメニューを基に専用のメニューを作成しています。今年は新メニューを増やしており、お知らせを出した時に期待の声をいただいたり、全て売り切れたりした時、ニーズに応えられたと感じて嬉しいです。

在学中は所属していたゼミで、ピザ屋さんとコラボして商品開発に取り組みました。自分が考えたピザが実際に通販などで売られるのは大変光栄でしたし、何より家族や周りの人が「美味しかったよ」と言ってくれたのが心に残っています。

今後は事業所責任者を目指して、現場業務だけでなくクライアント様と関わるような、責任ある立場に立って食堂を運営していきたいです。

エームサービス株式会社

手稲溪仁会ひだまり食堂事業所 勤務

姉齒 千穂さん

農食環境学群 食と健康学類 管理栄養士コース 2022年3月卒業
北海道/北海道札幌稲雲高等学校 出身



家族や周りの人からの
「美味しかったよ」の一言が心に残っている

身をもって学んだ現場の実情が、
柔軟な施策に生かされている



今後はさらに北海道のためになる 業務をしていきたい

現在の業務は農林業被害防止としてのエゾシカ対策が中心で、捕獲事業や肉処理施設認証関係のほか、現地調査や関係機関との調整事務などを行っています。酪農学園大学では生物多様性保全研究室に所属し、今の業務に直結する内容の「人と動物との軋轢、特にシカに関して」が研究テーマでした。在学中に得た専門的な知識と、身をもって学んだ現場の実情は、行政的な考えに偏りすぎない施策に生かされています。また、本学の先生方だけでなく、当時の研究で関わった研究者やコンサルタントの方々が道の野生鳥獣関係の会議に出席されており、本学で築いた人間関係が業務に大いに役立っています。

今後はさらに北海道のためになる業務をしていきたいと思います。国または道の指針および現場の実情をよく理解したうえで、最大限の効果を発揮できるような、それぞれが譲歩できる妥協点を見つけ出し、事業等を実施していきます。本学でお世話になった先生方と仕事で関わり、恩返しもできたら最高ですね。

北海道日高振興局

保健環境部 環境生活課 勤務

久郷 真治さん

農食環境学群 環境共生学類 野生動物学コース 2020年3月卒業
北海道/市立札幌清田高等学校 出身

自分自身の成長を 病院全体の医療レベル向上に繋げる

生まれも育ちも北海道ですが、関西での生活に憧れ、小動物の一次臨床に携わりたいという思いから、大阪府にある北摂けものみち動物医療センターで勤務しています。

犬や猫などの内科診療の対応や、一次診療での軟部外科手術を担当しています。病院の規模拡大に伴い重症患者が増え、麻酔科の重要性がより高まるなか、入職以来、自主的に勉強を重ねて麻酔技能基礎認定医に合格することができ、院内の医療レベルの向上にも貢献できました。医療の質が高まることは動物の命を救うだけでなく、そのご家族のQOLを高めることにもなるため、自分の成長は仕事のやりがいにつながっていることを実感しています。

酪農学園大学では勉強だけでなく、サークルやアルバイト、留学生との交流など、さまざまな活動をしました。それら全ての経験が現在の自分に繋がっていると思います。今後も、大好きな大阪で働きながら、一つでも多くの命を救うため、研鑽に励みたいです。

北摂けものみち動物医療センター 勤務

木村 淳一郎さん

獣医学群 獣医学類 2021年3月卒業
北海道/北海道室蘭栄高等学校 出身

※QOL(Quality of Life):「生活の質」「人生の質」などを意味する言葉で、日常生活全体の満足度を総合的に表す指標



動物の命を救うだけでなく、ご家族のQOLも高めたい



アメリカの専門看護師の姿に憧れ、自分も専門分野の資格を取得

動物看護師が積極的に関わることで チーム医療をつくっていききたい

私は愛玩動物看護師の立場から、新規開業の動物病院でチーム医療づくりに関わりたいと考え、今の職場を選びました。今は愛玩動物看護師長として、医療業務や飼い主様対応、入院看護、院内清掃などに加え、スタッフのシフト作成、イベント企画、SNS発信などの運営業務にも携わっています。

在学時に、アメリカのパデュー大学で2週間の動物病院研修に参加しました。現地の動物看護師は、獣医師と対等に意見を交わしながら外科やリハビリなどの専門性を発揮しており、その姿に強く憧れました。その思いを原動力に、前職の動物病院では知識・技術の向上に努めるとともに、専門分野としてリハビリの勉強にも力を入れ、昨年テネシー大学の犬のリハビリテーション資格「CCRP」を取得しました。

日本では動物看護師の重要性や業務範囲は職場によって異なるのが現状です。今後は動物看護師が獣医師とともに主体的に医療に携わり、チーム医療を提供できる環境をつくりたいと考えています。

株式会社 bloombloom

ふらっと動物病院 勤務

矢部 真彩さん

獣医学群 獣医保健看護学類 2019年3月卒業
滋賀県/滋賀県立守山高等学校 出身

酪農学園大学は、 一人の青年の 熱い想いから始まった

酪農学園大学は創立時から変わらない想いを受け継いでいます。それは一人の青年が生涯をかけた使命感から生まれたもの。酪農を通じて人の真の豊かさを追い求めた黒澤西蔵の想いは、本学で今も息づいています。三愛精神と健土健民を建学の精神とした人格の完成を目指し、高邁な学識と技能を有する知行合一の有能な農業人並びに社会の人材を養成することを本学の目的としています。



黒澤 西蔵 24歳 (明治42年)

朝3時には起床して牛の世話をし、搾乳し、牛舎を清掃し、大八車を引いて札幌市内で牛乳を売り歩いた。この一歩が、後に、「酪農を通して全人類の福祉向上に貢献し得る人材育成」という崇高な志へと変化していく。この姿に、北海道の酪農産業と北海道の食の発展の源流を見る思いがする。

Mission

健土健民

健やかな大地は、健やかな食を生み、健やかな^{いのち}生命につながる。その循環を育みつづけ、より善い社会をつくる。

Value

三愛精神

神を愛し、人を愛し、土を愛す

常に真理とは何かを追い求め、
互いの違いを認めながら手を取りあい、
大地が育む^{いのち}生命への敬意と感謝を持ちつづける。

Vision

知に足つけて、どこまでも。

せんぶ、ちいさな一歩から始まった。

まだ、「酪農」が当たり前ではなかった時代。

酪農の可能性にすべてを賭けた人がいた。

ムリだ、やめろ、と周りにどれだけ止められても。

踏みだした一歩を、絶対に止めなかった。

困難に試されて、人は成長し、そして希望は生まれる。そう信じ続けた。

大地を耕し、^{いのち}生命を育み、すべての恵みを活かすきる。

自然のサイクルを、地域や社会に還元していく。

それは、大地を活かしたベンチャーだった。

まだない明日をカイタクする。その精神は今も生きている。

酪農から発展した、多様な実学のフィールドへ。

教科書の上の知識だけではなく、空の下で生きた知恵を吸収する。

志を立てる力、人と助け合う力、現場から学び取る力…。

すべてが、これからの正解のない世界を生き抜くチカラになる。

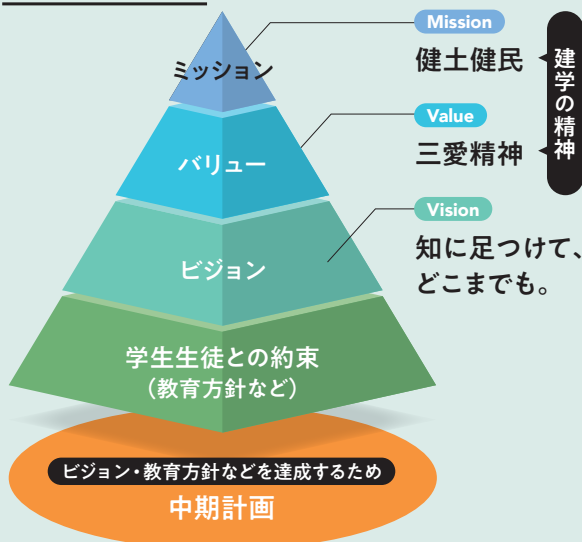
そして、地域の社会の、根っこをつくる。

未来の根っこを、つくっていく。

踏みだそう。せんぶ、そこから始まるんだ。

さあ、すすめ。知に足つけて、どこまでも。

RAKUNO理念体系



創立者

黒澤 西蔵
(くるさわ とりそう)

黒澤西蔵のあゆみ ▶



1885(明治18)年茨城県久慈郡世矢村(現常陸太田市)に生まれる。20歳で北海道に渡り、牧夫になる。以後、96歳までの生涯をかけて酪農の振興に尽力し、農民のための会社を立ち上げ、農民のための学校をつつた。その業績から、日本酪農の父と呼ばれる。



学長メッセージ

未来をつくる キャンパスへようこそ

酪農学園大学へようこそ。本学は、創立者・黒澤酉蔵の「人の幸せに役立ちたい」という思いから始まり、自然と生命を大切にす
実学の精神を受け継いできました。この考え方は、農・食・環境・獣
医系分野を志す皆さんにとって、未来を切り拓く確かな軸になるは
ずです。

キャンパスは札幌近郊・江別市に広がる東京ドーム約28個分と
いう広大なフィールドです。野幌森林公園に隣接し、乳牛舎、肉牛
農場、作物園場、食品施設、附属動物医療センターなどが一体と
なり、全国でも珍しい“本物の現場”がそのまま学びの舞台になっ
ています。都市の便利さと豊かな自然がそろうこの環境で、学びは
常にリアルな体験と結びつきます。

本学では「農・食・環境・生命」を軸に、酪農・畜産、食品開発、
栄養、獣医療、環境保全、地域づくりなど多彩な分野を横断して学
べます。さらにスマート農業やデジタル技術など、未来社会に必要な
領域も急速に広がっています。2026年度にはAIとデータサイ
エンスを活用する「農環境情報学類」が開設されるほか、ロボット
トラクタやドローンを用いた実習、ファンヘルズ研究の推進など、教
育と研究は常に進化しています。

そして、大学で過ごす4年間に「ワクワクする時間」にすることも、
本学が大切にしていることです。研究、課外活動、国際交流、地域
連携、フィールドワーク、インターンシップ——ここには、皆さんが
主体的に動けば動くほど学びが広がる環境があります。

また本学では、学生と教職員が対話しながら大学を創造、発展
させていく、「共に創る、学びの自治」という新しい大学の姿を目指
しています。皆さんの意見や挑戦が大学をより良くしていく、そんな
参加型の学びの場です。

いま、世界は気候変動、感染症、食料安全保障など、さまざまな
課題に直面しています。自然のしくみを理解する科学的視点と、人
に寄り添う感性の両方を持つ人材が求められています。本学での
経験と仲間との学びは、きっと皆さんの未来を支える力になります。

生命の尊さや自然の奥深さ、未来をつくる喜びを実感できる場
がここにあります。新しい挑戦を始めたい皆さんを、本学はお待ち
しています。

さあ、一緒に未来を切り拓いていきましょう。



酪農学園大学 学長 岩野 英知

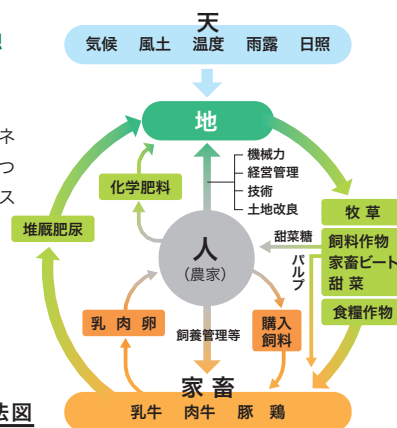
沿革

- 1933年 北海道酪農義塾開設
- 1942年 野幌機農学校開設
- 1948年 学制改革により野幌機農学校を野幌機農高等学校に校名変更
野幌高等酪農学校(通信教育)開設(1991年3月に廃止)
- 1949年 酪農学園大学部(各種学校)を開設(1950年3月に廃止)
- 1950年 酪農学園短期大学酪農科を開設
- 1958年 酪農学園女子高等学校(全日制 普通科)を開設
- 1960年 酪農学園大学酪農学部酪農学科を開設(2017年3月に廃止)
酪農学園女子高等学校を三愛女子高等学校に校名変更
- 1962年 酪農学園短期大学製造科を開設(1972年3月に廃止)
- 1963年 酪農学園大学酪農学部農業経済学科を開設(2016年1月に廃止)
- 1964年 酪農学園大学酪農学部獣医学科を開設
酪農学園短期大学酪農科を1コース(全日制)、2コース(季節制)(1984年3
月に廃止)とする
野幌機農高等学校を酪農学園機農高等学校に校名変更
- 1975年 酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医学専攻(修士課程)を開設
- 1978年 酪農学園大学酪農学部獣医学教育修士課程を含む6年制に移行
- 1981年 酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医学専攻(博士課程)を開設
酪農学園大学大学院酪農学研究科酪農学専攻(修士課程)を開設
- 1984年 三愛女子高等学校英語コースを開設
酪農学園機農高等学校を酪農学園大学附属高等学校に校名変更
- 1985年 酪農学園短期大学を北海道文理科短期大学に校名変更
北海道文理科短期大学教養学科を開設(1999年12月に廃止)
- 1988年 酪農学園大学酪農学部食品科学科を開設(2016年3月に廃止)
三愛女子高等学校をとわの森三愛高等学校(共学)に校名変更
- 1990年 北海道文理科短期大学経営情報学科を開設(1999年12月に廃止)
- 1991年 酪農学園大学附属高等学校をとわの森三愛高等学校が統合し、(新生)とわの
森三愛高等学校(酪農経営科・普通科・英語科)を開設
酪農学園大学大学院酪農学研究科食生産利用科学専攻(博士課程)を開設
- 1994年 酪農学園大学酪農学部食品流通学科を開設(2016年3月に廃止)
- 1995年 酪農学園大学大学院酪農学研究科フードシステム専攻(修士課程)を開設
- 1996年 酪農学園大学獣医学部獣医学科を開設(酪農学部獣医学科を改組、2021年
3月に廃止)
- 1998年 酪農学園大学環境システム学部経営環境学科(2010年7月に廃止)および地
域環境学科を開設(2016年3月に廃止)
北海道文理科短期大学を酪農学園大学短期大学部に校名変更および酪農科
を酪農学科に学科名変更
- 2001年 酪農学園大学酪農学部食品科学科に食品科学専攻(2016年8月に廃止)と
健康栄養学専攻(管理栄養士、2016年3月に廃止)の2専攻を開設
- 2003年 酪農学園大学大学院酪農学研究科食品栄養科学専攻(修士課程および博士
課程)を開設
- 2005年 酪農学園大学環境システム学部環境マネジメント学科(2017年3月に廃止)
および生命環境学科を開設(2017年9月に廃止)
- 2011年 酪農学園大学農食環境学群循環農学類、食と健康学類、環境共生学類およ
び獣医学群獣医学類、獣医保健看護学類を開設(酪農学部、獣医学部および
環境システム学部を改組)
酪農学園大学短期大学部募集停止(2012年10月に廃止)
- 2015年 酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医保健看護学専攻(修士課程)を開設
- 2019年 とわの森三愛高等学校を酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校に校名変更
- 2020年 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校通信制課程に農食環境科学科設置認可

Keyword 酪農を軸とした思想 循環農法

人と自然が共生し、物質やエネ
ルギーが循環するシステムをつ
くる思想。持続性がありバランス
の取れた「循環農法」は
「健土健民」思想の実践
といえます。

循環農法図



つながる、広がる、深まる 酪農学園大学の学び

酪農学園大学では、人や動物、植物、食、自然、命などを軸に2学群6学類が互いに深く関係しています。そのつながりを生かし、ほかの分野の知識を取り入れ、あなたの学びをさらに深めることもできます。ひとつの領域にとらわれない視野はこれから生きる力になるはずです。



■ 学群・学類インデックス

学群	教育段階				学類	
	1年次	2年次	3年次	4年次		
農食環境学群 安全な食料を供給する農業について、酪農学・畜産学・農学など多角的に追究する。	初年次教育				専門教育 共通教育 教職課程教育 >> P.29	
		動物科学領域				P. 39
		植物生産学領域				
食と健康学類 食の生産、加工・製造、流通ならびに健康など、食に関わる知識や技術を幅広く学ぶ。	酪農学園導入教育				P. 47	
	人文社会科学教育	食品科学領域				
	自然科学教育	管理栄養士コース				
	保健体育教育					
環境共生学類 野生動物やそれを取りまく地球環境を広く、深く学び、自然と調和・共生する社会の形成に貢献できる力を育成する。	情報教育				P. 55	
	外国語教育	野生動物学領域				
	キャリア教育*	地球環境学領域				
	全学共通教育					
農環境情報学類 社会調査手法やドローン等の情報技術を使い、農業や環境分野における課題を情報を活用して解決する人材を育成する。	学群専門導入教育				P. 63	
	▼ P. 37-38	アグリデザイン領域				
		地域データサイエンス領域				

※管理栄養士コースの「キャリア教育」は3年次開講

■ 獣医学群

学群	教育段階			学類
	1年次	2・3年次	4・5・6年次	
獣医学類 獣医療をはじめ生命科学における先端的研究を推進する、高度な専門性を有した獣医師を育成する。	初年次教育			専門・専修教育 専門基礎教育 基盤教育
	酪農学園導入教育		生体機能学	
	人文社会科学教育		感染・病理学	
	自然科学教育		予防獣医学	
獣医保健看護学類 獣医学と動物看護学を学び、幅広い獣医保健看護領域を担える人材を育成する。	保健体育教育		生産動物医療学	P. 71
	情報教育		伴侶動物医療学	
	外国語教育			
	▼ P. 37-38	2年次	3・4年次	
		基礎動物看護学		P. 77
		応用動物看護学		
		臨床動物看護学		

初年次教育で **農** **食** **環境** **生命** のつながりを学ぶ

つながりの大切さを学び 生きる力を身につける



▲学びの構造

本学の初年次教育は、人のつながり、生命の循環、命の尊さを学ぶとともに、学生の自主性を促す教育プログラムを展開し、他者と協働して課題解決に取り組む力を身につけます。授業科目には、学群ごとの必修科目と学群共通の必修科目があります。初年次教育で培った力は、その後の専門基礎教育や専門教育はもちろん、さらにその先の人生に必要となる「生きる力」＝「豊かな人間性と専門性を兼ね備え、主体性をもって前に進む力」につながります。

授業科目区分

酪農学園導入教育	人文社会科学教育	自然科学教育
保健体育教育	情報教育	外国語教育
キャリア教育*	学群共通教育*	学群専門導入教育*

※獣医学群を除く

知見を広める

農作業や作物・植物の観察、牛舎での搾乳などを通じて、物質の循環および私たちの食料が動植物の生命に由来して生産されていることを体験的に理解していきます。また、生命に密接な環境問題についてもグローバルな視点で考えるための教養も取り入れています。

鶏舎の管理実習

学群共通

飼料給与や集卵作業などの管理作業を行います。



作物の形態観察 農食環境学群

根に共生する根粒を観察。作物生産における一連の流れを体験します。



搾乳 学群共通

牛舎で搾乳の様子を見学し、実際に搾乳を体験。

基礎ゼミ農園 農食環境学群

「基礎演習」の授業の一環として、キャンパス内にある農場の畑で作物を育て、管理します。



※学群・学類により内容が異なる場合があります。



教室での講義
「建学の精神と農食環境学概論」
または「建学原論」 **学群共通**

建学の精神を理解し、これからの学生生活において重要な根幹を形成します。

専門性を身につけるうえで必要な基礎力を固めるため、「建学の精神」をはじめ、さまざまな領域を学びます。さらに環境問題やSDGsについてグローバルな視点で捉えるための国際的なコミュニケーション能力も身につけます。また、グループ発表やスポーツを通じて、他人とのつながりの中で社会性や道徳性も養います。

体育実技 **学群共通**
チームワークの大切さを知ることも、人間力の形成につながります。

人間力を高める



外国語教育 **学群共通**
国際的視点を養ううえで重要な語学も学びます。

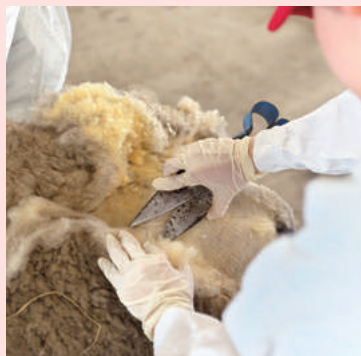


動物のハンドリングや聴診など実際の動物に触れる機会を多く取り入れるほか、獣医学・獣医保健看護学の基礎となる初歩的な技術の実際を体感することで、命の尊さを理解します。

牛追い **学群共通**
放牧されている牛を実際にハンドリングします。



動物の救命処置体験 **獣医学群**
犬のモデルを用いて救命処置の基本的な流れを体験します。



羊の毛刈り **学群共通**
羊のハンドリング方法や毛刈りを実践し、細部の身体的特徴を観察します。

豚の飼養管理 **獣医学群**
本学の肉牛や鶏の飼養施設で、適切な飼養管理を体験します。



命を体感する

農食環境学群

循環農学類

College of Agriculture, Food and Environment Sciences / Department of Sustainable Agriculture

農学を学ぶ

生命科学としての



学びのポイント

1

「生命科学」としての 農学を学ぶ

私たちの生存に必要な食料の生産を、理論と技術の両面から支える、それが農学の役割です。循環農学類では、フィールドに関連する問題を発見し、生命科学のメスで切り込むことを通じて、本質を見極めて能動的に行動する力を養います。

2

多彩な分野、 多彩な仲間

循環農学類には約30の研究室があり、主に動物と植物の生産を柱にして、農産物利用、社会倫理、そして教職教育まで、広範な学問範囲を扱っています。全国47都道府県から集まってくる多様な仲間と切磋琢磨しながら、取り組めるテーマの広さは無限大です。

取得可能資格

- 中学校教諭一種(理科)
- 高等学校教諭一種(理科・農業)
- 准学校心理士
- 家畜(牛)人工授精師
※講習会受講・最終試験合格の場合
- 家畜体内(外)受精卵移植師
※講習会受講・最終試験合格の場合
- 数理・データサイエンス・AI教育プログラム
認定制度(リテラシーレベル)

任用資格

- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者
- 飼料製造管理者

受験資格

- ペット栄養管理士

学類でサポートする資格

- 簿記検定2級・3級
- 経済学検定(ERE)
- 食生活アドバイザー3級
- 北海道フードマイスター
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1・2・3)
- 食品衛生責任者
- 学芸員
- 牛割蹄師(2級)

目指す業界・職業

- 食品関連産業(乳業・食品、小売店など)
- 農業関連産業(肥料・飼料、動物医薬品など)
- 試験研究機関、動物飼育員
- 農業協同組合、家畜人工授精師
- 中学・高校教員、公務員(行政職など)
- 酪農・農業経営、農業法人 など



3

持続可能な社会の担い手を目指す

本学の創立者・黒澤西蔵が90年以上前に唱えた「循環農法」の精神は、循環農学類に受け継がれています。SDGsに注目が集まるなか、環境にやさしく持続可能な農業、未利用資源の活用、気候変動対策といった、現代社会の課題の解決に取り組んでいます。

4

北海道まるごと全部が私たちのフィールド

フィールドとの距離に近いことも循環農学類の強みです。3つの生産ステーションはもちろん、日本の食料基地・北海道も私たちのフィールド。現場のリアルな問題に向き合うことが実践的な学びにつながり、新しい知識への好奇心をかきたてます。

動物科学 領域



動物科学領域における専門教育では、キャンパス内の広大な草地、酪農生産ステーション、肉畜生産ステーションを用いて、さまざまな動物の生理・生態から実践的な生産体系（乳・肉・鶏卵を効率的に生産するための育種改良、繁殖・子畜生産、飼養管理、飼料生産など）、生産物の利用と流通までを一体的に学びます。また、持続的に発展する社会の構築に向け、動物の健康や快適な暮らしへの配慮の仕方、環境負荷の少ない循環型社会の実現に向けた取り組み、私たち人間の暮らしにおける動物との関わり方を科学的に探求します。さらに生産の現場である農家で行う学外農場実習も選択可能です。3・4年次には配属された研究室での活動を通して専門性を一層高めめます。教員免許（高校の農業と理科、中学校の理科）、家畜（牛）人工授精師や家畜体内・体外受精卵移植師の資格取得も積極的に支援します。

領域のポイント

- 酪農の本場・北海道で本物の酪農学を学ぶ
- 充実した施設で多様な畜種（乳牛、肉牛、豚、鶏、羊など）の生産技術を実践的に習得
- 学内の酪農生産ステーションには約170頭の乳牛
- 広い業界ネットワーク
- いろいろな動物を対象にした、動物行動学やアニマルウェルフェアについて学べる
- 元野幌にある肉畜生産ステーションは総面積約100ha
- それぞれの動物種について2品種以上の家畜を飼養している
- 肉用牛約90頭、豚約130頭、羊約20頭、採卵鶏約200羽を飼養
- 採草用圃場が50ha以上
- エコフィードを積極的に利用した資源循環型の肉畜生産体系を学ぶことができる
- 講師陣は学内から臨床獣医師、家畜人工授精師、管理栄養士など。また、外部講師として体型審査員や削蹄師など充実
- 肉牛については受精卵の生産から肉の加工まで、牛肉生産に関する全ての工程を学ぶ

2年次から領域に分かれて、専門的な学びを深めます。

循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

農環境情報学類

獣医学類

獣医保健看護学類

植物生産学 領域



植物生産学領域における専門教育では、キャンパス内に整備された水田や畑作圃場、ガラス温室、ビニールハウスなどで稲作や畑作、園芸生産を実践的に学びます。また、資源循環型農業を支える土(微生物)のはたらきの理解や、環境負荷軽減を目指した総合的病害虫・雑草管理(IPM)を実践できる能力を座学と実験・実習で養います。さらに、「植物生理学」や「植物遺伝育種学」では応用に欠かせない基礎的知識を修得します。農業生産の現場で学ぶ「学外農場実習」も選択可能です。3・4年次には配属された研究室での活動を通して専門性を一層高めます。教員免許(高校の農業と理科、中学校の理科)をはじめとする資格取得と進路選択を積極的に支援します。

領域のポイント

- ✔ 日本の食料を支える大規模畑作の本場・北海道で本物の農業を学ぶ
- ✔ 温暖化社会に対応した次世代農業の実践
- ✔ 最先端の栽培技術、スマート栽培技術を導入
- ✔ 土壌の科学的な理解に基づく持続的な土づくり、栽培体系を実践
- ✔ 環境制御可能な最新設備を有したガラス温室が通年利用可能
- ✔ 地域の有機資源を有効活用した循環農法を学ぶ
- ✔ 農産物を利用、流通までを一体的に捉えた生産体系の実践
- ✔ 水稲、畑作、野菜、花きなど、多様な現場ニーズに対応した実験実習
- ✔ 栽培技術分野の科目と教育的に連動して配置された、土壌、作物栄養、植物の生理・病理・遺伝・育種、作物害虫や雑草に関する専門分野の科目群が充実
- ✔ 実際の生産者との連携による実践教育・研究が充実

学びの流れ／カリキュラム

☆1：外国人留学生のみ
※この内容は2026年3月現在のものです。今後変更の可能性があります。

1年次

共通教育

- 基礎演習
- キリスト教Ⅰ
- キリスト教Ⅱ
- 哲学
- 心理学
- 文学
- 社会学
- 日本史
- 世界史
- 地理学
- 法学
- 日本国憲法
- 経済学
- 数学Ⅰ
- 数学Ⅱ
- 生物学
- 生物学実験
- 化学
- 化学実験
- 物理学
- 地学
- 運動の科学
- 体育実技Ⅰ
- 体育実技Ⅱ
- 情報科学の基礎
- 情報処理基礎演習
- 英語Ⅰ
- 英語Ⅱ
- 日本語Ⅰ ☆1
- 日本語Ⅱ ☆1
- キャリアベーシック
- キャリア実習
- 全学共通科目A
- 全学共通科目B
- 健土健民・農食環境学入門実習
- 建学の精神と農食環境学概論

専門教育

- 農と食の関係学
- 農場から食卓までの体験実習
- 畜産学総論
- 植物生産学入門

教職課程教育

- 教職入門
- 教育原理
- 教育心理学

2年次

共通教育

- キリスト教と諸宗教
- 統計学Ⅰ
- 統計学Ⅱ
- 物理学実験
- 地学実験
- 情報処理演習
- 英語Ⅲ
- 英語Ⅳ
- 中国語Ⅰ
- 中国語Ⅱ
- ハングルⅠ
- ハングルⅡ
- 学外農場実習

専門教育

- 経営学入門
- 農業政策学Ⅰ
- 簿記・会計学基礎
- 物質化学A
- 物質化学B
- 生化学Ⅰ
- 生化学Ⅱ
- 植物生態学
- 微生物学
- 乳肉科学
- 循環農学類演習Ⅰ
- 循環農学類演習Ⅱ
- 土壌学
- 草地・飼料作物学
- 農業機械・施設学
- 農業生産化学
- 動物科学入門実験・実習

【動物科学領域】

- 動物遺伝学
- 動物の栄養学
- 動物の機能と形態
- 動物の育種
- 家畜繁殖学
- 動物の行動と管理

【植物生産学領域】

- 作物栄養学
- 土壌・作物栄養学実験
- 応用昆虫学
- 植物生理学
- 作物生産学Ⅰ
- 園芸生産学Ⅰ

教職課程教育

- 特別支援教育論
- 教育方法・ICT活用論
- 生徒・進路指導論
- 教育課程論
- 教育相談論

3年次

共通教育

- キリスト教と生命倫理
- 外国語演習Ⅰ
- 外国語演習Ⅱ
- キャリアデザインⅠ
- キャリアデザインⅡ
- 博物館実習

専門教育

- 農畜産物市場論
- 営農システム論
- アグリビジネス論
- 農業協同組合論
- 食品化学
- 栄養生理学
- 動物生態学
- 気象学の基礎
- 野生鳥獣管理学
- 食品分析学
- 公衆衛生学
- 食品衛生学
- 畜産物利用学A
- 畜産物利用学B
- 専門ゼミナールⅠ
- 専門ゼミナールⅡ
- 農業経営学
- 酪農・畜産経営論

【動物科学領域】

- 家畜育種・繁殖学実験
- 動物の衛生
- 家畜管理・衛生学実験
- 家畜繁殖技術論
- 家畜栄養・生産学実習
- 肉用家畜学
- 乳用家畜学

【植物生産学領域】

- 作物生産学Ⅱ
- 園芸生産学Ⅱ
- 作物園芸学実習Ⅰ
- 作物園芸学実習Ⅱ
- 植物遺伝育種学
- 植物病理学
- 植物育種・保護学実験Ⅰ
- 植物育種・保護学実験Ⅱ

教職課程教育

- 特別活動論
- 農業科教育法Ⅰ
- 農業科教育法Ⅱ
- 職業指導Ⅰ(農業)
- 職業指導Ⅱ(農業)
- 理科教育法Ⅰ
- 理科教育法Ⅱ
- 教育社会学
- 総合的な学習の時間の指導法
- 道徳教育指導論

4年次

専門教育

- マーケティング論
- 卒業研究Ⅰ
- 卒業研究Ⅱ
- 研究発表
- 受精卵移植論

教職課程教育

- 理科教育法Ⅲ
- 理科教育法Ⅳ
- 教育実習(中・高1免)
- 教育実習(高1免)
- 教職実践演習(中・高1免)

→ Pick up!

ピックアップカリキュラム1 ▶ 専門ゼミナール



1 体測風景(体長を測定) 2 教室でのゼミナール活動風景 3 ブラッシング

肉用牛の飼養管理技術を通じて
専門的な知識や技術を習得する

本研究室では肉牛農場でのゼミ活動を通じて、哺乳、育成、繁殖から肥育まで一貫して飼養管理技術を習得することが可能です。また、牛の能力評価値、ゲノミック評価値、人工授精、受精卵移植、体外受精技術などの有効活用方法について学ぶことができます。家畜人工授精師は人工授精や受精卵移植の技術のみではなく、牛個体に合った種雄牛の選定、市場価値の高い子牛生産など幅広い知識が必要です。近年、資材や飼料価格の高騰により畜産経営が圧迫されています。また、牛にも地球環境にもやさしい物質循環に配慮することが求められます。肉牛農場では食品加工副産物などの未利用資源利用によるエコフィードを活用した肉牛の飼養コスト低減技術の研究を2009年より行っています。このように、専門ゼミナールでは実際の飼養管理技術から繁殖管理技術まで幅広い知識や技術を習得することができるため、卒業後の就職先でも役立つものと思います。



西寒水 将先生
家畜生産改良学研究室

ピックアップカリキュラム2 ▶ 植物育種・保護学実験I・II (育種分野担当)



1 北海道の水稲品種「ゆめぴりか」と府県品種「コシヒカリ」の草姿比較 2 交配のために雄しべを取り除く「除雄」作業 3 風媒によるキセニア現象の理解

植物の「育種」と「保護」を統合した
より専門的な学びを提供する

育種分野の実験では、遺伝資源の播種や栽培管理、交配操作、収量・品質などの形質調査に加え、DNAマーカーによる遺伝子の確認など、多様な技術を修得します。前期・後期の通年開講により、作物の生育に最適な時期に合わせて実験を行えるため、育種の核となる技術を実践的に学ぶことができます。また、植物保護に関する植物病理学・農業昆虫学分野の専門教員と連携し、病害虫抵抗性に関する遺伝分野の高度な実験も行います。学生たちは知識を「頭で理解している」状態ですが、広大なフィールドに出て自ら種をまき、植物と向き合う経験を重ねるにつれ、その知識が「生きた知恵」へと変わっていきます。自ら交配操作を行い、雑種第一代(F1)という新たな生命が誕生する瞬間は、大きな感動をもたらします。こうした成功体験を通じて、「自分たちが未来の食を創っている」という喜びと使命感が芽生え、農業やそれを取り巻く環境への意識も大きく高まります。



岡本 吉弘先生
植物育種学研究室

循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

農環境情報学類

獣医学類

獣医保健看護学類



研究室紹介

2026年1月現在

研究室	教員	テーマ
動物遺伝学	天野 朋子	家畜など動物の形質の遺伝的背景を理解し、その産業への応用を目指す
動物生殖工学	今井 敬	バイオで牛をつくり育てる—120 μ m [*] の卵子から900kgの肥育牛まで— ※ μ m=マイクロメートル
理科教育	金本 吉泰	理科教育における生徒の資質・能力の育成についての研究
畜産衛生学	菊 佳男	家畜の健康を守り、生産者と消費者を守る考え方を学ぶ
作物栄養学	小八重 善裕	作物の栄養と健康を見つめ、豊かな食料生産に貢献する
キリスト教応用倫理学	小林 昭博	現代世界の多様なテーマを聖書やキリスト教思想を通して読み解く
植物病理学	薦田 優香	植物の病気を遺伝子レベルで解明し、農業被害を防ぐ技術につなげる
草地・飼料生産学	三枝 俊哉	草地・飼料作物の効率的な生産による持続的な土地利用技術の研究
土壌環境学	澤本 卓治	土壌を中心とした物質動態とその環境との関わりを研究
農場生態学	園田 高広	野菜と病害の生理生態を踏まえた栽培法や病害防除法の開発
家畜繁殖学	堂地 修	牛の人工授精、胚移植、体外受精、繁殖管理、肉牛の飼養管理に関する研究
家畜栄養学	中辻 浩喜	草食家畜の栄養生理学を基本に土地利用型乳肉生産を実現する
農業科環境教育	廣瀬 之彦	SDGsの視点による探究活動を通し、農業教育の在り方を研究する
英語圏文化	藤田 佳也	「言語」「文化」「表現」を読み解く方法について学ぶ
園芸学	森 志郎	花きを中心とした新規園芸植物の作出と高品質栽培技術の確立
家畜管理・行動学	森田 茂	「家畜に配慮」した人・牛に優しい管理システムを動物行動から構築する
人と動物の関係学	山田 弘司	人と動物の相互理解とより良い関係を目指して
中小家畜飼養学	山田 未知	豚および鶏の効率的な飼養管理技術を探求する
農村計画論	吉野 宣彦	農村人口を減らさないために、農業のコスト低下や、付加価値生産、経営の多角化を考え、支える
作物学	義平 大樹	人類生存に不可欠な穀物類の良質多収栽培法の研究
資源植物学	我妻 尚広	植物群落の保全や緑化を目的とした植物の生態遺伝学的研究
植物育種学	岡本 吉弘	植物組織培養技術や遺伝子情報に基づいた作物の遺伝育種学研究
農業科教育	飛谷 淳一	実践的・体験的な学習活動を通じた農業教育に関する研究
農業昆虫学	中平 賢吾	天敵利用などの農業昆虫に関する研究
家畜生産改良学	西寒水 将	経済能力の高い乳牛および肉牛の牛群整備プログラムの設計
実践農学	猫本 健司	畜産環境や循環利用ならびに営農や就農に関する現況や課題の整理
栽培学	林 怜史	栽培管理に対する作物の反応を知ることで、持続可能な栽培技術を作る
動物育種学	増田 豊	家畜をはじめとする動物の性質を、データに基づく選抜と交配で遺伝的に改善する
家畜飼料学	土井 和也	輸入飼料に依存しない家畜生産を目指して
食物利用学	宮崎 早花	おいしい食べ物とは何かさまざまな視点から考える

詳しくCHECK!

Pick up 01 家畜生産改良学 研究室

経済能力の高い乳牛および肉牛の牛群整備プログラムの設計



Pick up 02 動物遺伝学 研究室

北海道和種馬のような珍しい在来家畜の遺伝的良さ(寒さに強い、放牧に向く、人によく馴れるなど)と関係する遺伝子の探索と活用

Pick up 03 作物栄養学 研究室

土づくりに大切な微生物たちの知られざる姿を見る・知る・調べる

Pick up 04 理科教育 研究室

学校現場などとの繋がりから理科教育の課題に迫り、その解決策を共に模索する



OB・OG インタビュー

※勤務先は2025年4月時点
※コース名称は在学時のもの

就職実績 >>P.87



株式会社長崎ファーム

これからも牛の命に 責任をもって働いていきたい

名倉 七海さん
循環農学類 酪農学コース 2023年3月卒業
石川県/金沢高等学校 出身

長崎ファームでは、毎朝獣医さんが来て牛の治療、病気の予防、繁殖管理などを行っています。私は主に子牛の治療と母牛の繁殖を担当し、毎日体調が悪い牛がいないう見回り、必要であれば投薬や点滴を行ったり、治療や人工授精を行ったりしてい

ます。農場 HACCP チーム員、SQF プラクティショナー*として、農場の衛生管理と食品安全の確保にも携わっています。

私は普通科の高校に通っていたこともあり、牛についての知識はほとんどありませんでしたが、酪農学園大学では授業で基本から学ぶことができました。座学だけでなく実習で牛を見たり触れたりすることができたため、就職後現場で実際に牛と関わる際に生かされています。

病気で苦しんでいる牛を助け、結果として会社の売上に貢献するために、これからも牛の命に責任をもって働いていきたいです。

*SQFプラクティショナー(食品安全・品質管理の専門家)

一般社団法人家畜改良事業団 家畜改良技術研究所 遺伝検査部検査第三課

先端技術で 育種改良をサポートしたい

鈴木 悠里さん
循環農学類 畜産学コース2019年3月卒業
茨城県/茨城県立下妻第一高等学校 出身

酪農学園大学で家畜遺伝学に出会ったことが私のキャリアの原点です。家畜遺伝学研究室で培った知識を生かしたいという思いで、多岐にわたる育種改良の業務を行う家畜改良事業団に入団しました。

主な業務は牛の遺伝情報を利用した能

力評価(ゲノミック評価)や遺伝的不良形質の検査、新しい検査の研究開発です。直接牛に触れる機会は少ないですが、検査した牛が優秀な種雄牛となり広く利用され、その活躍ぶりを見聞かすときに大きなやりがいを感じます。

今後も、急速に進歩し続けている牛の育種改良技術の中心にいる自覚を持ち、日々の業務から得た知識を現場へ分かりやすく普及する活動に重点をおくことで、畜産業界に貢献し続けたいです。



青森県農林水産部 畜産課

農家の方の声を聞き、 畜産の現場に還元していく

須藤 由貴さん
循環農学類 酪農学コース 2019年3月卒業
青森県/青森県立弘前中央高等学校 出身

現在は青森県における畜産業の振興が仕事で、酪農・養豚・養鶏を担当しています。乳用牛のデータを酪農家が活用するための体制構築や、地鶏の品質を保つためのブランド管理などを行っています。

酪農学園大学は学生の意欲に一生懸命

応えてくださる先生ばかりで、たくさんの知識・技術を学びました。研究室の森田教授からは、「現場で学び、現場に還す」を教わっていたため、今でも地域の現状を知るために現場に足を運ぶことを常に心がけています。実際に農家の方と話すことで、統計などの数字だけでは見えない課題が抽出でき、施策の検討へ繋げることができています。

今後は、農畜産がさかんな青森県の強みを生かした畜産業を目標としていきたいです。何年経っても農家の方の声を聞き、現場を見ることを継続していくつもりです。



循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

環境情報学類

獣医学類

獣医保健看護学類

食と健康学類

College of Agriculture, Food and Environment Sciences / Department of Food Science and Human Wellness

食を通じて人々を笑顔に

「食べる」は生きる



1

1年次には作物栽培や家畜に触れる農場実習で生産現場を体験

食品全般を理解するため、土から育てた作物が人の体の中で変化するまで、一連の流れを体験しながら学べます。1年次には畑に種をまいて育てた野菜の収穫を行い、また、牛や羊、鶏、豚など家畜に触れて食品のもととなる生産現場を体験します。

2

学内にある乳製品や肉製品の製造実習工場で体験を通じて食を学ぶ

ハムやベーコン、ソーセージなどをつくる食品加工実習室と、チーズやバター、アイスクリームをつくる乳製品製造実験実習室を完備。本格的な設備を使って、食品製造を学べます。

取得可能資格

- 中学校教諭一種(理科・社会)
※管理栄養士コースを除く
- 高等学校教諭一種(理科・農業・公民)
※管理栄養士コースを除く
- 准学校心理士
※管理栄養士コースを除く
- 栄養士 ※管理栄養士コースのみ
- 数理・データサイエンス・AI教育プログラム
認定制度(リテラシーレベル)

任用資格

- 食品衛生監視員 ● 食品衛生管理者

受験資格

- 管理栄養士国家試験 ※管理栄養士コースのみ
- フードスペシャリスト ※管理栄養士コースのみ
- 専門フードスペシャリスト(食品開発)
※管理栄養士コースのみ
- 専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)
※管理栄養士コースのみ

学類でサポートする資格

- 簿記検定2級・3級
- リテールマーケティング(販売士)2級・3級
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1・2・3)
※管理栄養士コースを除く
- 食品衛生責任者 ● 学芸員

目指す業界・職業

- 食品製造業
- 食品卸売・小売業
- 宿泊・飲食サービス業
- 農業協同組合
- 教育・学習支援業
- 教員
- 公務員 など

管理栄養士コース

- 医療・福祉施設
- 食品製造業
- 給食委託業
- 宿泊・飲食サービス業
- 公務員 など



3

安全・安心な「食品」の
製造・加工・流通から
健康・医療分野までをカバー

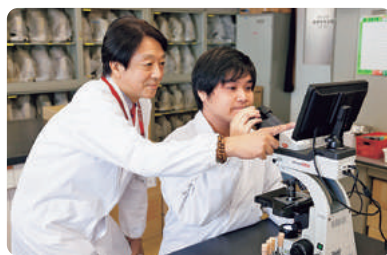
食の分野は、安全性やアレルギーの問題、食料自給率の低下、高齢者向けの食品開発の必要性などさまざまな課題を持ち、食品にとどまらず健康・医療まで密接な関わりがあります。これらを体系的に学び、それぞれの専門性を深めていきます。

4

管理栄養士国家試験合格を
目指す専門コースを設置

国家資格である管理栄養士はあらゆるライフステージで食事や栄養についてアドバイスを行うなど、食と栄養の専門職として社会的に需要が高く、取得すると活躍の場が広がります。管理栄養士コースでは、国家試験合格を目指し高度で効率的な学習を行っています。

食品科学 領域



本学の基本理念である実学教育を通して、食資源である農畜水産物、微生物などの特性や機能、加工・製造・分析技術を学びます。食品科学に関する幅広い知識と技術を習得するとともに、食品の分析業務、製造・品質管理現場に役立つ人材を養成します。また食品流通ならびにマーケット調査技術をもとにした食品開発にも触れ、新規食品事業開拓をもとに食品開発とその市場価値創生に貢献できる人材を養成します。得られた食品科学・食品流通の知識・技術を生かし「食と健康」のプロフェッショナルとして、人々の食生活に貢献したいという意欲を持つ皆さんをお待ちしています。

領域のポイント

- ✔ 食糧基地・北海道の食資源を活用した食品研究で地域貢献
- ✔ 食品ロス対策に有効な食品保存・加工技術の開発
- ✔ 電子顕微鏡や放射光などによる充実した食品微細構造の研究ができる
- ✔ 食品の安全・安心を維持する高度な食品衛生、生産管理の知識と技術が身につく（HACCPシステム実務者養成科目もある）
- ✔ 学内の生産物（乳製品・肉製品、野菜、ワイン用ぶどうなど）が研究や実習に自由に利用できる
- ✔ 食品メーカーや機器メーカーとさまざまな食材や加工装置を用いた新商品や新技術を開発中
- ✔ 企業との共同研究やフィールドワークが充実し、就職活動にも生きる

※管理栄養士コースは1年次よりコースに所属

循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

農環境情報学類

獣医学類

獣医保健看護学類

管理栄養士 コース



多様化する栄養・食品業界の リーダーとして活躍できる管理栄養士に

管理栄養士の活躍の場は、病院や保健所、給食現場にとどまらず、食品企業やドラッグストア、薬局などにも広がっています。本学では「健やかな土地から生み出される健やかな食物によって健やかな生命が育まれる」という健土健民の思想を基盤に、人々の健康を支える管理栄養士を育成します。1年次には農産物の生産プロセスを農園で実践的に学び、2年次からは臨床栄養学、給食経営管理論など管理栄養士になるための専門教育、3年次からは希望する研究室でさらに専門的な学びを深めます。地域企業や江別市と連携した多様なプロジェクトにも参加し、メニュー開発や地域貢献活動に取り組み、実践力を養成。少人数クラスの手厚い指導により、道内トップクラスの国家試験合格率を誇っています。

領域のポイント

- ✓ 道内トップクラスの国家試験合格率：月に2〜4回の模試や授業外の対策講座が充実し、高い合格率を実現
- ✓ 少人数制の手厚いサポート：40人の少人数制で、きめ細やかな教育と指導が受けられる
- ✓ 本格的な食品技術の学び：チーズやソーセージ、チョコレートなど多様な食品加工を学ぶことができる
- ✓ ゼミ活動で専門性を追求：3年生から研究室(ゼミ)に所属し、興味のある分野の学びを深めることができる
- ✓ 企業と連携した研究・開発：多くの企業とつながりがあり、学生のアイデアが企画や商品などに採用される
- ✓ キャリアにつながる研究活動：抗酸化機能やスポーツ栄養など、新分野の研究に挑戦できる
- ✓ 北海道での地域貢献活動：江別市をはじめとする各地域の資源を活用し、地域活性化に取り組むことができる

学びの流れ／カリキュラム

☆1:外国人留学生のみ ☆2:管理栄養士コースは除く
 ☆3:管理栄養士コースは3年次開講
 ※この内容は2026年3月現在のものです。今後変更の可能性があります。

1年次

共通教育

- 基礎演習
- キリスト教Ⅰ
- キリスト教Ⅱ
- 哲学
- 心理学
- 文学
- 社会学
- 日本史
- 世界史
- 地理学
- 法学
- 日本国憲法
- 経済学
- 数学Ⅰ
- 数学Ⅱ
- 生物学
- 生物学実験
- 化学
- 化学実験
- 物理学
- 地学
- 運動の科学
- 体育実技Ⅰ
- 体育実技Ⅱ
- 情報科学の基礎
- 情報処理基礎演習
- 英語Ⅰ
- 英語Ⅱ
- 日本語Ⅰ ☆1
- 日本語Ⅱ ☆1
- キャリアベーシック ☆2
- キャリア実習 ☆3
- 全学共通科目A
- 全学共通科目B
- 健土健民・農食環境学入門実習
- 建学の精神と農食環境学概論

専門教育

- 畜産学総論
- 植物生産学入門

【食品科学領域】

- 食品科学概論
- 微生物学

【管理栄養士コース】

- 医学概論
- 解剖生理学Ⅰ
- 解剖生理学Ⅱ
- 生化学Ⅰ
- 生化学Ⅱ
- 生化学実験・実習Ⅰ
- 生化学実験・実習Ⅱ
- 食品学
- 食品学実験・実習Ⅰ
- 調理学
- 調理学実験・実習Ⅰ
- 基礎栄養学

教職課程教育 ☆2

- 教職入門
- 教育原理
- 教育心理学

2年次

共通教育

- キリスト教と諸宗教
- 統計学Ⅰ
- 統計学Ⅱ
- 物理学実験
- 地学実験
- 情報処理演習 ☆2
- 英語Ⅲ
- 英語Ⅳ
- 中国語Ⅰ
- 中国語Ⅱ
- ハンガールⅠ
- ハンガールⅡ
- 学外農場実習

専門教育

- 経済学基礎理論 ☆2
- 経営学入門 ☆2
- 農業協同組合論 ☆2
- 簿記・会計学基礎 ☆2
- 物質化学A ☆2
- 物質化学B ☆2
- 動物の機能と形態 ☆2
- 動物遺伝学 ☆2
- 土壌学 ☆2
- 植物生理学 ☆2

【食品科学領域】

- 生化学Ⅰ
- 生化学Ⅱ
- 食品科学実験Ⅰ
- 食品科学実験Ⅱ
- 食品化学
- 食品微生物学
- 乳肉科学
- 栄養生理学
- 食品ミクロサイエンス
- 食品産業論
- マーケティング論
- 食品開発論

【管理栄養士コース】

- 公衆衛生学
- 社会福祉概論
- 解剖生理学実験・実習Ⅰ
- 解剖生理学実験・実習Ⅱ
- 病理学
- 運動生理学
- 食品学実験・実習Ⅱ
- 微生物学
- 食品加工学
- 調理学実験・実習Ⅱ
- 基礎栄養学実験・実習
- 応用栄養学Ⅰ
- 応用栄養学Ⅱ
- 栄養教育論Ⅰ
- 臨床栄養学Ⅰ
- 臨床栄養学実習Ⅰ
- 公衆栄養学Ⅰ
- 給食経営管理論Ⅰ

教職課程教育 ☆2

- 特別支援教育論
- 教育方法・ICT活用論
- 生徒・進路指導論
- 教育課程論
- 教育相談論
- 地誌

3年次

共通教育

- キリスト教と生命倫理
- 外国語演習Ⅰ
- 外国語演習Ⅱ
- キャリアデザインⅠ
- キャリアデザインⅡ ☆2
- 博物館実習

【管理栄養士コース】

- キャリア実習

専門教育

- 農畜産物市場論 ☆2
- 農業政策学Ⅰ ☆2
- アグリビジネス論 ☆2
- 農業経営学 ☆2
- 国際法 ☆2
- 国際経済論 ☆2
- 草・飼料作物学 ☆2
- 作物生産学Ⅰ ☆2
- 園芸生産学Ⅰ ☆2
- 専門ゼミナールⅠ ☆2
- 専門ゼミナールⅡ ☆2

【管理栄養士コース】

- 専門ゼミナールⅠ
- 健康管理概論
- フードクリエイション実習
- 食品衛生学
- 食品衛生学実験・実習
- 応用栄養学Ⅲ
- 応用栄養学実習
- 栄養教育論Ⅱ
- 栄養カウンセリング論
- 栄養教育論実習Ⅰ
- 栄養教育論実習Ⅱ
- 臨床栄養学Ⅱ
- 臨床栄養管理論
- 高齢者臨床栄養学
- 臨床栄養学実習Ⅱ
- 公衆栄養学Ⅱ
- 公衆栄養学実習Ⅰ
- 給食経営管理論Ⅱ
- 給食管理実習Ⅰ
- 食品品質管理論
- 食品流通論
- フードコーディネーター論

【食品科学領域】

- 食品科学実験Ⅲ
- 食品分析学
- フードテクノロジー
- 食品栄養学
- 運動と栄養
- 食感の物理学
- 食品衛生学
- 公衆衛生学
- 農産資源利用学
- 畜産物利用学A
- 畜産物利用学B
- 畜産物利用学実験実習
- 食品品質管理論
- 食品流通論
- 食品開発プロセス実践実習
- 食品マーケティング戦略論

教職課程教育 ☆2

- 特別活動論
- 農業科教育法Ⅰ
- 農業科教育法Ⅱ
- 職業指導Ⅰ(農業)
- 職業指導Ⅱ(農業)
- 理科教育法Ⅰ
- 理科教育法Ⅱ
- 社会科・公民科教育法Ⅰ
- 社会科・公民科教育法Ⅱ
- 社会科教育法Ⅰ(地理歴史)
- 社会科教育法Ⅱ(地理歴史)
- 教育社会学
- 総合的な学習の時間の指導法
- 道徳教育指導論

4年次

専門教育

- 卒業研究Ⅰ
- 卒業研究Ⅱ
- 研究発表

【管理栄養士コース】

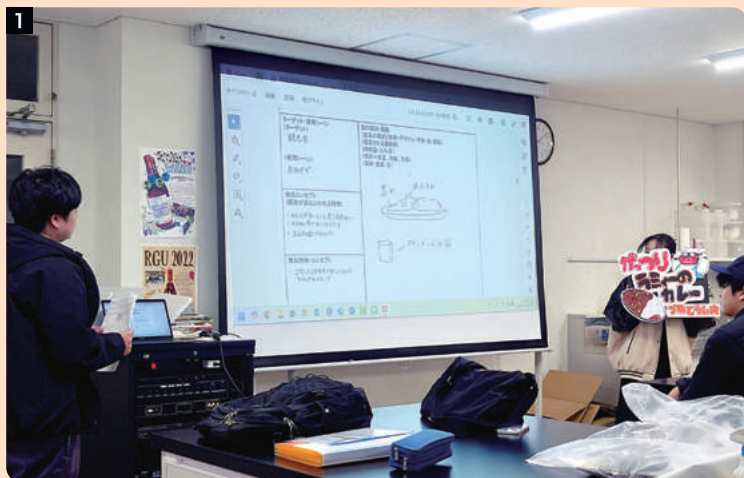
- 専門ゼミナールⅡ
- 専門ゼミナールⅢ
- 研究発表
- 給食管理実習Ⅱ
- 臨床栄養学実習Ⅲ
- 臨床栄養学実習Ⅳ
- 公衆栄養学実習Ⅱ
- 管理栄養士演習Ⅰ
- 管理栄養士演習Ⅱ

教職課程教育 ☆2

- 理科教育法Ⅲ
- 理科教育法Ⅳ
- 教育実習(中・高1免)
- 教育実習(高1免)
- 教職実践演習(中・高1免)

→ Pick up!

ピックアップカリキュラム1 ▶ [食品科学領域] 食品開発プロセス実践実習



1 考案したカレーのコンセプトの説明 2 レシピに基づいてカレーの試作 3 できあがったカレー 4 試食して評価

社会における企画立案から試作開発、マーケティングの流れを学ぶ

普段何気なく買って食べている食品がどのようなプロセスで商品化していくかについて、実際にオリジナルレトルトカレーを企画立案し、試作して製品を完成させる珍しい実習です。包装された食品を高温高圧の蒸気で加熱殺菌する小型レトルト処理装置を用います。食品企業が新製品開発を行うためには自社の技術的な強みに加えて消費者ニーズをとらえた新規性のあるアイデアが必要です。ディスカッションを重ねながら、テーマの策定およびそのアイデアを具体化してパッケージデザインや包装形態を検討します。コンセプトに基づいた試作を繰り返して製品を完成させ、試食アンケートで消費者ニーズを把握し、これらをまとめてプレゼンテーションを行います。食品会社における企画立案から試作開発、マーケティング、プレゼンテーションまでの流れを会得することができる実習です。



阿部 茂先生
農産資源科学研究室

ピックアップカリキュラム2 ▶ [管理栄養士コース] 給食管理実習1



1 野菜を切る順番など、学生が全て考えて作業を行う 2 加熱された食品は、中心部温度計で衛生基準の温度に達しているかチェックする 3 洗米専用の機材で大量のお米を洗浄する

給食のしくみを基礎から学ぶ
実践型実習

この実習では、実際の給食提供を通して、給食施設における管理栄養士の業務を学びます。実習室には、厚生労働省の衛生管理基準に対応した設備や機材が整っており、安心・安全な給食づくりを実践できます。この実習までに「給食経営管理論Ⅰ・Ⅱ」の講義で献立作成などの基礎的な知識を身につけ、材料費の計算から調理、配食、喫食までの一連の流れをグループで学習します。実習では、栄養士班・調理班・下処理班などの役割を毎回交代しながら話し合いを重ね、約100食分の給食を計画し、提供します。給食は他学年の学生や教員に食べてもらい、味、温度、盛り付けなどを評価してもらいます。給食の生産管理や衛生管理を体系的に学び、実践的な経験を積むことで、病院・高齢者施設・学校など、さまざまな給食施設で活躍できる力と、現場で役立つコミュニケーション能力を身につけます。



小林 道先生
給食栄養管理研究室

循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

農環境情報学類

獣医学類

獣医保健看護学類

研究室紹介

2026年1月現在

最新の情報は
こちら

教員・
研究室一覧



研究室	教員	テーマ
農産資源科学	阿部 茂 小泉 次郎	食品企業や自治体が求める新たな食品加工技術や新商品の開発を行う
食肉科学	岩崎 智仁 前田 尚之 長谷川 靖洋	筋肉から食肉までの生化学、衛生学および組織細胞学：マウスからジビエまで
食品化学	上野 敬司 小野寺 秀一	食資源を有効活用し、新しい機能性食品素材を開発する
数学	上野 岳史	自然演繹における部分構造論理の正規化可能条件についての研究
食品物理学	金田 勇 川端 庸平	分子ガストロノミーを志向した食品の物理学
教育発達心理学	須賀 朋子	学校現場で必要な教育心理学、特別支援教育を追求する
発酵科学	舩津 保浩 村松 圭	発酵技術を用いた低利用資源の有効活用と安全・安心な食品素材の開発
食・健康スポーツ科学	柴田 啓介	健康増進およびスポーツパフォーマンス向上を目的としたより良いトレーニング方法の探究
乳科学	板原 孝志 平山 洋佑	発酵乳製品の微生物叢および乳酸菌の機能解析と利用に関する研究
流通マーケティング	増田 祥世	農と食を軸により良い社会を作るマーケティングのあり方を考える

管理栄養士コース

研究室	教員	テーマ
臨床栄養学	大谷 克城	抗酸化機能に着目した食素材研究と新たな機能性食品の開発
給食栄養管理	小林 道	栄養および食習慣が人々の健康に与える影響を科学的に明らかにする
食品学	舩津 保浩	食品ロスのリサイクル技術と道産食材を活用した低GI食品の開発
食・健康スポーツ科学	山口 太一	パフォーマンス向上を目的としたスポーツ栄養学およびトレーニング科学的探究
医学・生理学	山田 雅文	さまざまな疾患と栄養との関わりについて、その病態とともに学ぶ
公衆栄養学	木村 宣哉	地域・集団・個人における健康についての研究
栄養教育学	杉村 留美子	行動科学理論に基づく栄養教育、食行動変容の促しに関する研究
食品衛生学	村松 圭	食材の機能性や共生菌に注目した食の安全と健康を科学する研究
臨床栄養管理学	小川 美弥子	問題構造化の手法を用いた栄養士業務に関する研究 心身の健康問題と食事の質に関する研究

動画で詳しく
CHECK!

Pick up 01

食品物理学 研究室

分子ガストロノミー
を志向した食品の
物理学



Pick up 02

農産資源科学研究室

食品企業や自治体が求める新
たな食品加工技術や新商品の
開発を行う



Pick up 03

食・健康スポーツ科学 研究室

パフォーマンス向上を目的とした
スポーツ栄養学およびトレーニン
グ科学的探究



OB・OG インタビュー

※勤務先は2025年4月時点

就職実績 >> P.87

循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

環境情報学類

獣医学類

獣医保健看護学類



北海道日高乳業株式会社 検査課

研究室での学びや経験が
食品製造の仕事に活かされている

菅井 理央さん
食と健康学類 食品開発学コース(現・食資源開発学コース)
2022年3月卒業 北海道/北海道岩見沢農業高等学校 出身

高校生の時から好きだったヨーグルツベをはじめ、乳製品全般を製造している北海道日高乳業株式会社の品質管理部門で検査を担当しています。具体的には、成分の測定や微生物検査、風味を確認する官能検査を行います。

酪農学園大学では、食品に関する知識・技術を学ぶなかで微生物への興味が湧き、応用微生物学研究室(現・発酵科学研究室)を選びました。さまざまな食品から乳酸菌を分離させて菌の特性を研究したことや、商品開発を行った経験は、特に今の仕事に活かされています。お店で自社製品を見かけたり、お客様の「おいしい!」という声を聞いたりすると、とても嬉しいです。今後は検査員として知識を深めていくことはもちろん、弊社の製品を全国の人に食べてもらいたいので、宣伝にも携われたらと考えています。

北海道保健福祉部 健康安全局 地域保健課

地域住民の健康意識を高める
行政栄養士という存在

宮武 希衣さん
食と健康学類 管理栄養士コース 2018年3月卒業
北海道/北海道旭川北高等学校 出身

現在、私は道庁で行政栄養士として働いています。地域の健康増進に向けたイベントの企画・運営をはじめ、食品表示(栄養成分表示)に関する啓発活動、管理栄養士養成校の臨地実習の受け入れ調整など、仕事内容は多岐にわたります。

大学4年時の保健所での臨地実習が、行政栄養士の役割と責任の大きさを知る機会となりました。市町村の栄養士さんや、地元で根ざした食に関するボランティアの方々と一緒に、住民の健康を支えるために取り組んでいた姿が印象的で、保健所での仕事に魅力を感じました。

健康や栄養に関する情報を提供することで、地域住民の健康意識が高められる点に、この仕事のやりがいを感じます。これからも興味を引くコンテンツを提供できるように工夫を凝らし、行政としての取り組みを推進していきます。



環境共生学類

College of Agriculture, Food and Environment Sciences / Department of Environmental Sciences

その答えを北海道から探す

世界の自然環境・生態系をどう守る？



1

地球環境、生態系の仕組みやつながりを科学的に解明し問題解決の方法を探る

環境とは人や生物を取り巻く総体で、守るのも壊すのも人の考え次第です。野生の動植物に対して好き嫌いだけではなく、一つの生命として向き合い、全ての自然のつながりを理解する学びを行います。

2

自然と人が調和・共生する社会の実現に貢献できる人材を育成

本学類には環境に関する多種多様な分野を専門とする教員が在籍しています。広大なフィールドで、自然と共生する社会に貢献するための生きた力が養われます。

取得可能資格

- 中学校教諭一種(理科)
- 高等学校教諭一種(理科)
- 准学校心理士
- 環境再生医(初級)
- 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)

受験資格

- 鳥獣管理士
準1級(野生動物学コース卒業必須)・2級・3級
- シカ捕獲認証(DCCレベル1)

※コース名称は、2026年3月時点

学類でサポートする資格

- 気象予報士
- 生物分類技能検定(2級・3級)
- 猟銃所持許可
- 狩猟免許(猟銃・わな・網)
- ピオトップ管理士
- 公害防止管理者
- 環境測定分析士
- 技術士補
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1)

目指す業界・職業

- 環境・建設コンサルタント業
- 環境NPO・NGO法人
- 衛生サービス業
- 情報通信業
- 農業協同組合・森林組合
- 教育・学習支援業
- 教員
- 都道府県・市町村公務員
- 狩猟者・認定鳥獣捕獲事業者 など



循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

農環境情報学類

獣医学類

獣医保健看護学類

3

北海道から世界のフィールドで実学教育を実践

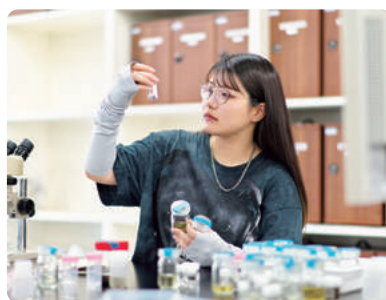
4年間を通してたくさんのフィールドワークの機会があり、複雑な生態系を肌で感じながら学ぶことができます。学生の4人に1人が実習・調査・留学で、アジアやオセアニア、欧米、アメリカなどの海外経験をしていることも本学類の特徴です。

4

農環境情報学類と連携し、RS、GISを用いた情報解析を実践的に学ぶ

地域の諸問題の解決に不可欠な、人工衛星やドローンから得られる空からの目「RS(リモートセンシング)」、その画像をほかの情報と合わせて解析する「GIS(地理情報システム)」の技術を、農環境情報学類と連携し、講義・実習などを通じて実践的に学びます。

野生動物学 領域

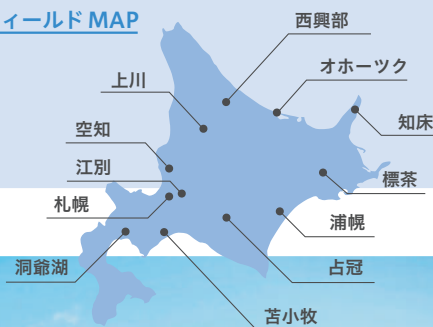


野生動物の生態や保護管理について、
北海道を中心とした広大なフィールドにおいて、
生態学的なベースに立脚した理論と技術を学び身につけ、
野生動物に関わる地域の問題を解決できる人材、
Wildliferの育成を目指します。

領域のポイント

- 大型哺乳類、中型哺乳類、鳥類、両生類、昆虫類など、多彩な動物種について幅広い専門知識と技術を学ぶことができる
- 野生動物の生態や行動、保全や管理、狩猟や有効活用、鳥獣行政、人や地域と野生動物などを専門とする多彩な研究室
- GPS装置やドローン、ICTを活用した高度な調査技術の習得
- 全国各地の野生動物の問題に、最前線で活躍する人材を輩出中
- 資格取得に繋がる専門科目を多数配置
- 地球規模の(Globalな)視点で環境問題を捉え、地域の(Localな)視点で問題解決のために行動できる人材を育成
- 自然環境や野生動物、人々の暮らしを地域の資源として地域活性化にも貢献
- 北海道の大自然、森・里・川・海全てがフィールド。全道各地で豊富なフィールドワーク
- マレーシアやカナダなどでの海外実習やフィールドワークも充実

実習フィールド MAP



2年次から領域に分かれて、専門的な学びを深めます。

循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

環境情報学類

獣医学類

獣医保健看護学類

地球環境学 領域



北海道の森・川・湖・海といった優れた自然資源の保全と利用を題材に、地球環境について物質的・エネルギー的な理論と技術を身につけ、地域から地球規模まで幅広い環境問題に対応できる人材、**Nature Specialist**の育成を目指します。

領域のポイント

- 気候や気象、環境変動・変化、湖沼・河川流域環境、海洋環境、水環境、土壌や植生、植物などを専門とする多彩な研究室
- 地球温暖化や気候変動について学べる・研究できる
- 人工衛星やドローン、ICTを活用した高度な環境情報解析の習得
- 全国各地の環境の問題に、最前線で活躍する人材を輩出中
- 資格取得に繋がる専門科目を多数配置
- 地球規模の(Globalな)視点で環境問題を捉え、地域の(Localな)視点で問題解決のために行動できる人材を育成
- 自然環境、人々の暮らしを地域の資源として地域活性化にも貢献
- 北海道の大自然、森・里・川・海全てがフィールド。全道各地で豊富なフィールドワーク
- 地域の課題も地球環境の危機も、市民公園の池から南極まで、広範な教育研究テーマ
- マレーシアやカナダなどでの海外実習やフィールドワークも充実

学びの流れ／カリキュラム

☆1：外国人留学生のみ
※この内容は2026年3月現在のものです。今後変更の可能性がございます。

1年次

共通教育

- 基礎演習
- キリスト教Ⅰ
- キリスト教Ⅱ
- 哲学
- 心理学
- 文学
- 社会学
- 日本史
- 世界史
- 地理学
- 法学
- 日本国憲法
- 経済学
- 数学Ⅰ
- 数学Ⅱ
- 生物学
- 生物学実験
- 化学
- 化学実験
- 物理学
- 地学
- 運動の科学
- 体育実技Ⅰ
- 体育実技Ⅱ
- 情報科学の基礎
- 情報処理基礎演習
- 英語Ⅰ
- 英語Ⅱ
- 日本語Ⅰ ☆1
- 日本語Ⅱ ☆1
- キャリアベーシック
- キャリア実習
- 全学共通科目A
- 全学共通科目B
- 健土健民・農食環境学入門実習
- 建学の精神と農食環境学概論

専門教育

- 環境共生学概論
- 野生動物学の基礎
- 地球環境科学の基礎
- GISリモートセンシング基礎
- GIS基礎演習

教職課程教育

- 教職入門
- 教育原理
- 教育心理学

2年次

共通教育

- キリスト教と諸宗教
- 統計学Ⅰ
- 統計学Ⅱ
- 物理学実験
- 地学実験
- 情報処理演習
- 英語Ⅲ
- 英語Ⅳ
- 中国語Ⅰ
- 中国語Ⅱ
- ハンブルⅠ
- ハンブルⅡ
- 学外農場実習

専門教育

- 物質化学A
- 物質化学B
- 生化学Ⅰ
- 生化学Ⅱ
- 土壌学
- 微生物学
- 資源リサイクルと環境保全
- アジア環境学
- 自然環境実験実習Ⅰ
- 自然環境実験実習Ⅱ
- 保全生物学
- 生物分類学
- 生物地球化学
- 植物生態学
- 気象学の基礎
- 動物生態学
- GIS応用演習
- リモートセンシング基礎演習
- 海外自然環境実習

【野生動物学領域】

- クマ学
- 野生鳥獣管理学
- 狩猟学
- 進化学

【地球環境学領域】

- 地球惑星科学
- 自然環境保全と地球温暖化

教職課程教育

- 特別支援教育論
- 教育方法・ICT活用論
- 生徒・進路指導論
- 教育課程論
- 教育相談論

3年次

共通教育

- キリスト教と生命倫理
- 外国語演習Ⅰ
- 外国語演習Ⅱ
- キャリアデザインⅠ
- キャリアデザインⅡ
- 博物館実習

専門教育

- 国際法
- ボランティア活動・NPO・NGO論
- 国際経済論
- 地域計画論
- 再生可能エネルギー入門
- バイオマス技術入門
- プログラミング入門
- 機械学習入門
- 専門ゼミナールⅠ
- 専門ゼミナールⅡ
- 環境共生学外実習
- 植生保全学
- 生息地保全管理論
- 環境共生演習Ⅰ
- 環境共生演習Ⅱ
- 統計データ分析演習
- 環境モニタリングとリモートセンシング

【野生動物学領域】

- 野生動物と社会
- フィールド調査分析法
- 鳥獣行政論
- 野生動物観察同定実習
- 野生動物保全技術実習Ⅰ
- 野生動物保全技術実習Ⅱ

【地球環境学領域】

- 水圏環境化学
- 気象・気候学
- 森林環境学
- 火山と資源
- 水圏・地圏総合実習
- 生命環境学実験実習Ⅰ
- 生命環境学実験実習Ⅱ

教職課程教育

- 特別活動論
- 理科教育法Ⅰ
- 理科教育法Ⅱ
- 教育社会学
- 総合的な学習の時間の指導法
- 道徳教育指導論

4年次

専門教育

- 卒業研究Ⅰ
- 卒業研究Ⅱ
- 研究発表
- 動物園・水族館学

教職課程教育

- 理科教育法Ⅲ
- 理科教育法Ⅳ
- 教育実習(中・高1免)
- 教育実習(高1免)
- 教職実践演習(中・高1免)

→ Pick up!

ピックアップカリキュラム1 ▶ 生命環境学実験実習I

※本実習は複数教員により毎回異なる内容の実習を行います。



1 地層の剥ぎ取り標本の作成 2 篩分け法による津波堆積物の粒度分析 3 地層観察に基づく津波堆積物の特徴の抽出と共有

自然災害の痕跡から観察・分析し、
地質学的調査の基本を体得する

「地層観察の基礎」の回では、北海道東部太平洋沿岸域において過去約400年間で形成された地層を対象とし、先行研究により認定されている過去の津波の痕跡(千島海溝起源の17世紀地震に伴う津波堆積物)に触れ、地質学的特徴の調べ方を学びます。津波堆積物が明瞭な状態で地層中に保存されているのが北海道東部沿岸域の特徴であり、それを直接用いることができるのが本実習の強みです。本実習ではジオスライサーという器具で採取された地層を観察し、津波堆積物に含まれる粒子の分析などから、堆積物の運搬・形成過程や保存過程を理解していきます。さらに地層剥ぎ取り標本の作成法も学びます。自然災害の痕跡を理解することは、災害の発生間隔や規模の理解にも繋がるため、災害についてのリテラシーを高めるだけでなく、痕跡が保存され得る自然環境の保全意識形成にも役立つと考えています。



千葉 崇先生
自然再生学研究室

ピックアップカリキュラム2 ▶ 野生動物観察同定実習

※本実習は複数教員により毎回異なる内容の実習を行います。



1 捕獲した昆虫の顕微鏡下でのソーティング 2 グループ分けした昆虫はラベルを付けて保管 3 甲虫の一部は乾燥標本にする

野生動物を用いた
研究調査の手法を学ぶ

本実習は、哺乳類から鳥類、無脊椎動物などさまざまなグループを専門とする教員から実際のフィールド活動を通して、それぞれのグループにおける一連の研究調査を学ぶものです。例示する昆虫実習では、大学の敷地内にある原生林をフィールドとしてトラップ採集と見つけ採りを行い、そのサンプルを顕微鏡下で観察しグループ分けするソーティングを実施します。昆虫は種数が多く環境ごとに特殊化したものが生息しているため、重要な環境指標となっていますが、この実習で学ぶ手法は実際に環境アセスメントの現場で行われているものに近く、環境調査において必須の技術です。また顕微鏡で多様な昆虫をつぶさに観察することで、グループごとの特徴や類似性、相違が徐々に分かるようになります。豊かな自然に囲まれたキャンパスだからこそできる実践的な実習であり、昆虫の多様性調査の基礎になります。



松林 圭先生
昆虫生態学研究室

循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

農環境情報学類

獣医学類

獣医保健看護学類

研究室紹介

2026年1月現在

最新の情報は
こちら

教員・
研究室一覧



研究室	教員	テーマ
野生動物生態学	佐藤 喜和	フィールドワークを通じて野生動物の生態を探索
情報工学	高取 則彦	生物進化のシミュレーションと進化的計算法
環境法	遠井 朗子	地球環境条約の履行確保と国内実施方法の検討
水質化学	中谷 暢丈	水や水生生物を介した物質の循環過程や人為的な環境汚染を研究
気象・気候学	馬場 賢治	大気や海洋の見地から社会や動植物に与える影響を研究
環境リモートセンシング	星野 仏方	「頂点捕食者が存在する生態系と存在しない生態系」はどう違うか？
生態系物質循環	保原 達	陸上生態系の生物と環境のつながりを解明する研究
環境地球化学	吉田 磨	地域や地球の生命や環境を守るために、多様なフィールドで観測研究
国際理解学	吉中 厚裕	持続可能な社会実現のための「地球」と「地域」両視点の尊重と統合
狩猟管理学	伊吾田 宏正	持続的な狩猟の発展および狩猟鳥獣の生態と管理
保全生物学	鈴木 透	野生動物と自然環境の相互関係を科学する
生物多様性保全	立木 靖之	持続可能な地域社会と生物多様性の保全についての研究
動物行動学	原村 隆司	動物の行動・生態の解明および生物多様性保全に関する研究
環境植物学	松山 周平	DNA分析や操作実験を用いて植物と環境の関係を研究する
環境動物学	森 さやか	主に鳥類を対象に野生動物の生態と保全に関わる研究に取り組む
野生鳥獣管理学	伊藤 哲治	野生動物を知り、人と共存する方法を探索する
自然再生学	千葉 崇	地質記録等から過去の環境変化を読み取り古地震等の現象を明らかにする
昆虫生態学	松林 圭	昆虫の多様性がどのように生じるかを生態と遺伝子の両面から調査する
昆虫生理生態学	松本 圭司	昆虫の環境適応に関する生理学的・生態学的研究

動画で詳しく
CHECK!

Pick up 01 野生鳥獣管理学研究室

野生動物を知り、人と共存する
方法を探索する



Pick up 02 動物行動学研究室

動物の行動・生態の解明
および生物多様性保全に
関する研究



Pick up 03 水質化学研究室

水や水生生物を介した物質の
循環過程や人為的な
環境汚染を研究



OB・OG インタビュー

※勤務先は2025年4月時点
※コース名称は在学時のもの

就職実績 >>P.88

循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

環境情報学類

獣医学類

獣医保健看護学類



大阪府 環境農林水産部 動物愛護畜産課

野生動物の保護管理で 地元の方々の頼りになる存在に

義本 香保子さん
環境共生学類 野生動物学コース 2021年3月卒業
大阪府/大阪学芸高等学校 出身

野生動物を管理するうえで、全体を俯瞰せず、ほかの地域に追いやられるだけといったその場限りの対策では、根本的な解決にはなりません。酪農学園大学で勉強する中で、野生動物は広域的な管理が重要だということが分かり、その実践の場として、地元である大阪府の「林学職」に応募しました。

現在、主に府内の二ホンジカやイノシシなど、野生鳥獣の保護管理に関する仕事をしています。全国的に見れば大阪府の森林面積は少ないですが、北部地域では近年シカの生息密度が高く、農林業被害も出ています。こうした状況で、新たなシカ捕獲強化事業の導入に向けた地元調整や、シカの侵入初期段階の地域における捕獲技術研修会を企画しています。わなを仕掛ける際には捕獲効率を上げるため、センサーカメラを設置するなど、本学で学んだフィールドワークの知識が生かされていると感じます。



浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館 浜頓別町役場

研究室の活動をきっかけに 環境教育の仕事へ

千田 幹太さん
環境共生学類 生命環境学コース 2015年3月卒業
岩手県/岩手県立黒沢尻北高等学校 出身

ラムサール条約登録湿地の拠点である浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館に勤務し、来館者の案内や近隣学校での授業をはじめ、野鳥の標識調査・飛来数調査・発信器調査、外部機関の調査協力、湖水まつりの開催まで、幅広い業務に携わっています。浜頓別町には大学時代に環境地球化学研究室の活動で頻りに足を運び、その中のひとつに「環境キャンプ」がありました。環境教育のプログラムを考え、子どもたちと一緒に活動した経験から、社会人になっても子どもたちに関わりたと思うようになり、今の仕事につながっています。在学中、実習や卒業論文に取り組む際はさまざまな分析機器や調査道具を使いますが、酪農学園大学では高度な機器の使用方法も学ぶことができ、身につけた技術は就職後も役に立っていると感じています。



農食環境学群

農環境情報学類

College of Agriculture, Food and Environment Sciences / Department of Agricultural and Environmental Information Sciences

地域の未来をつくる！

「情報の力」で

チカラ



学びのポイント

1

地域が抱える課題に向き合う

労働力の確保、農業の生産性向上、農産物の高付加価値化など、地域のさまざまな課題に向き合いながら、人と自然の共生を基にした持続可能な地域社会を実現するために、情報の力をどのように課題解決につなげていくかを学びます。

2

北海道が持つ魅力や資源の活用

北海道の自然景観、農地景観は北海道らしさとなり、人々を魅了しています。恵みである新鮮な農畜産物は「北海道ブランド」として、地域の産業を支えています。北海道が持つ魅力や資源を活用するための知識や技術を学び、発展させるための方策について考える力を養います。

取得可能資格

- 中学校教諭一種(社会)
- 高等学校教諭一種(農業・公民)
- 准学校心理士
- 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)

学類でサポートする資格

- 簿記検定2級・3級
- 経済学検定(ERE)
- 食生活アドバイザー3級
- 北海道フードマイスター
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1・2・3)
- 無人航空機操縦士
- 学芸員
- 食品衛生責任者

目指す業界・職業

- 農業経営者(後継者を含む)
- 総合コンサルタント(環境保全、ICT事業など)
- 農業関連産業(肥料・農薬、種苗、飼料、農業機械)
- 食品産業(製造業、卸・小売業、外食・中食産業など)
- 中学・高校教員(社会、農業、公民)
- 公務員(国、都道府県、市町村)
- 農協(地域農協、連合会(ホクレンなど))
- スタートアップ(起業)、ベンチャー
- 地域おこし協力隊 など

循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

農環境情報学類

獣医学類

獣医保健看護学類



3

情報を活用する力を身につける

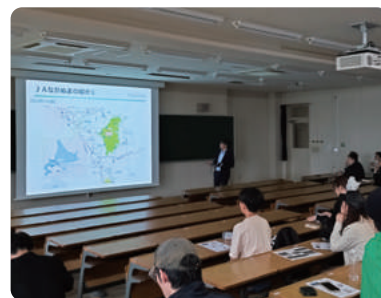
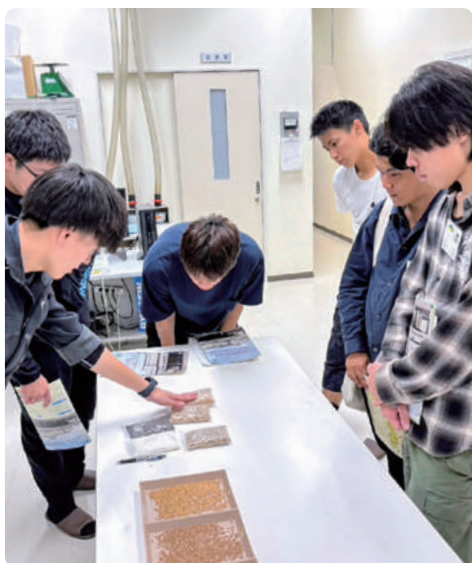
情報を活用する力を身につけるために、農・環境分野の専門知識と情報技術を学び、データの収集から分析・評価・活用まで一連の流れを実践的に習得します。現場経験を通じて幅広い視野と応用力を育てます。

4

学類の枠を超えた学び

情報を活用した農業生産の改善、スマート技術・再生可能エネルギーの普及、6次産業化などによる地域振興、情報を活用した食の安定供給、自然・生物と共生する社会づくりなど、学類の枠を超えた学びを行います。

アグリデザイン 領域



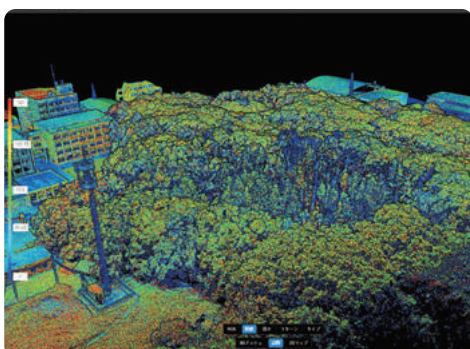
アグリデザイン領域は、主に情報学や社会・経済学などを学び、農業・食料・農村を振興(デザイン)する能力を修得します。具体的には、データを収集するためのヒアリングやアンケート調査法を学び、収集したデータを情報に変換する解析技術の修得、そして結果が示す情報への判断能力を培うことで各種の方策を企画・提案できることを目指します。これらの学びを通して、効率的な経営を追求できる農業経営者、新しい発想で関連サービスを生み出したり、地域社会をリードしコントロールしたりする人材などを養成するとともに、教員免許(中学校の社会、高校の農業と公民)などの資格取得も積極的に支援します。

領域のポイント

- ✔ アグリデザインに不可欠な農業政策、農畜産物市場、農業経営などを専門とする多彩な研究室
- ✔ 各種統計書を扱えるようになり、部屋にいながらも情報収集が可能
- ✔ 農業経営の細部までを理解し、改善策を考えることができる
- ✔ 地域おこし、地域活性化の検討を通じた地域デザイン
- ✔ 農家調査などフィールドにも積極的に出向き、判断能力を培う
- ✔ 教員免許だけでなく、食の6次産業化プロデューサーや食生活アドバイザーなどの資格取得も支援
- ✔ 卒業後の進路は、農業経営者、総合コンサルタント、農業関連産業、公務員、農協などを想定

2年次から領域に分かれて、専門的な学びを深めます。

地域データサイエンス領域



地域データサイエンス領域では、地域の情報を収集・分析するテクノロジーとそれを活用するための経験や能力を修得します。具体的には、ドローンを含むセンサーテクノロジー、画像解析や数理的な分析を学びます。さらに、それらを活用して地域の農業・環境に関する課題をデータを用いて考え説明する能力を培います。そして、データを用いて現場の方々と密接なコミュニケーションを図り、地域の課題解決に向けた企画や提案を行えるようになることを目指します。これらの学びを通して、実務者、コンサルタント、地域に必要な事業の起業家といった農業等の地域産業や地域の環境保全を情報技術で効率化し地域を発展させる人材を養成します。

領域のポイント

- ✓ 地域の情報を収集・分析するテクノロジーとその活用を学ぶ
- ✓ 人工衛星やドローン、ICTを活用した農業・環境に関する画像解析や数理的な分析、可視化
- ✓ スマート農業について学ぶ
- ✓ 農学・環境学・情報学を広く関連付けて学ぶことができる
- ✓ 情報を活用した現場との密接なコミュニケーション
- ✓ 地域課題を解決する方策の企画・提案
- ✓ バイオマスなどの地域資源を活用した再生可能エネルギー
- ✓ 農業・環境の先進地である北海道が「学びのフィールド」

循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

農環境情報学類

獣医学類

獣医保健看護学類

学びの流れ／カリキュラム

☆1：外国人留学生のみ
※この内容は2026年3月現在のものです。今後変更の可能性があります。

1年次

共通教育

- 基礎演習
- キリスト教Ⅰ
- キリスト教Ⅱ
- 哲学
- 心理学
- 文学
- 社会学
- 日本史
- 世界史
- 地理学
- 法学
- 日本国憲法
- 経済学
- 数学Ⅰ
- 数学Ⅱ
- 生物学
- 生物学実験
- 化学
- 化学実験
- 物理学
- 地学
- 運動の科学
- 体育実技Ⅰ
- 体育実技Ⅱ
- 情報科学の基礎
- 情報処理基礎演習
- 英語Ⅰ
- 英語Ⅱ
- 日本語Ⅰ ☆1
- 日本語Ⅱ ☆1
- キャリアベーシック
- キャリア実習
- 全学共通科目A
- 全学共通科目B
- 健土健民・農食環境学入門実習
- 建学の精神と農食環境学概論

専門教育

- 畜産学総論
- 農環境情報学概論Ⅰ
- 農環境情報学概論Ⅱ
- 経済原論
- 資源リサイクルと環境保全
- GISリモートセンシング基礎
- GIS基礎演習

教職課程教育

- 教職入門
- 教育原理
- 教育心理学

2年次

共通教育

- キリスト教と諸宗教
- 統計学Ⅰ
- 統計学Ⅱ
- 物理学実験
- 地学実験
- 情報処理演習
- 英語Ⅲ
- 英語Ⅳ
- 中国語Ⅰ
- 中国語Ⅱ
- ハングルⅠ
- ハングルⅡ
- 学外農場実習

専門教育

- 草地・飼料作物学
- 土壌学
- 作物生産学Ⅰ
- 園芸生産学Ⅰ
- 乳肉科学
- 野生動物学の基礎
- 動物生態学
- 植物生態学
- 気象学の基礎
- マーケティング論
- 食品産業論
- 経済学基礎理論
- 農業資源経済学
- 経営学入門
- 地域経済論
- 再生可能エネルギー入門
- 農業機械・施設学
- GIS応用演習
- 農畜産物市場論
- 農業協同組合論
- 日本経済論
- 民法・商法
- 行財政学概論
- 社会調査法
- 簿記・会計学基礎
- 海外自然環境実習

【アグリデザイン領域】

- 農村社会学
- 農業政策学Ⅰ

【地域データサイエンス領域】

- プログラミング入門
- 機械学習入門
- リモートセンシング基礎演習
- コンサルティング実践演習Ⅰ
- コンサルティング実践演習Ⅱ

教職課程教育

- 特別支援教育論
- 教育方法・ICT活用論
- 生徒・進路指導論
- 教育課程論
- 教育相談論
- 地誌

3年次

共通教育

- キリスト教と生命倫理
- 外国語演習Ⅰ
- 外国語演習Ⅱ
- キャリアデザインⅠ
- キャリアデザインⅡ
- 博物館実習

専門教育

- 動物の行動と管理
- 肉用家畜学
- 乳用家畜学
- 作物生産学Ⅱ
- クマ学
- 野生動物と社会
- 植生保全学
- 森林環境学
- 食品流通論
- 専門ゼミナールⅠ
- 専門ゼミナールⅡ
- 統計データ分析演習
- バイオマス技術入門
- ボランティア活動・NPO・NGO論
- アグリビジネス論
- 国際法
- 国際経済論
- 農業経営学
- 酪農・畜産経営論

【アグリデザイン領域】

- 農業市場論
- 農業政策学Ⅱ
- 協同組合学
- 地域連携論
- 地域計画論
- 営農システム論
- 簿記・会計演習
- アグリデザイン実習
- アグリデザイン演習

【地域データサイエンス領域】

- 画像解析AI演習
- 環境モニタリングとリモートセンシング
- データサイエンス演習Ⅰ
- データサイエンス演習Ⅱ

教職課程教育

- 特別活動論
- 農業科教育法Ⅰ
- 農業科教育法Ⅱ
- 職業指導Ⅰ（農業）
- 職業指導Ⅱ（農業）
- 社会科・公民科教育法Ⅰ
- 社会科・公民科教育法Ⅱ
- 社会科教育法Ⅰ（地理歴史）
- 社会科教育法Ⅱ（地理歴史）
- 教育社会学
- 総合的な学習の時間の指導法
- 道徳教育指導論

4年次

専門教育

- 生物地球化学
- 気象・気候学
- 卒業研究Ⅰ
- 卒業研究Ⅱ
- 研究発表

教職課程教育

- 教育実習（中・高1免）
- 教育実習（高1免）
- 教職実践演習（中・高1免）

→ Pick up!

ピックアップカリキュラム1 ▶ アグリデザイン実習

※本実習は複数教員により毎回異なる内容の実習を行います。



1 社会調査実習でアンケートの分析結果を議論している様子 2 農家巡回に同行(農協実習) 3 有機農家実習報告会の様子

農家や農業団体における
マネジメントの仕組みと重要性を学ぶ

社会調査実習、農協実習、有機農家実習のクラスに分かれて実習を行います。

社会調査実習は、アンケート調査の実習を通じて、問題解決能力やコミュニケーション能力を身につけることを目的としています。アンケート調査の知識を学び、社会調査の課題を立てて、調査票を作成し、調査結果をまとめ、報告書を作成します。

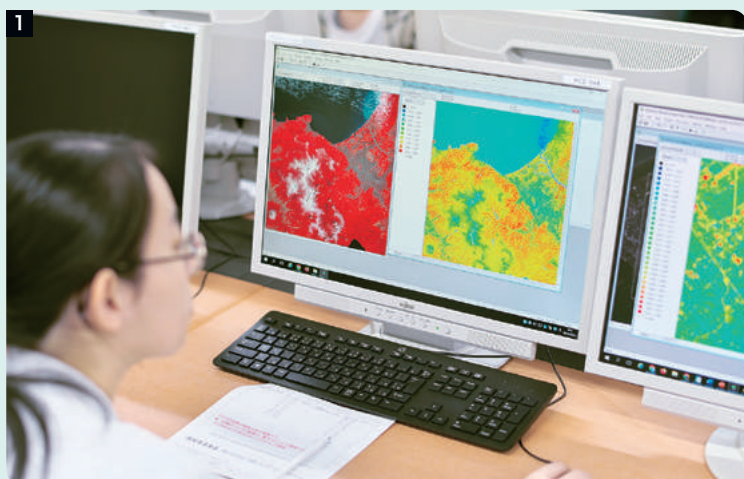
農協実習は、農協での業務体験などを通して、農協が農業・食料・農村にどのように寄与しているかを理解することが目的です。圃場巡回や採種など営農関連の実習や、直売所での運営方策検討、金融部署の説明、選別・貯蔵施設視察などの実習を行います。

有機農家実習は、環境保全型農業を実践する農業経営に実習に入り、経営理念や栽培技術、農産物の流通技術の学習を目指します。実習先では除草、収穫など栽培作業に加え、販売補助など流通に関わる実習を行い、報告会で発表してもらいます。



吉岡 徹先生
農業経営学研究室

ピックアップカリキュラム2 ▶ リモートセンシング基礎演習



1 PCを使った衛星画像の解析 2 理論と実践の両方を習得 3 質問しながら課題を完成

現場で求められる
リモートセンシングのスキルを習得できる

本演習では、衛星画像解析ソフト「ENVI」や「MultiSpec」などを用いて、リモートセンシングの基礎から応用までを学びます。土地被覆分類や土地利用の変化抽出、環境の長期変動把握など多様な演習を通して、企業や行政の意思決定にリモートセンシングがどのように貢献しているかを理解できます。民間企業で実際に使用されているソフトを扱うため、現場で求められるスキルをそのまま習得できる点も大きな魅力です。一緒に担当する非常勤講師の先生はリモートセンシングを業務に活用する企業の役員であり、実務に直結した視点から具体的な技術や知識を学ぶことができます。衛星画像の入手から解析、結果をまとめるまでを自分で一貫して行うため、卒業研究への応用はもちろん、リモートセンシングやGIS、測量関連の企業への就職にも役立つ専門性が身につきます。リモートセンシングの技術を実践的に学びたい学生に最適な演習です。



小川 健太先生
環境空間情報学研究室

循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

農環境情報学類

獣医学類

獣医保健看護学類

研究室紹介

2026年1月時点での予定

最新の情報は
こちら

教員・
研究室一覧



■ アグリデザイン領域

研究室	教員	テーマ
農畜産物市場論	相原 晴伴	市場情報を活用して、農畜産物・食品の有利販売につなげる
協同組合学	糸山 健介	ICTを活用した協同組合の理解促進・普及を探究する
農業政策学	井上 誠司	地域調査による情報分析を通して、有効な農業政策について考察する
農業科教育課程	志賀 聡	地域の実態把握と情報分析から、実践的な指導法や教育課程を探究する
酪農・畜産経営論	日向 貴久	農業経営と消費者がwin-winで、持続可能な循環型酪農・畜産とは？
農業経営学	吉岡 徹	農業経営に関わる情報収集・分析を通して、経営環境に適した経営像を考える
英文学	金井 彩香	文学をととして社会・文化を読み解く
地域農業連携論	正木 卓	情報資源を活用して、多彩な農業が共存可能な法制度を探る

■ 地域データサイエンス領域

研究室	教員	テーマ
国際経済学	小糸 健太郎	食料・農業・地域経済の多様な情報を踏まえ、国際的で持続可能な解決策を探る
農業施設学	石川 志保	バイオマスと情報技術で、持続可能な畜産と地域エネルギーの循環を実現する
環境空間情報学	小川 健太	衛星画像やドローンなど空からの情報を社会問題の解決に利活用する
データサイエンス	菅原 隆介	身近な自然現象を抽象化し、数学的・情報科学的側面からアプローチし分析する
統計学	毛利 泰大	社会・農村に存在するデータに統計手法を適用し実態解明に迫る
実践GIS	吉村 暢彦	地理情報システム(GIS)を用いて、地域の課題を発見し、効率化などの対応策を考える

ミニ講義を
CHECK!

Pick up 01

アグリデザイン領域
農畜産物市場論

コメ市場の安定には何が
必要か？



Pick up 02

アグリデザイン領域
酪農・畜産経営論

社会や自然にやさしい農業
経営～多様化する“持続
性”



Pick up 03

地域データサイエンス領域
環境空間情報学

ドローン・衛星画像の
農業・環境分野での利活用



Pick up 04

地域データサイエンス領域
農業施設学

未来のエネルギー！家畜ふ
ん尿バイオガスのひみつ



Pick up 05

農環境情報学類

新学類への想い
学長・学群長・教員からの
メッセージ



教員インタビュー

アグリデザイン領域

農業が地域社会で果たす役割や、地域振興の方策を多角的に学ぶ

急速に進む情報化社会の中で、農業や地域社会を取り巻く課題はますます複雑になっています。天候や市場、生育状況といった多様な情報を的確に集め、分析し、地域の未来へとつなげていく力が求められる時代です。こうした背景から誕生したのが農環境情報学類。中でも、農業・食料・農村が抱える問題に正面から向き合い、地域の活性化を目指すのがアグリデザイン領域です。

「デザイン」とは、課題を見つけ、計画を立て、実行すること。アグリデザイン領域では、農業経済学や情報学といった知識を土台に、農業が地域社会で果たす役割や、地域振興の方策を多角的に学びます。農業政策、農村社会学、農業経営、農畜産物の流通・市場など、学ぶ領域は幅広く、現代社会の動きを理解する確かな視点が身につきます。

担当する農畜産物市場論では、米や野菜、果物、肉・乳製品といった身近な食べ物がどのように流通し価格が形成されるのか、近年話題になった令和の米騒動の背景なども取り上げ、日々のニュースを深く読み解く力を養います。

この領域の大きな特徴は、情報を扱う力を実践的に鍛えられることです。パソコンの操作方法だけでなく、自分でデータを集め、分析し、評価し、地域の課題解決へとつな

げる一連のプロセスを学びます。地域の現場に足を運ぶ調査や実習も行われ、課題を自分事としてとらえる経験ができるのも魅力です。データだけでなく人や地域に向き合いながら考える学びが大きな成長につながります。

卒業後の進路は多岐にわたり、効率的な農業経営に挑む農業後継者、農業資材の販売・技術支援、食品製造や流通、外食・中食産業など食関連ビジネス、公務員や農協職員として地域を支える道も開かれています。さらに、地域の課題をビジネスとして解決する起業家や、地域おこし協力隊として活躍する進路もあり、地域の未来をつくる人材として幅広い活躍が期待されています。

求める学生像は、「農業・食・地域づくりに関心があり、地域を盛り上げたいという思いを持つ人」。人口減少や担い手不足など、地域の課題はたくさんありますが、それらを前向きに解決しようとする姿勢こそ、この領域での学びを最大限に生かす力になります。都市だけでなく、地域が未来をつくる時代。情報の力で地域を支え、農業と暮らしをより良くデザインしていきたい方に、ぜひ挑戦してほしい学びです。



相原 晴伴 先生
農畜産物市場論研究室

地域データサイエンス領域

地域に寄り添い、データを活用して未来をつくる人材を育てる

都市部に比べると地方ではデータや技術を活用できるIT人材が十分ではありません。農環境情報学類は、こうした地域の課題に向き合い、情報やデータを活用して未来をつくる人材を育てるために新たに設置されました。その中でも、地域の日常に寄り添う“小さなデータサイエンティスト”を養成するのが地域データサイエンス領域です。

大切なのは、技術をどのように使えば人や地域を変えていけるのかを考え、実際に動かしていける力。センサーを使って作業の負担を可視化したり、衛星画像から農地の状態を読み解き作業計画を改善したりと、さまざまな技術を地域の現場に結びつける発想が求められます。その際に欠かせないのがコミュニケーション。技術を現場の人々と共有し、課題を一緒に考える姿勢を重視します。

学びの中心には、GIS基礎演習やリモートセンシングといった技術の基礎があります。さらに街を実際に歩き、データから地域の姿を読み解くデータサイエンス演習、住民にヒアリングし課題を抽出するコンサルティング演習など実践的な科目が充実。現場の方を招いて話を聞いたり、学

生自ら地域に出向いて調査したりと、地域課題に触れながら学ぶことができます。

扱うテーマは、農家の労働環境の改善、作業の効率化、少子高齢化への対応など多岐にわたります。たとえば、熟練者の作業動線をGPSで記録して分析し、初心者でもスムーズに働ける仕組みをつくる。作業の重複や無駄を減らすだけでなく、現場の動きやすさを高めることが目的です。技術はあくまで人のためにあるという視点を大切にしています。

卒業後は、地方自治体、農協、地元企業などで地域を支える人材として活躍できる道が広がっています。もちろん首都圏の大手コンサルなどに入社して、身につけたスキルや経験を地方に還元するキャリアもあります。

求める学生像は、リーダータイプではありません。リーダーを支え、データや技術で周囲の人を後押しできるサポータータイプの学生も歓迎しています。誰かの役に立ちたい、人のために動きたいという気持ちを大切にできる人に向いている領域です。



吉村 暢彦 先生
実践GIS研究室

循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

農環境情報学類

獣医学類

獣医保健看護学類

獣医学群

獣医学類

School of Veterinary Medicine / Department of Veterinary Medicine

信頼される獣医師になる

動物にも人間にも



学びのポイント

1

国際水準 (EAEVE) を満たした教育課程で獣医師として将来活躍する分野を見据えた高度な専門性を養う

「動物のお医者さん」だけではなく、獣医師の仕事は多岐にわたり、グローバルに活躍できます。本学類では実践的な学びを通して多様なニーズに応えます。

※EAEVE = ヨーロッパ獣医学教育機関協会

2

最新の施設・設備を備えた附属動物医療センターで実践的な教育を実施

附属動物医療センター (P.20) は日本一の診療件数を誇り、実際の症例を学ぶ機会が際立って多くあります。スキルスラボ (P.21) でトレーニングを積んだのちに臨床実習に臨むという国際水準の実学教育を通して、卒業直後から臨床獣医師として活躍できる獣医学的技術の習得を実現する体制と設備を整えています。

取得可能資格

- 食品衛生責任者
- 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)

受験資格

- 獣医師国家試験

学類でサポートする資格

- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1)
- 学芸員
- 牛削蹄師(2級)

任用資格

- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者
- 飼料製造管理者
- 環境衛生監視員
- 家畜人工授精師 ※獣医師免許取得者は資格を有する
- 狂犬病予防員 ※獣医師免許取得者は資格を有する
- と畜検査員 ※獣医師免許取得者は資格を有する
- 業事監視員

目指す職業

- 伴侶動物病院獣医師
- 農業共済組合家畜診療所獣医師
- 公務員(農林水産省、厚生労働省、環境省、地方公務員)
- 研究員(動物医薬品製造業、研究開発、安全性試験)
- 動物園・水族館などの獣医師 など



3

5つの専修教育コースで
専門的に学ぶ

専修教育コースは、生体機能学、感染・病理学、予防獣医学、生産動物医療学、伴侶動物医療学の5つに区分。人の健康を支える公衆衛生、動物を使った新薬開発の研究、家畜の健康と食の安全を守ることなどさまざまな獣医師の役割を専門的に学びます。

4

学生3人に担当教員が1人。
しっかりと基礎から
実践力を磨く体制

学習の進み具合から専門への方向性までアドバイザー制とユニット制を連携させ、国家試験の合格に向けて、担当教員が卒業まで学生一人ひとりに応じた指導を行っていきます。

学びの流れ／カリキュラム

☆1：外国人留学生のみ
※この内容は2026年3月現在のものです。今後変更の可能性があります。

1 年次

基盤教育

- 建学原論
- キリスト教
- 健土健民・獣医学入門実習
- 獣医療概論
- 心理学
- 社会学
- 生物学
- 化学
- 運動の科学
- 体育実技Ⅰ
- 体育実技Ⅱ
- 情報科学の基礎
- 情報処理基礎演習
- 英語Ⅰ
- 英語Ⅱ
- 日本語Ⅰ ☆1
- 日本語Ⅱ ☆1

専門基礎教育

- 獣医組織学 A
- 獣医生化学
- 獣医生理学総論
- 感染と免疫
- 動物倫理・動物福祉学
- 動物ハンドリング実習
- 全学共通科目 A
- 全学共通科目 B

専門教育

- 獣医解剖学 A
- 獣医解剖学 B
- 獣医組織学 B
- 獣医生理学各論 A

2 年次

基盤教育

- 統計学Ⅰ
- 統計学Ⅱ
- Veterinary Topic English (Standard)
- Veterinary Topic English (Advanced)
- English for Veterinary Skills

専門基礎教育

- 獣医薬理学 A
- 獣医寄生虫学
- 獣医病理学総論
- 実験動物学
- 動物栄養管理学

専門教育

- 獣医解剖学実習
- 獣医組織学実習
- 分子遺伝学
- 獣医生化学実習
- 獣医生理学各論 B
- 獣医生理学実習
- 獣医薬理学 B
- 実験動物学実習
- 獣医微生物学
- 動物感染症学 A
- 動物感染症学 B
- 微生物学実習
- 医療物理学

畜産関連科目

- 学外農場実習
- 畜産学総論

3 年次

専門基礎教育

- 動物行動学
- 臨床薬理学
- 臨床繁殖学 A
- 獣医麻酔疼痛管理学
- 公衆衛生学総論
- 博物館実習

専門教育

- 毒性学
- 獣医薬理学実習
- 動物感染症学 C
- 獣医寄生虫病学
- 獣医寄生虫病学実習
- 魚病学・原虫病学
- 獣医病理学各論
- 獣医病理学実習
- 食品衛生学
- 産業動物臨床学 A
- 伴侶動物臨床学総論
- 臨床病理学
- 伴侶動物内科学各論 A
- 手術学総論
- 伴侶動物外科学各論 A
- 画像診断学
- 伴侶動物臨床学実習 A

4 年次

専門基礎教育

- 野生動物学

専門教育

- 人獣共通感染症学
- 獣疫学
- 獣医衛生学
- ハードヘルス学
- 総合衛生学実習Ⅰ(獣医衛生)
- 総合衛生学実習Ⅱ(公衆衛生)
- 総合衛生学実習Ⅲ(食品衛生)
- 畜産物利用学実習
- 産業動物臨床学 B
- 産業動物臨床学 C
- 産業動物臨床学実習 A
- 産業動物臨床学実習 B
- 臨床繁殖学 B
- 伴侶動物内科学各論 B
- 伴侶動物内科学各論 C
- 馬臨床医学
- 伴侶動物外科学各論 B
- 獣医臨床腫瘍学
- 獣医臨床検査学実習
- 伴侶動物臨床学実習 B
- 獣医臨床基礎実習

専修教育

- 獣医畜産法規
- 研究発表
- 学外実習 A(伴侶動物)
- 学外実習 B(生産動物)
- 学外実習 C(展示・野生動物)
- 学外実習 D(食品衛生)
- 生体機能学演習Ⅰ
- 生体機能学演習Ⅱ
- 感染病理学演習Ⅰ
- 感染病理学演習Ⅱ
- 予防獣医学演習Ⅰ
- 予防獣医学演習Ⅱ
- 生産動物医療学演習Ⅰ
- 生産動物医療学演習Ⅱ
- 伴侶動物医療学演習Ⅰ
- 伴侶動物医療学演習Ⅱ

畜産関連科目

- 畜産物利用学

5 年次

専門教育

- 食肉衛生検査学実習(学外)
- 総合病理診断学実習
- 食鳥検査学実習
- 参加型伴侶動物臨床実習 A(内科)
- 参加型伴侶動物臨床実習 B(外科)
- 参加型伴侶動物臨床実習 C(麻酔・画像診断)
- 参加型伴侶動物臨床実習 D(検査・馬診療)
- 参加型伴侶動物臨床実習 E(学外臨床実習・Shelter)
- 参加型産業動物臨床実習(学内・学外)

専修教育

- 研究発表
- 学外実習 A(伴侶動物)
- 学外実習 B(生産動物)
- 学外実習 C(展示・野生動物)
- 学外実習 D(食品衛生)
- 生体機能学演習Ⅲ
- 生体機能学演習Ⅳ
- 感染病理学演習Ⅲ
- 感染病理学演習Ⅳ
- 予防獣医学演習Ⅲ
- 予防獣医学演習Ⅳ
- 生産動物医療学演習Ⅲ
- 生産動物医療学演習Ⅳ
- 伴侶動物医療学演習Ⅲ
- 伴侶動物医療学演習Ⅳ

6 年次

専修教育

- 統合獣医学
- 中獣医学
- 動物理学療法
- 研究発表
- 学外実習 A(伴侶動物)
- 学外実習 B(生産動物)
- 学外実習 C(展示・野生動物)
- 学外実習 D(食品衛生)
- 生体機能学アドバンスドコース
- 感染病理学アドバンスドコース
- 予防獣医学アドバンスドコース
- 生産動物医療学アドバンスドコース
- 伴侶動物医療学アドバンスドコース

→ Pick up!

ピックアップカリキュラム1 ▶ 総合病理診断学実習

※本実習は複数教員により毎回異なる内容の実習を行います。



1 牛の胸部超音波検査 2 牛の腹部超音波画像の解説 3 牛の胸部レントゲン検査

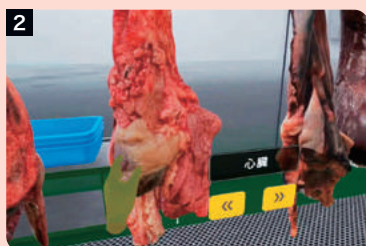
自ら臨床診断した症例の
答え合わせまで行い、
将来の現場でも役立つ知識を学ぶ

附属動物医療センターで、生産動物(主に牛)の診断技術の向上を目的とした実習を行います。実際の臨床現場から提供された症例(病気で残念ながら予後不良となってしまった牛や生産性が見込めない牛)について、実習施設に備えられているさまざまな機器を使用して、臨床検査(聴診、視診、触診、画像検査、血液検査など)や病理解剖検査を学生自らが行います。得られた検査結果をもとに、臨床診断および、病理診断の技術を身につけていきます。現役の臨床獣医師立会いのもと、病理解剖まで行うことで、自ら臨床診断した症例の答え合わせができる貴重な機会です。将来、臨床獣医師として現場に立つ際の診断精度の向上や、正しい治療方針の決定にもつながる内容となっています。また本実習は、近隣の農場や臨床獣医師の方々のご厚意により提供いただいた症例で構成されており、酪農・畜産が盛んな北海道ならではの充実したプログラムです。



小田 圭吾 先生
生産動物病態学ユニット

ピックアップカリキュラム2 ▶ 食肉衛生検査学実習(学外)



1 没入感抜群のVRを用いて食肉衛生検査を体験 2 VRでは臓器が3Dで見え、異常所見の画像も豊富 3 教科書を見ながら、北海道の検査実績から異常の発生状況学ぶ

国民の食の安全を守る
「とりで」としての
基礎的能力を身につける

獣医師は、動物の健康の専門家であるため、国民一人ひとりが毎日食べているお肉の安全性を担保する役割を担っています。食用の家畜は、全て獣医師による検査を受けているのです。本実習では、フードチェーンから排除する食用家畜の異常所見について学内で発生状況を学び、本学で開発した3D模擬と畜場のVRを用いて食肉衛生検査学実習を行います。ここで基礎技術を身につけた後に、北海道内外の食肉衛生検査所を訪問し、ハンズオン実習あるいは見学を行います。さらに、民間企業の協力を得て、食品加工の現場でHACCPなどの衛生管理について学びます。



蒔田 浩平 先生
獣疫学ユニット

循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

環境情報学類

獣医学類

獣医保健看護学類



ユニット紹介

2026年1月現在

分野	ユニット	教員	テーマ
生体機能学分野	獣医生化学	岩野 英知 藤木 純平	遺伝子レベルで動物の病気を理解し、新しい診断法や治療法を開発する
	獣医生理学	翁長 武紀 安井 由美子 守屋 大樹	生態系由来の生理活性物質が動物の免疫や内分泌に及ぼす影響の解明
	獣医薬理学	寺岡 宏樹 中村 達朗	薬と有害物質の生体作用に関する研究
	獣医解剖学	渡邊 敬文 高橋 直紀 小林 良祐	解剖学から解く生体・形態機能
	実験動物学 (旧・疾患モデル学)	嶋田 圭祐 藤本 政毅	遺伝子改変マウスを用いた精子形成メカニズムの解明
感染・病理学分野	獣医細菌学	秋庭 正人 吉澤 頌樹	細菌感染症の発病機構の解明と診断・防除技術の開発に関する研究
	獣医臨床病理学	鈴木 一由 岡本 実 平田 晴之 神谷 可菜	全ての動物種における病態評価をさまざまな手法に基づいて解明し治療に役立てる
	獣医ウイルス学	萩原 克郎 大道寺 智	動物と人に感染するウイルス感染症学から予防・免疫、腫瘍ウイルス療法
	獣医寄生虫学 (旧・医動物学)	福本 晋也 石崎 隆弘	病原体を媒介しないベクター創出による犬フィラリア症の制御
	獣医病理学	松田 一哉 佐野 悠人	動物の疾患に関する病理診断ならびに病理学的研究
	馬医療学	都築 直 森山 友恵	馬の疾患に対する診断・治療に関する研究
予防獣医学分野	食品衛生学	白井 優 福田 昭	動物由来薬剤耐性菌の環境やヒトへの伝播機構の解明とその対策
	ハードヘルス学	及川 伸 福森 理加	乳牛群の疾病発生予防とリスク要因の解析
	獣医衛生学	樋口 豪紀 権平 智	ウシの抵抗力(免疫力)を明らかにし、病気を予防する方法についての研究
	獣医疫学	蒔田 浩平 浅倉 真吾	重要家畜・人獣共通感染症の効果的かつ受容可能な制圧方法の研究
	人獣共通感染症学	村松 康和 内田 玲麻	細菌症人獣共通感染症および節足動物媒介性ウイルス感染症に関する研究
伴侶動物医療学分野	伴侶動物外科学	井坂 光宏 鳥巢 至道 小久保 大樹 南 垠列 濱本 裕仁 峯 弘 若槻 あゆみ 酒井 俊和 山本 集士	消化器疾患(鳥巢・酒井・山本)、運動器・循環器・神経疾患(井坂・濱本・南)の診断・治療に関する研究
	伴侶動物内科学	大田 寛 山崎 裕毅 酒谷 篤 田村 昌大 出口 辰弥 藤田 麻由	伴侶動物の内科疾患および腫瘍疾患の病態解明と新規診断法・治療法の開発
	獣医麻酔学	山下 和人 伊丹 真晴 伊藤 暁史	馬、犬、猫、兎の麻酔・疼痛管理および犬猫の集中治療に関する研究
	画像診断学	華園 究 三好 健二郎 五田 嘉倫	動物の画像診断(X線、超音波、CT、MRI)とInterventional Radiology(IVR)
	生産動物内科学	田島 蒼士 三浦 亮太郎	生産獣医療の個体診療と群管理における生産性阻害因子に関する研究
	動物生殖学	中田 健 杉浦 智親	牛群あるいは牛個体ごとの生産効率および受胎成績を向上させる取り組み
	生産動物外科学	佐藤 綾乃 村上 高志	牛の獣医臨床における治療から疾病解析・予防法の構築
生産動物病態学	福田 茂夫 小千田 圭吾	牛疾病の診断と予防方法に関する研究と臨床現場での実践	

NEW

2025年4月新設。酪農学園大学は「産業動物」や「大動物」の一部としてではなく、「馬」を対象として馬医療を扱う研究室をもつ日本唯一の大学。近年、日本では馬関連に従事する獣医師が不足していますが、立地の関係上、馬の教育は十分に行えない大学が多いのが現状です。そんな中、本学は日本最大の馬産地である日高地方に近く、馬の教育環境を備えている日本では数少ない大学です。広大な北海道という地で馬の医療について共に学んでみませんか？

動画で詳しく
CHECK!

Pick up 01 獣医生理学ユニット

生態系由来の生理活性物質が動物の免疫や内分泌に及ぼす影響の解明



Pick up 02 生産動物病態学ユニット

牛疾病の診断と予防方法に関する研究と臨床現場での実践



OB・OG インタビュー

※勤務先は2025年4月時点

就職実績 >> P.88

循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

農環境情報学類

獣医学類

獣医保健看護学類



奈良動物医療センター

人や動物と触れ合いながら
基礎系科目を学ぶことができた

井出 雅春さん
獣医学類 獣医解剖学ユニット 2019年3月卒業
徳島県/徳島県立城東高等学校 出身

奈良動物医療センターで総合診療科として勤務し、開腹・開胸手術に加え神経・整形の手術にも取り組んでいます。重症な患者様と向き合うことも多く、心を痛め涙される飼い主様も多くいます。そのなかで、治療した患者様が元気になり退院を迎えるときは、大きな感動とやりがいを感じます。動物と飼い主様、両方を救うことができた、という喜びが私の原動力です。

酪農学園大学在学中は基礎系科目が好きで、生理学、生化学、解剖学、組織学などの教科に興味を持って取り組んでいました。病気は生理学的、生化学的、解剖学的、組織学的な異常が複雑に絡み合っているものだからです。広大な大地・自然の中で、人や動物と触れ合いながらこれらの学問を学ぶことが本学の最大の魅力であり、今の私にとって大きな財産になっています。



オーシャン動物病院 獣医師部門

外科の臨床現場で治療の最先端を
実践的に学ぶことができた

水沼 和俊さん
獣医学類 2023年3月卒業
栃木県/栃木県立石橋高等学校 出身

小動物臨床獣医師として主に犬や猫の診療に携わり、ワクチンなどの予防関係だけでなく、体調が悪い動物の診察や検査、治療・手術などを行っています。難解な症例も多いですが、全力を尽くしてしっかり治療できた際の飼い主様の嬉しそうな顔を見ることが、私のやりがいになっています。

酪農学園大学では伴侶動物医療分野、特に外科の臨床現場で治療の最先端を実践的に学ぶことができました。現在も新しい知識や技術を学び続けていますが、大学時代に論文・資料の活用方法などいわゆる「勉強の仕方」を身につけたことが、今も大変役立っています。

今後はより多くの動物たちを助けるため日々診療活動に携わると同時に、時間や労力を惜しまず自己研鑽を行い、地域の皆様に信頼される獣医師であり続けたいです。



獣医学群

獣医保健看護学類

School of Veterinary Medicine / Department of Veterinary Science



動物たちの

幸せな生き方の答えを探す

学びのポイント

1

高度化する獣医療を支える
愛玩動物看護師を目指す

愛玩動物看護師の仕事は、動物病院での問診、検査、処置、手術（補助）、術後管理、入院管理、予防と多岐にわたりますが、獣医師の指示を正確に理解し実行することで動物たちの命を守ります。

2

総勢50名を超える教員が指導！
動物看護のスペシャリストを育成

本学類の教員を中心に獣医学類も含め総勢50名を超える教員が指導します。1・2年次は専門基礎教育を受け、2～4年次で動物看護に関する専門知識と技術を身につけます。獣医師、飼い主様、動物との信頼関係をしっかりと築き、チーム医療に貢献する動物看護スペシャリストの育成を目指しています。

取得可能資格

- 家畜(牛)人工授精師 ※講習会受講・最終試験合格の場合
- 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)

受験資格

- 愛玩動物看護師国家試験
- ペット栄養管理士

学類でサポートする資格

- 食品衛生責任者
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1)
- 学芸員 ●牛割蹄師(2級)

第3回
愛玩動物看護師
国家試験の合格率

98.2%

(全国平均93.7%)
※現役生のみ

家畜(牛)人工授精師・
牛割蹄師
の資格を取得可能

生産動物看護師
を毎年輩出

目指す職業

- 小動物病院勤務 愛玩動物看護師
- 産業動物(牛・馬)動物看護師
- 動物医薬品関連企業
- ペットフード関連企業
- ペット保険企業
- 地方公務員/国家公務員
- 動物園・水族館 など



3

生産動物の
獣医療現場でも活躍する
生産動物看護師[※]も育成・輩出

生産動物看護師へのニーズは高く、希望者は学内やNOSAIの実習に参加することにより、実際の生産動物の医療について学ぶことができます。また、大学で取得することができる家畜(牛)人工授精師の資格を持つことで貢献できる分野が広がります。

※生産動物医療を支える職種の通称であり、法令に基づく資格名ではありません。

4

本学類で飼育する犬とともに、
実践的な学びを行う

本学類では動物看護に関する全ての講義・実習に役立つよう、犬種・年齢が異なるさまざまな犬たちを飼っています。毎日の世話は学生が交代で行い、犬の生態の理解を深め、健康管理や病気の早期発見ができる知識が自然と身につきます。

学びの流れ／カリキュラム

☆1:外国人留学生のみ

※この内容は2026年3月現在のものです。今後変更の可能性があります。

1年次

基盤教育

- 建学原論
- キリスト教
- 健土健民・獣医学入門実習
- 獣医療概論
- 社会学
- 心理学
- 生物学
- 化学
- 運動の科学
- 体育実技Ⅰ
- 体育実技Ⅱ
- 情報科学の基礎
- 情報処理基礎演習
- 英語Ⅰ
- 英語Ⅱ
- 日本語Ⅰ ☆1
- 日本語Ⅱ ☆1

専門基礎教育

- 獣医組織学A
- 獣医生化学
- 獣医生理学総論
- 感染と免疫
- 動物倫理・動物福祉学
- 動物ハンドリング実習
- 全学共通科目A
- 全学共通科目B

専門教育

- 動物看護学概論
- 伴侶動物学A
- 伴侶動物学B

2年次

基盤教育

- 統計学Ⅰ
- 統計学Ⅱ
- Veterinary Topic English (Standard)
- Veterinary Topic English (Advanced)
- English for Veterinary Skills

専門基礎教育

- 獣医薬理学A
- 獣医寄生虫学
- 獣医病理学総論
- 実験動物学
- 動物栄養管理学

専門教育

- 家畜解剖学(農食環境学群共通)
- 畜産学総論
- 動物内科看護学
- 動物外科看護学
- 動物臨床看護学総論
- 動物臨床検査学
- 簿記・会計学概論
- 動物形態機能学実習
- 動物看護基礎実習Ⅰ
- 動物看護基礎実習Ⅱ

専修教育

- グルーミング理論
- グルーミング実習

畜産関連科目

- 学外農場実習

3年次

専門基礎教育

- 動物行動学
- 臨床薬理学
- 野生動物学
- 獣医麻酔疼痛管理学
- 公衆衛生学総論
- 臨床繁殖学A
- 博物館実習

専門教育

- 動物臨床看護学各論A
- 動物臨床看護学各論B
- 動物臨床看護学各論C
- 伴侶動物内科看護学実習
- Shelter Medicine
- 伴侶動物外科看護学実習
- 伴侶動物麻酔看護学実習
- 動物臨床検査学実習Ⅰ
- 動物臨床検査学実習Ⅱ
- 動物看護総合実習Ⅰ(酪小獣)

専修教育

- 中獣医学
- 動物理学療法学
- 動物行動学実習
- 獣医保健看護学演習
- 基礎動物看護学演習Ⅰ
- 基礎動物看護学演習Ⅱ
- 応用動物看護学演習Ⅰ
- 応用動物看護学演習Ⅱ
- 臨床動物看護学演習Ⅰ
- 臨床動物看護学演習Ⅱ

4年次

専門教育

- 動物人間関係学
- 動物看護総合実習Ⅱ
- 学内動物病院実習

専修教育

- 動物環境衛生学
- 獣医畜産法規
- 伴侶動物飼養管理学
- 生産動物飼養管理学
- 統合動物看護学
- 基礎動物看護学演習Ⅲ
- 基礎動物看護学アドバンスプログラム
- 応用動物看護学演習Ⅲ
- 応用動物看護学アドバンスプログラム
- 臨床動物看護学演習Ⅲ
- 臨床動物看護学アドバンスプログラム

畜産関連科目

- 家畜育種学
- 家畜管理・栄養学実験
- 家畜育種・繁殖学実験

→ Pick up!

ピックアップカリキュラム1 ▶ 臨床動物看護学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ



1 犬の歯磨きについて学ぶ 2・3 模型を用いて犬の歯の特徴について学ぶ

歯磨き教室を通じて、
正しい知識と自ら考える力を習得する

本研究室では、ゼミの研究分野でもあるデンタルケアについて学んでいます。愛玩動物看護師の業務範囲には、「歯磨きに関する指導・助言」があり、本実習は動物医療におけるデンタルケア分野の基礎を学ぶ内容となっています。ゼミでは、まずは論文や教科書・専門雑誌などについて学び、まとめたことを発表する中で、獣医歯科における理解を深め、また、プレゼンテーション能力を養います。さらに、本研究室では、定期的に犬の歯磨き教室を開催しており、ゼミに所属している学生は補佐役として参加します。ここでは、犬の口腔環境の把握方法、飼い主様への歯磨き指導やデンタルケアグッズの特徴や使用方法などを学び、口腔ケアに対する正しい知識についてさらに深めることができます。このような、自ら深く学ぶ実習を通じて、学生一人ひとりに確かな自信と正しい知識、自ら考える力をつけてもらいます。



八百坂 紀子 先生
動物医療学ユニット

ピックアップカリキュラム2 ▶ 動物看護基礎実習Ⅱ



1 注射針とシリンジの取り扱い 2 アンブールの取り扱い 3 バイアルの取り扱い

動物看護師としての
実践的な技術と専門性を身につける

動物臨床看護学で学んだ知識を実践しながら、動物看護師として必要な思考力・判断力・技術を磨いていきます。事例検討を通して看護動物の個別性を理解し、生活環境や家族との関係が健康にどのような影響を与えるのかを把握する力を身につけます。症状や治療が動物と家族に与える負担を考えながら、看護上の問題を抽出し、優先順位をつけて計画を立案する一連のプロセスを学べる点も大きな魅力です。入院動物のアセスメントやケージ管理、ペインスケールによる痛みの評価、床ずれのケア、栄養チューブの準備や流動食の調製といった、臨床現場で即戦力として求められる実践的な技術も経験できます。これらの学びは、将来動物看護師として働く際に欠かせない基礎となり、現場で自信を持って行動するための確かな力につながります。動物と

家族の双方を支える専門性を高めたい学生に、ぜひ受講してほしい実習です。



宮庄 拓 先生
動物生命科学ユニット

循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

農環境情報学類

獣医学類

獣医保健看護学類



ユニット紹介

2026年1月現在

ユニット	教員	専門分野
動物と人の関係学	川添 敏弘	「殺処分ゼロ」など動物愛護に伴う分野を科学的な視点で研究
	郡山 尚紀	伴侶動物の行動学と行動診療、動物介在療法、馬の問題行動研究、海棲哺乳類の生態学
	高橋 優子	獣医療に関わる法的・政治的・宗教的・哲学的問題を扱う
	能田 淳	地球環境で考える、ヒト・動物・環境の健康：ワンヘルスに向けた環境衛生学
動物生命科学	林 英明	動物福祉の向上を目指した動物の客観的評価と現場への応用
	宮庄 拓	さまざまな状況に対する動物の生体反応(生体応答)について
動物医療学	椿下 早絵	犬猫の術後の早期回復や高齢動物の運動機能の維持への取り組み
	八坂 紀子	中獣医学(東洋医学)やデンタルケアについての研究
	村上 義樹	臨床現場で動物看護師に必要な考え方や知識・技術の習得を目指す

動画で詳しくCHECK!

Pick up 01 動物と人の関係学ユニット

人と動物とのより良い関係を目指す研究：
身近な伴侶動物から野生動物まで



Pick up 02 動物医療学ユニット

犬猫の術後の早期回復や高齢
動物の運動機能の維持への取
り組み



Pick up 03 動物生命科学ユニット

動物福祉の向上を目指した
動物の客観的評価と現場への
応用



NEWS

獣医保健看護学類が主体となって開催する大学のイベント 動物愛護フェスティバルinえべつ

毎年9月は、全国的に動物愛護週間に合わせて、さまざまなイベントが開かれます。酪農学園大学のキャンパスにおいても、獣医師会や行政と協力し北海道で最大の「動物愛護フェスティバルinえべつ」を開催します。動物愛護に関わるイベントやチャリティー販売などはもちろんのこと、譲渡会や犬の運動会、犬のフリスビーなど、人も犬も楽しめる催しになっています。

このフェスティバルは、獣医保健看護学類が、会場の設営からテントでの犬のおやつ販売、犬の健康診断やしつけ相談、さらにはステージイベントなど多くの部分を担っています。江別市や札幌市を中心に最大で5000人余りのたくさんの人と犬を中心とした多くの動物が集まる楽しいイベントです。また、酪農学園大学ならではの、牛との触れ合いや乗馬体験もあり、動物との素敵な関係を見て、触れて、学ぶことができます。このような行事を獣医保健看護学類の学生たちは経験することで、知識や技術を外へアピールするとともに、学びにつなげていきます。



OB・OG インタビュー

※勤務先は2025年4月時点

就職実績 >> P.88

循環農学類

食と健康学類

環境共生学類

農環境情報学類

獣医学類

獣医保健看護学類

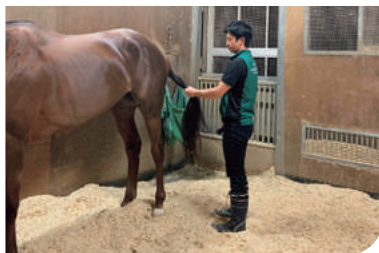


JRA 栗東トレーニングセンター 橋口厩舎 (調教助手)

動物への対応力を鍛え 夢であった競走馬の世界へ

幣旗 勇太郎さん
獣医保健看護学類 2017年3月卒業
北海道 / 北海道静内高等学校 出身

私の実家が競走馬の牧場を営んでおり、また小学生から高校生まで馬術を習っていたこともあり、自然と将来は馬に関する仕事に携わりたいと考えていました。大学卒業後は千葉県の競走馬の牧場に就職。その後、調教助手の試験に合格し、現在はJRAの調教拠点である栗東トレーニングセンターで、調教助手として競走馬の馬体チェックなどに毎日励んでいます。特に競走馬は些細なケガや体調不良が大きなケガや病気に繋がるため、いち早く気付くことが重要です。馬の体調管理の基本は在学中に学びました。学類犬を世話する講義があり、実習はもちろん、日々の体調管理や体調のトラブルに対して試行錯誤しながら解決するなど、学類犬と共に成長した経験は、現在の馬の体調管理や問題解決に対する引き出しの多さに繋がっていると思います。



札幌市円山動物園

野生動物の調査や研究が 飼育員を目指す動機に

鎌田 祐奈さん
獣医学群 獣医保健看護学類 2016年3月卒業
北海道 / 北海道札幌厚別高等学校 出身

動物専門員として、主にアジアゾウの飼育業務を担当しています。給餌や掃除はもちろん、ゾウの健康を管理するために必要な削蹄や採血、来園者への解説、事務仕事など、仕事は多岐にわたります。酪農学園大学では主に伴侶動物の動物看護の知識を学びましたが、動物園での飼育においても役立っていることが多くあります。

大学時代に野生動物の調査や研究に関わるうちに、動物の生態や生息する環境について子どもたちに伝える仕事がしてみたいと思うようになりました。お客様へ動物について解説をした際に「知らなかった!」「そうなんだ!」と新たな発見に繋がれた時に、やりがいや喜びを感じます。来園者のみなさんが解説や展示を通じて、野生動物の現状や生息環境について考えるきっかけをつくれたら、と思いながら取り組んでいます。



国際交流

人と研究の国際交流を積極的に推進

酪農学園大学では海外の大学・研究機関との学術交流の窓口として学術交流協定の締結や、学生交流などを推進しています。また、学生の多様なニーズに応えるため海外研修・留学プログラムの充実にも努めており、語学研修、ファームステイ、アニマルハンドリングなどのプログラムを企画・紹介しています。



学術交流協定

本学は、海外の大学などとの学術交流協定を23カ国44機関と締結しており、学術資料の交換、教員や学生の派遣・受入、共同研究、セミナーなどの開催で交流を行っています。

学術交流協定機関

23カ国 44機関

- インド** サムヒギンボトム農業科学技術大学
- カザフスタン** 国立バイオテクノロジーセンター／アルファラピカザフスタン国立大学
- 韓国** 国立韓京大校
- タイ** マヒドン大学(熱帯医学部、獣医学部)／チュラーロンコーン大学／カセサート大学／保健省医科学局／コンケン大学／タマサート大学／プリンス・オブ・ソクラー大学

- 台湾** 国立嘉義大学／国立屏東科技大学／国立中興大学
- 中国** 内蒙古農業大学／新疆農業大学／内蒙古民族大学／陝西省動物研究所
- フィリピン** 東フィリピン大学
- ベトナム** ハノイ公衆衛生大学／ベトナム国立農業大学／国立獣医学研究所
- マレーシア** サバ大学
- ミャンマー** 獣医学科大学
- モンゴル** モンゴル生命科学大学／フスタイ国立公園／モンゴル国立大学
- ロシア** 極東農業大学
- アメリカ** オハイオ州立大学(獣医学部、食品・農業・環境科学部)／コーネル大学畜産学部／フィンドレー大学／パデュー大学

- カナダ** アルバータ大学／オールドカレッジ／サスカチュワン大学
- イギリス** グラスゴー大学生物多様性・家畜衛生・比較医学研究所
- イタリア** バドヴァ大学
- デンマーク** 国立畜産研究所
- ドイツ** ハノーバー獣医科学大学
- ポーランド** ワルシャワ生命科学大学
- ウガンダ** マケレレ大学
- ケニア** 国際家畜研究所
- コートジボワール** スイス科学研究所
- パラグアイ** アスンシオンカトリック大学

短期海外留学研修プログラム (2026年度予定)

研修内容	派遣国	派遣先	時期	期間	奨学金
集中英語	カナダ	アルバータ大学	夏季・春季休業中	4週間	20万円
海外農業研修サポート	カナダ	農場	随時	4週間	20万円
大学院生留学サポート	北米地域	協定機関	随時	4週間	30万円
ベーシック・アニマルハンドリング	アメリカ	フィンドレー大学	春季休業中	3週間	なし
単位互換プログラム(対象:獣医学類5年)	タイ	カセサート大学	9月～12月	約3か月間	条件付
獣医学部短期研修プログラム(対象:獣医学類4～5年)	タイ	カセサート大学	夏季休業中(予定)	2週間	なし



長期海外留学プログラム (2026年度予定)

研修内容	派遣国	派遣先	時期	期間
授業履修(授業料免除)	アメリカ	フィンドレー大学	8月開始	約9か月間
英語研修	カナダ	アルバータ大学	1、5、7、9月開始	7週間～

アルバータ大学 春季研修プログラム

4週間 カナダ・アルバータ大学



カナダで見つけた自分の成長

伏見 琴音さん
環境共生学類 3年
山形県／山形県立寒河江高等学校 出身

カナダでの経験を通してコミュニケーション能力を高め今後の学校生活に生かしたいと思い、このプログラムに参加しました。

毎朝学校に行く時に見る朝焼けの景色と家の周りにいる野生動物たちに元気づけられ、今日も一日頑張ろうという気持ちになりました。授業ではカナダの文化やSDGsなどを題材に発表したり発言したりする機会が多かったです。人見知りでもみんなの前で話すことが苦手な私にとってはとても大変なことでしたが、回を重ねるごとに自分の成長を感じることができました。ホストファミリーは本当の家族のように接してくれて、今でもメールで連絡を取り合っています。

初めての海外で最初は不安もありましたが、カナダでの学びを通してさまざまな人と交流することができ、自分の考えを伝えることの大切さを実感しました。このプログラムは、自分自身の成長を感じ、可能性を広げることができる良い機会になると思います。





農・食・環境・生命の 最先端研究に取り組む

酪農学園大学は、農・食・環境・生命の領域において、それぞれが互いに連携しながら地球と生命を科学する大学です。その研究領域は、産業としての農だけではなく、生命を健やかに育むための食や健康、地球環境に至るまでの社会を構成するあらゆる分野におよびます。獣医学研究科(2専攻)と酪農学研究科(3専攻)で構成される本学大学院は、こうした強みを生かし、建学の精神である「健土健民」という理念の具体的実現をテーマに、高度な専門性を有し、それを職業で表現していく人材、技術革新など将来を切り拓く研究者の育成を目指しています。



農・食・環境に関わる研究を現場から学び、現場に返す

酪農学研究科

食生産利用科学専攻

博士課程 3年

- 植物資源生産学
- 動物資源生産学
- 食資源開発利用学
- 応用食品化学*
- 微生物利用学*
- 農業経営政策学
- 食料経済学

食品栄養科学専攻

博士課程 3年 修士課程 2年

- | | |
|------------|-------------------|
| 加工特性 | 健康栄養 |
| ■ 食品加工特性学 | ■ 健康栄養学 |
| ■ 食品物性学 | ■ 臨床栄養学 |
| 栄養機能 | 食環境管理 |
| ■ 食品栄養機能化学 | ■ 食品微生物管理学(修士課程)* |
| ■ 食品機能生化学 | ■ 食品環境汚染学* |

酪農学専攻

修士課程 2年

- | | |
|-----------|-----------|
| 作物生産科学 | 酪農情報学 |
| ■ 土壌植物栄養学 | ■ 酪農経営情報学 |
| ■ 病理・害虫学 | ■ 農業経営学 |
| ■ 飼料作物学 | ■ 酪農政策学 |
| ■ 植物遺伝学 | ■ 農業市場学 |
| ■ 酪農機械学 | |
| 家畜生産科学 | 環境共生学 |
| ■ 家畜繁殖学 | ■ 野生動物学 |
| ■ 遺伝・育種学 | ■ 国際環境情報学 |
| ■ 家畜栄養学 | ■ 地球環境保全学 |
| ■ 家畜管理学 | |
| ■ 酪農生物化学* | |



臨床と基礎の両面から獣医学の発展を推進する

獣医学研究科

獣医学専攻

博士課程 4年

- | | |
|--------------|----------------|
| 基礎獣医学(生体機能学) | 臨床獣医学(伴侶動物医療学) |
| ■ 獣医解剖学 | ■ 伴侶動物内科学 |
| ■ 獣医生理学 | ■ 伴侶動物外科学 |
| ■ 獣医生化学 | ■ 獣医臨床腫瘍学 |
| ■ 獣医薬理学 | ■ 画像診断学 |
| ■ 疾患モデル学 | ■ 獣医麻酔学 |
| | ■ 獣医神経病学 |
| | ■ 馬臨床学 |
| | ■ 獣医臨床検査学 |

基礎獣医学(感染・病理学)

- 獣医病理学
- 医動物学
- 獣医ウイルス学
- 獣医細菌学
- 獣医臨床病理学

臨床獣医学(生産動物医療学)

- 生産動物内科学
- 生産動物外科学
- 伴侶動物内科学
- 伴侶動物外科学
- 獣医臨床腫瘍学
- 画像診断学
- 獣医麻酔学
- 獣医神経病学
- 馬臨床学
- 獣医臨床検査学

応用獣医学(衛生環境学)

- 獣医衛生学
- 獣医疫学
- 食品衛生学
- 環境衛生学
- 人と動物の関係学
- 人獣共通感染症学
- ハードヘルス学
- 獣医倫理学

獣医保健看護学専攻

修士課程 2年

- | | |
|--------------|-------------|
| 基礎・応用獣医保健看護学 | 臨床獣医保健看護学 |
| ■ 獣医解剖学 | ■ 獣医衛生学 |
| ■ 獣医生理学 | ■ 生産獣医療学 |
| ■ 獣医生化学 | ■ 動物疾病治療学 |
| ■ 動物薬理学 | ■ 獣医麻酔学 |
| ■ 獣医病理学 | ■ 画像診断学 |
| ■ 医動物学 | ■ 動物物理学療法学* |
| ■ 獣医微生物学 | ■ 動物行動学 |
| ■ 公衆衛生学 | ■ 伴侶動物外科学 |
| ■ 環境衛生学 | |

*指導教員不在(食品微生物管理学は博士課程のみ不在)
この内容は2026年1月現在のものので今後変更の可能性がります。

地域・企業との連携

酪農学園大学では多くの自治体や企業と協定を締結し、教育・研究活動に役立てています。また、自治体や企業の依頼をうけ、本学の知的資源を活用した対応なども行います。



協定締結数 **53**

協定先一覧

浜中町／栗山町／西興部村／公益財団法人道央農業振興公社／江別市・市内3大学・江別商工会議所／道総研食品加工研究センター／北海道大学／洞爺湖町／公益財団法人北海道農業公社／北海道ホルスタイン農業協同組合・公益社団法人北海道酪農検定検査協会・一般社団法人ジェネティクス北海道／GIS関連団体3者との包括協定／公益財団法人札幌市公園緑

化協会／滝上町／北海道情報大学／標茶町・標茶町農業協同組合・北海道標茶高等学校／公益財団法人知床財団／占冠村／旭川市(旭山動物園)／遠軽町・湧別町・佐呂間町・オホーツク農業共済組合・えんゆう農業協同組合・湧別町農業協同組合・佐呂間町農業協同組合／株式会社北海道銀行／札幌グランドホテル／北海道*／中標津町・中標津町教育委員会・中標津町農業協同組合・計根別農業協同組合・北海道中標津農業高等学校／北海道科学大学／札幌市／地方独立行政法人北海道立総合研究機構／一般財団法人北海道農業協同組合学校／北海道ワイン株式会社／生活協同組合コープさっぽろ／北海道農業共済組合連合会・

道内5農業共済組合／梨湖フーズ株式会社／学校法人高橋学園札幌どうぶつ専門学校／浜頓別町／北海道農業協同組合中央会／北海道コカ・コーラボトリング株式会社*／株式会社サングリーン太陽園／島根県／北海道農政事務所／学校法人八紘学園北海道農業専門学校／株式会社菊田食品／株式会社ファイターズスポーツ&エンターテイメント／イオン北海道株式会社／長沼町／公益財団法人草野河畔林トラスト財団／環境省北海道地方環境事務所／独立行政法人国際協力機構／石屋製菓株式会社／立教大学／テラバル株式会社／株式会社クボタ・株式会社北海道クボタ／北竜町／別海町／公益社団法人北海道獣医師会

※学校法人酪農学園との協定 ※2025年11月時点

オホーツクでの参加型臨床実習

獣医学類ではオホーツク地域との協定に基づき、農業共済組合や診療所の獣医師の皆さんのご協力のもと、生産動物医療に関する実習を行っています。机上の勉強だけではなく、最前線の現場における実践をもとに身につけた技術は、卒業後皆さんの力となります。



手術切開部レクチャー

手術腹腔内触診

「北海道スイーツカレッジ」プロジェクトの推進

本学では「白い恋人」でおなじみの石屋製菓株式会社と包括連携協定を締結し、「北海道のおいしい」を実現する商品・サービスの提供、北海道の農や食の課題解決などを旨とした「北海道スイーツカレッジ」プロジェクトを始動しました。新千歳空港ソフトクリーム総選挙で1位を目指す挑戦、パニャやカカオなど熱帯植物の栽培への挑戦など、「実社会をより深く・楽しく学ぶ場」として本学の学生、



附属高校の生徒らがプロジェクトへ参画しています。

SDGsに関わる取り組み

本学ではSDGs(持続可能な開発目標)への貢献に向け、積極的に取り組みを推進しています。2021年度からは包括連携協定を締結した北海道コカ・コーラボトリング株式会社と連携し、BtoBリサイクル(PETボトルの完全リサイクル)、エコフィード(食品加工副産物を使った家畜飼料)の研究、災害時支援、株式会社パイロットコーポレーションが実施する使用済ペナリサイクルプログラムへの参加に積極的に取り組んでいます。今後さらにさまざまな取り組みを行っていきますので、私たちと一緒に持続可能な未来を作りましょう!



酪農学園大学の乳製品の販売

本学の乳製品製造実験実習室では、キャンパス内のフィールドで生産された新鮮な生乳を使って、牛乳やチーズ、バター、アイスクリームなどの本格的な乳製品づくりが学べます。製造した乳製品は、江別市のふるさと納税のお礼品に指定されており、学内の生協で販売しています。本学の魅力を少しでも多くの方に伝えるために、各種イベントを企画し、学生と一緒に乳製品の販売活動に取り組んでいます。



キャリアサポート



入学直後から細やかにサポート 希望の進路へ向けて、多角的な支援体制を構築

酪農学園大学では、学生一人ひとりが納得のいく進路や職業の選択を成し遂げられるよう、学生の希望に沿ったキャリア支援を行っています。インターンシップの紹介や就職活動のノウハウを学ぶ「就活講座」をはじめ、公務員試験受験対策、面接対策、ビジネスマナーなど各種講座を開催。農食環境学群では1・3年生を対象にキャリア授業も開講しています。また、常駐のキャリアアドバイザーが、個別の進路相談のほか、書類添削や面接練習まで多角的にサポートしています。



1・2年次	3年次(獣医学類5年次)	4年次(獣医学類6年次)
<ul style="list-style-type: none"> ● 就職ガイダンス ● 公務員試験対策講座 ● 内定者との座談会 ● なんでも就活相談会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 就職ガイダンス ● 公務員試験対策講座 ● 就活キックオフセミナー ● 履歴書対策講座 ● 集団面接・GD対策講座 ● SPI受験対策講座 ● 内定者との座談会 ● 証明写真撮影会 ● 学内合同業界セミナー ● なんでも就活相談会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 就職ガイダンス ● 面接対策講座 ● 集団面接・グループディスカッション対策講座 ● 企業説明会 ● なんでも就活相談会
<p>キャリア授業(農食環境学群1年次)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● キャリアベーシック[必修] 	<p>キャリア授業(農食環境学群3年次)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● キャリアデザインI[必修] ● キャリアデザインII[選択] 	

3年次(獣医学類 5年次) 開催スケジュール ※2025年度実施

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
公務員ガイダンス	インターンシップガイダンス	アセスメントテストの受験とフォローアップ講座			就活キックオフセミナー(学類毎に実施)		就活講座(履歴書・SPI)			農林水産省主催 技術職員業務説明会(獣医、畜産系)	学内合同業界セミナー	就活解禁前 直前講座
集団面接・グループディスカッション対策講座						内定者との座談会			集団面接・グループディスカッション対策講座	証明写真撮影会		
単独企業説明会		インターンシップ向けグループワーク練習会					単独企業説明会					
公務員試験対策講座												

■ 主なプログラム



公務員試験対策講座

対象 1～3年生(獣医3～5年生)

基礎能力試験(教養試験)の対策講座としてWEBで開講します。また、年に数回は対面のクラスセミナーを開講し、より実践的な支援を行います。



学内合同業界セミナー

対象 3年生(獣医5年生)

WEBにて2月頃開催します。各業界の企業より採用ご担当者様にお越しいただき、業界のことはもちろん、事業内容や職種についてなどを知ることができます。



面接対策講座

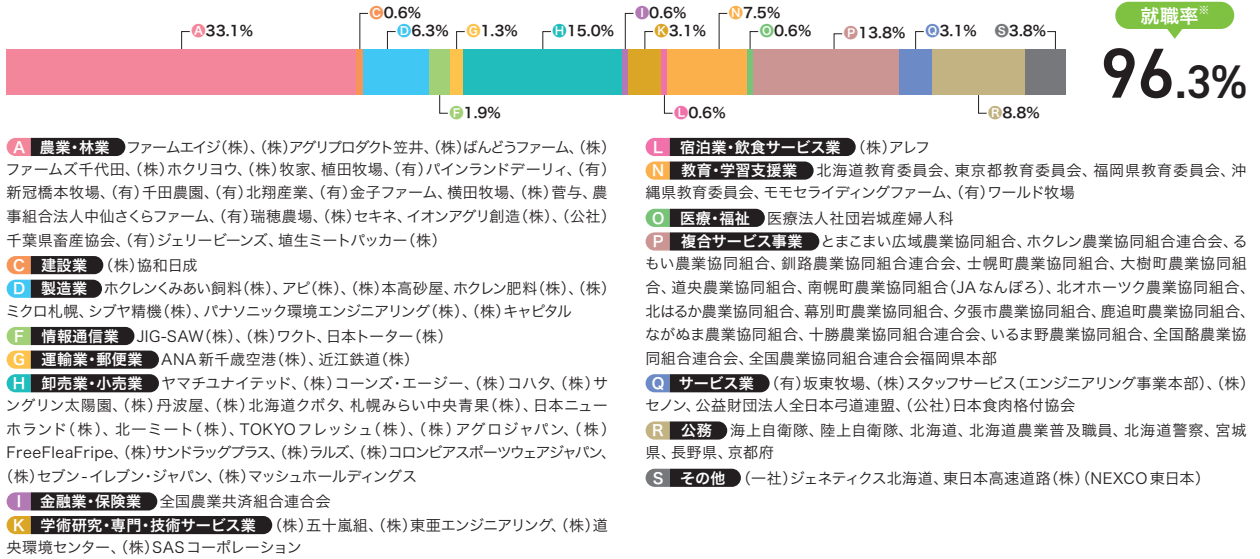
対象 4年生(獣医6年生)

就職活動の本格的な準備の一つとして、集団面接やグループディスカッションなど、実践を意識した面接対策を行います。面接の流れ、面接官の評価ポイント、準備の進め方について学びます。

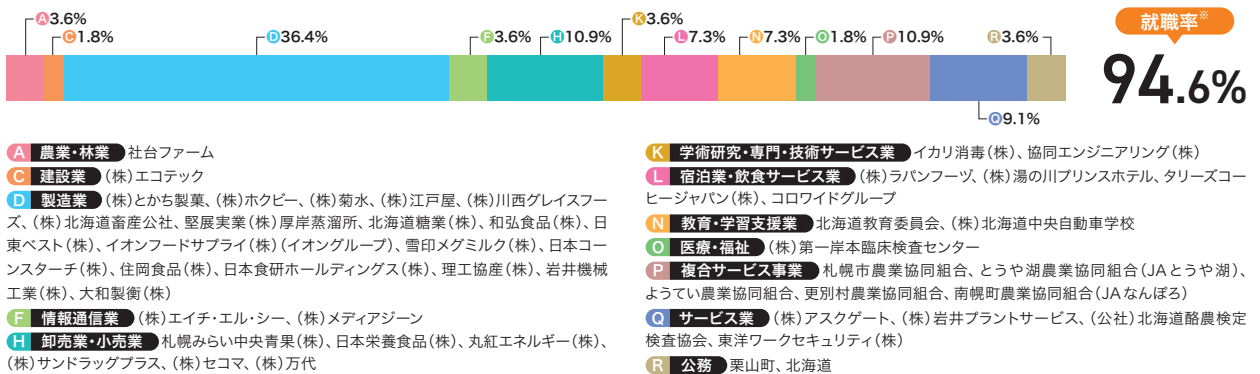
業種別就職状況・主な就職先

2025年5月現在

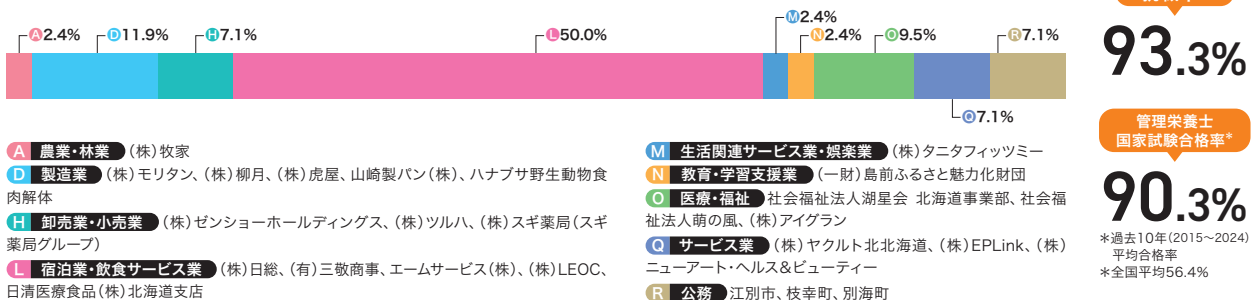
循環農学類



食と健康学類(管理栄養士コースを除く)



食と健康学類(管理栄養士コース)



管理栄養士
国家試験合格率*

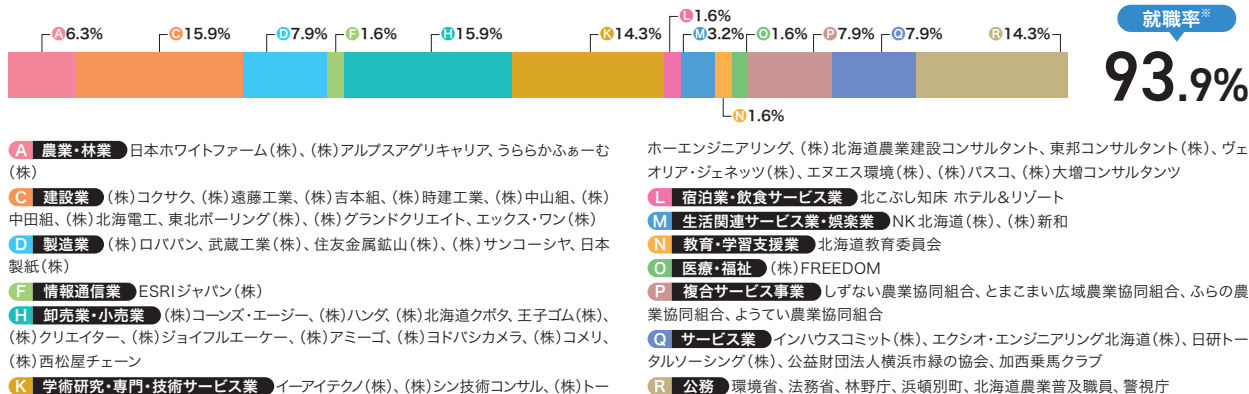
90.3%

*過去10年(2015~2024)
平均合格率
*全国平均56.4%

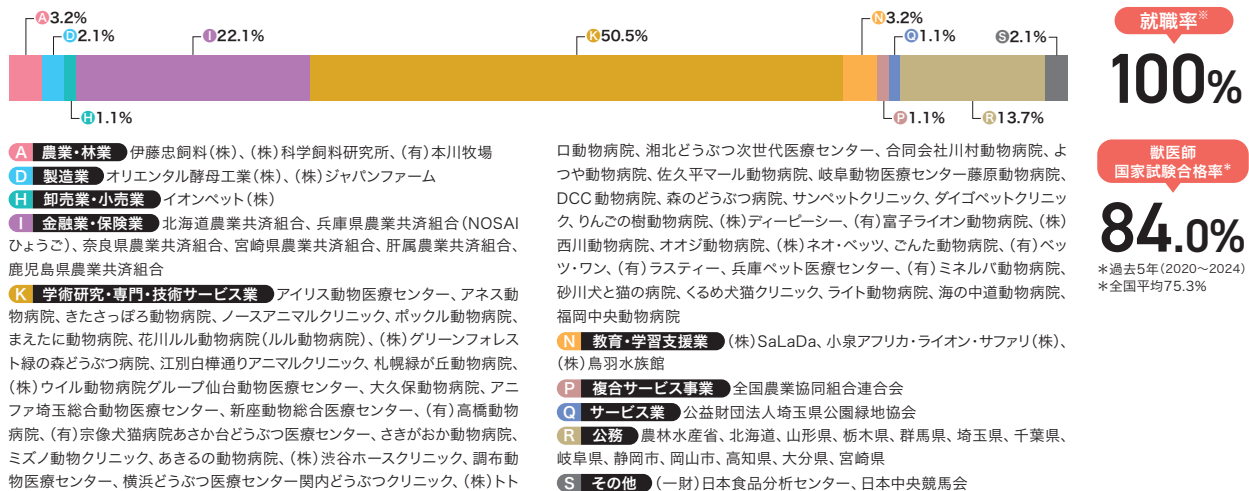
- 農業・林業
- 運輸業・郵便業
- 生活関連サービス業・娯楽業
- その他
- 漁業
- 卸売業・小売業
- 教育・学習支援業
- 建設業
- 金融業・保険業
- 医療・福祉
- 製造業
- 不動産業・物品賃貸業
- 複合サービス事業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 学術研究・専門・技術サービス業
- サービス業
- 情報通信業
- 宿泊業・飲食サービス業
- 公務

※就職率：就職を希望した学生のうち、就職が決定した学生の割合。小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%にはなりません

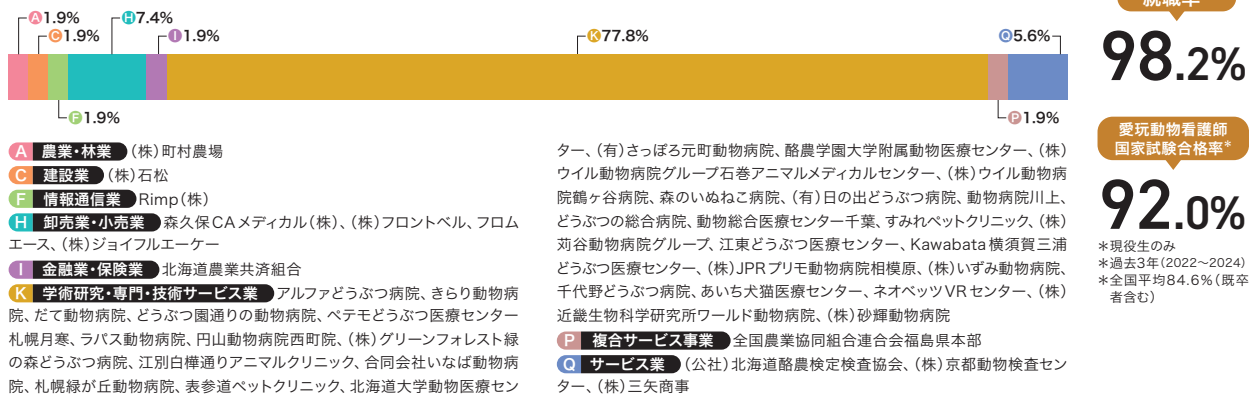
環境共生学類



獣医学類

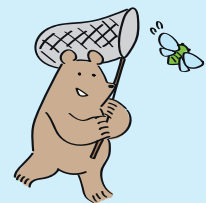


獣医保健看護学類





Campus Life



四季折々の彩りに満ちたキャンパスで
どんな仲間たちと出会えるか。

ワクワクするキャンパスライフがあなたを待っています！





Facilities

施設紹介

学び・食・健康など学生生活の全てを支援する施設と職員がそろっています。



中央館

A B ロビー／お弁当を食べたり、友人とおしゃべりしたり、自習したりなど学生たちが自由に入出りできるフリースペースです。

C D 附属図書館／約31万冊の蔵書数で書籍だけではなく、雑誌や新聞、DVDや語学CDなどもそろっています。

- 図書・雑誌フロア(3F～5F)：一般図書から論文まで充実。静かな環境で勉強がはかどります
- マルチメディアフロア(6F)：DVDや語学CDなど視聴覚資料が満載。AVブースで視聴もできます
- オープンPCフロア(7F)：学生が自由に使えるパソコンが設置されています。

E 生協中央店／おにぎりやお弁当、パンなど、軽くお昼をすませたい方はこちらへ。酪農学園大学ブランドの健土健民牛乳やバター、アイスも購入できます。



健民館

F G アリーナ／開放感のあるアリーナには、吹き抜け部分にクライミングウォールを設置。ギャラリースペースもあり、観覧が可能です。

H 宿部屋／合宿エリアは浴室や厨房・食堂を完備しています。

I トレーニング室／各種マシンが完備され、在学生や教職員などが、体力向上や健康保持のために利用しています。

J アクティブスペース／大きな多目的アクティブスペースのほか、課外活動部室や合宿スペースを完備。コモンスペースでミーティングも可能です。地下1Fには吹奏楽団専用部屋もあります。





酪農学園ホール(酪農学園生協)

K ホール / 1Fのスペースは、食事でもでき、学生の憩いの場になっています。

L 生協サービス店・ルームガイド店 / お部屋探しの相談、留学の相談、自動車学校のお申し込みなどができます。住み替えをする学生も多いので、入学時だけでなくいつでも相談ができるようになっています。

M **N** 書籍店・生協購買店 / 大学オリジナルブランド製品が買えるのはここだけ! 参考書や文房具もここでそろえることができます。

O ATM / ゆうちょ銀行のATM。財布が空っぽになっていても、慌てなくて済みます。 ※北洋銀行のATMは中央館1Fに設置しています。

Check!

生協食堂 / カフェテリア方式で、1日70品以上のメニューを用意。季節に応じているいなフェアメニューが登場するなど、通い続けても飽きがきません。



Delicious!



D1号館

獣医保健看護学類実習室 / ドッグトレーニングや動物ハンドリング実習、獣医保健看護学類で飼っている学類犬の健康チェック、同学類のゼミ活動などで主に使用。また一般の方向けに行っている犬のしつけ教室や歯磨き教室にも使われています。



学生サービスセンター

P キャリア支援課、学生支援課、教務課、医務室などがあり、学生生活および就職の相談を受け、サポートします。

Q 学生相談室 / カウンセラーが常駐して、学生一人ひとりがより良い学生生活を送れるようサポートします。勉強のこと、健康のこと、対人関係などを相談できます。



黒澤記念講堂

「健土健民」を提唱し、農民の育成を目指した酪農学園の創業者・黒澤西蔵の偉業を記念する講堂。1Fでは大学礼拝や講演会が行われ、2Fには黒澤西蔵資料室などがあります。



B4号館

学習支援室(愛称:スタディファーム) / 勉強のことで悩んだり、困った際はここへ。英語、数学、情報の専門学習支援アドバイザーが常駐し、学生の習熟度に合わせてサポートします。

Clubs & Circles

部活動 クラブ・サークル

日々の学びとともに、生涯にわたる仲間ができる各種のクラブ・サークル活動も盛んです。大学間の交流や、社会人との交流も広がります。

馬術部



熱気球愛好会



硬式野球部



肉牛研究会



乳牛研究会



ブルーグラス研究所



野生動物生態研究会



ESS



吹奏楽団



男子バスケットボール部



男子アイスホッケー部



弓道部





ラクロス部



フライングディスクサークル



フットサルサークル「R-Foot」



日本拳法部



フリークライミングサークル



女子バレーボール部



中小家畜研究会



酪農学園
YOSAKOIサークル“祭”



近代演劇



その他のクラブ・サークル

体育系

- ソフトテニス部
- 剣道部
- ラグビー部
- 山岳部
- 男子バレーボール部
- 柔道部
- バドミントン部
- ワンダーフォーゲル部
- スキー部
- ウエイトリフティング部
- サッカー部
- 陸上競技部
- 少林寺拳法部
- 空手道部
- アーチェリー部
- 水泳部酪泳会
- 合気道部
- 硬式テニス部
- 軟式野球部
- 女子バスケットボール部
- フリースタイルスキークラブ
- North Paddler
- 卓球部
- ハンドボール部
- ビリヤードサークル Number9
- 準硬式野球部
- 自転車部
- 女子アイスホッケー部

文化系

- 合唱団
- 軽音楽同好会
- 写真部
- 美術部
- 音楽研究会
- キリスト者学生会
- 旅行サークル“The travelers”
- 漫画倶楽部
- 創作文化研究会
- 酪農学園ボランティアクラブ
- 酪農茶道部
- 棋道部
- 野菜サークル(V.R)
- 植林研究会
- 室内楽団
- ア・カベラサークル『唄種』
- 野生動物との共存支援サークル えれふぁんと
- どうぶつボランティア 幸せなしっぽ
- 国際交流サークル SukaRela
- サマーアグリキャンプ
- ワインサークル“ROWP”
- 動物保全研究会 ルウエ
- 狩猟研究会 狩り部

その他

- 白樺祭実行委員会
- 生協学生委員会

仲間と楽しく

一人で気ままに

My Rakuno Life



学生寮 (希望寮)



石橋 功規さん

獣医学類 1年 福岡県/八女学院高等学校 出身
福岡県出身 通学時間 約5分

寮生活のメリットは、学年や学類関係なく仲の良い友人や先輩をつくれること

人生で初めて親元を離れ、地元とは気候も環境もまったく異なる北海道で暮らすことに不安がありました。学生寮に入ることによってその不安を和らげられると考え、寮生活を選びました。キャンパス内に寮があり、徒歩5分で講義棟に行けるため非常に便利です。

寮生活のメリットは、学年や学類関係なく仲の良い友人や先輩ができること。共同生活ならではの交流も多く、日々新しい刺激があります。朝晩の食事が提供されるため、安定してバランスの取れた食生活を続けられるのも大きな魅力です。メニューが豊富でおいしく、いつも楽しみにしています。さらに、大浴槽のあるお風呂は魅力的で、寒い日に疲れて戻ってきても、広々とした湯舟でしっかり温まれるのが嬉しいところです。

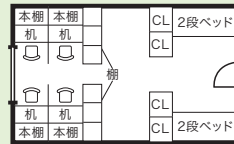


全自動洗濯機と乾燥機を完備。つなぎ専用の洗濯機もあります



入寮者専用のセキュリティカードで開閉するため、セキュリティ対策も万全です

間取り(4人部屋)



寮費(年間)

	希望寮(男子)	清温寮(女子)
入寮費	60,000円	
学寮費	1人部屋	486,000円
	2人部屋	- 450,000円
	4人部屋	426,000円
食費(2食)	325,000円	

※水道光熱費、Wi-Fi使用料が含まれています

Check!

大学敷地内の学生寮で
安心・快適な暮らしをはじめよう

校内には2つの学生寮があります。大学の敷地内だから通学ラクラク♪ 1人部屋、2人部屋(清温寮のみ)、4人部屋があり、充実した設備が整っています。



希望寮(男子寮)



清温寮(女子寮)



1人部屋もあります

詳しくはコチラ



実家を離れて過ごす大学生活ってどんな感じだろう？

仲間とわいわい楽しい学生寮、のびのびとした一人暮らし。それぞれの先輩のライフスタイルを見てみよう。



一人暮らし



千葉 妃乃さん

循環農学類 2年 宮城県/宮城県小牛田農林高等学校 出身

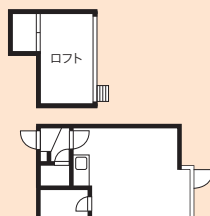
宮城県出身 通学時間 約20分



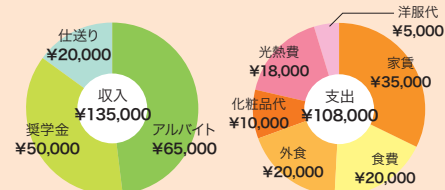
自分の好きなように生活できることが、 一人暮らしの魅力

自分一人で生きるためのスキルを身につけたかったので、寮生活ではなく一人暮らしをすることに決めました。大学まで徒歩で20分、自転車で10分とアクセスが良く、ロフトがある点が気に入って今の物件を選択。私は寝起きが悪いのですが、ロフトの下にスマホを置いてアラームを鳴らすことで、朝は強制的に起きるようにしています。自分の好きなように生活できることが一人暮らしの魅力ですね。気付いたら食べ物が無い、というリスクを避けるため、野菜を冷凍したり、缶詰やご飯のパックを備蓄したりするなど、工夫して食料を確保するようにしています。忙しい大学生活と並行しながら家事を行う今の生活を楽しんでいます。

間取り



1カ月の収支



Check!

酪農学園生協ルームガイドで 安心して一人暮らしをはじめよう

酪農学園生協で一年を通じてお部屋探しのお手伝いをしているルームガイド。本人の希望や生活に合う部屋を的確に紹介します。仲介手数料は全物件無料です。



詳しくはコチラ



見て・聞いて・味わおう！ 酪農学園大学まるごと体感！

本学
開催

OPEN CAMPUS 2026



6/28日

7/25土

7/26日

9/27日

2027年

3/27土



オープンキャンパススタッフが
あなたの進路を応援します!!



無料学食体験では
自慢のアイスを
プレゼント!

主なプログラム

●学類イベント

- ・学類の魅力紹介
- ・模擬講義
- ・体験授業 など

●RGUツアー

- ・酪農生産ステーション
- ・作物生産ステーション
- ・肉畜生産ステーション
- ・附属動物医療センター

●キャンパスツアー

- 無料学食体験
- 個別相談
(就職、奨学金、一人暮らし、学生寮)

受験生
サイトも
CHECK!



オープンキャンパス
スタッフ
Instagram



オープンキャンパス
スタッフ X



出張オープンキャンパス in 東京 大阪

教職員、学生が現地の会場で直接、酪農学園大学の魅力をお伝えします!!

東京

5/31日

大阪

6/6土

大阪

8/22土

東京

8/24月



北海道まで
来られなくても
キャンパスを体感!



学内見学

実際にキャンパスを見てみたい! 学内の雰囲気を経験したい!
という皆さんをお待ちしています。

詳細・申し込み
方法については
コチラから



学内
見学期間

5/1(金) ~ 10/30(金) まで

(土曜・日曜・祝日および8/8~16、8/28、9/4を
除く)

時間

9:00~16:00



RGUをもっと身近に!

酪農学園大学を知るなら

SNSや動画もチェック!

酪農学園大学の大学紹介ムービーが
満載。学類紹介から大学の最新ニュー
スまで、北海道・大自然にあるキャン
パスを体験できます。



今すぐ
見にいこう



酪農学園大学
教員による

夢ナビ
Yumenavi
ミニ講義

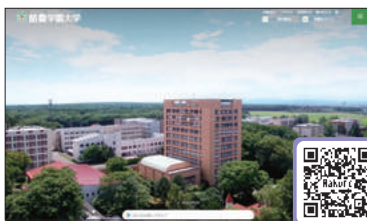


ミニ講義を
CHECK!



幅広く知りたい方はこちらへ

公式サイト



入試情報やオープンキャンパス情報が
まとまっています

受験生サイト



SNSでタイムリーな
情報をキャッチ!



Facebook



Instagram



X



最新情報はLINEで!

入試やイベントの情報をリアル
タイムで取得できます。



要予約! じっくり相談はZoomで!

Zoomを利用し、大学教職員が直接
相談・説明を行います。

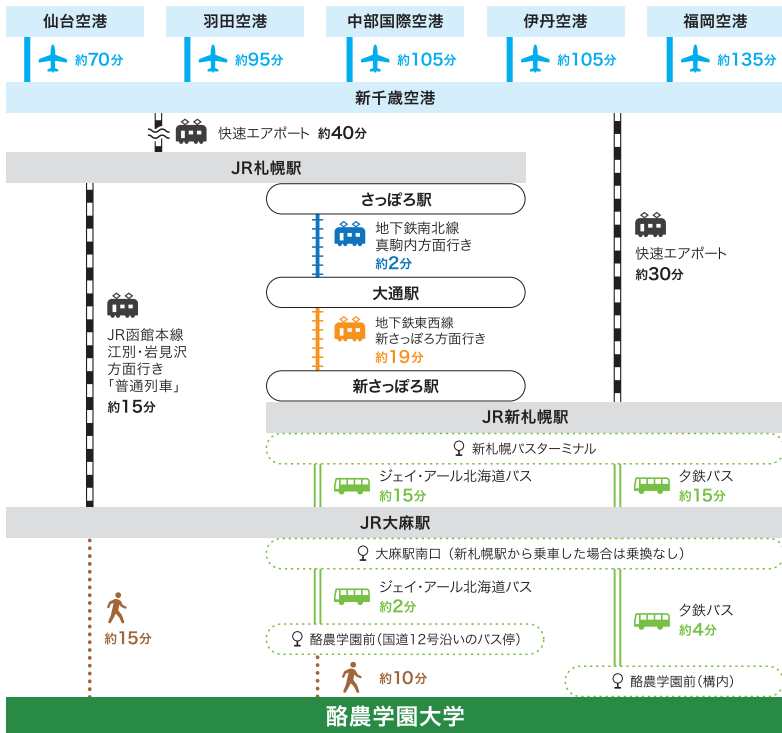
開催日時 5月下旬~10/30(金)
お申し込み 受験生サイトのZoom
個別相談会ページから



ACCESS



酪農学園大学への主な交通機関



生きるを学ぶ。学びが生きる。 酪農学園大学

- 農食環境学群 | 循環農学類 | 食と健康学類 | 環境共生学類 | 農環境情報学類 **NEW**
- 獣医学群 | 獣医学類 | 獣医保健看護学類
- 大学院 | 獣医学研究科 | 酪農学研究科

<https://www.rakuno.ac.jp>
〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地

共創コミュニケーションセンター入試課

TEL (011)388-4138 0120-771-663
FAX (011)386-1220

障がいのある方への支援について
受験や就学については、事前にご相談ください。

酪農学園大学では、健康増進法の第25条に受動喫煙防止が規定されたことを受け、教育・研究・医療機関としての法の精神に鑑みて、2011年4月1日から敷地内を全面禁煙としています。

この大学案内は2026年3月現在の情報を基に作成しております。



酪農学園大学は、2020年度公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価において、大学評価基準に適合していると認証されました。